

法学部に在籍する学生に対する法曹志望に関するアンケート調査結果

法務省
文部科学省

1. 目的・趣旨

法学部(法学系課程を含む。以下「法学部」という。)に在籍する学生を対象に志望動向等に関する意識調査を実施し、調査を通じて得たデータを収集・分析することによって、法曹志願者の減少に関する要因等を把握し、今後の施策の検討に活用することを目的とする。

2. 調査方法等

①対象範囲

下記大学の法学部に在籍する学生 1年生～4年生

②対象大学

平成31年度以降、入学者の募集を継続する法科大学院を設置する36大学

1. 北海道大学 (【1年生】総合教育部(法学部) 【2～4年生】法学部)
2. 東北大学 (法学部)
3. 筑波大学 (【1～2年生】社会・国際学群－社会学類
【3～4年生】社会・国際学群－社会学類－法学主専攻)
4. 千葉大学 (【1年生】法政経学部【2～4年生】法政経学部－法学コース)
5. 東京大学 (【1～2年生】教養学部文科一類【3～4年生】法学部)
6. 一橋大学 (法学部)
7. 金沢大学 (人間社会学域－法学類)
8. 名古屋大学 (法学部)
9. 京都大学 (法学部)
10. 大阪大学 (法学部)
11. 神戸大学 (法学部)
12. 岡山大学 (法学部)
13. 広島大学 (法学部)
14. 九州大学 (法学部)
15. 琉球大学 (人間社会学部－国際法政学科)
16. 首都大学東京 (法学部)
17. 大阪市立大学 (法学部)
18. 学習院大学 (法学部)
19. 慶應義塾大学 (法学部)
20. 駒澤大学 (法学部)
21. 上智大学 (法学部)
22. 専修大学 (法学部)
23. 創価大学 (法学部)
24. 中央大学 (法学部)
25. 日本大学 (法学部)
26. 法政大学 (法学部)
27. 明治大学 (法学部)
28. 早稲田大学 (法学部)
29. 愛知大学 (法学部)
30. 南山大学 (法学部)
31. 同志社大学 (法学部)
32. 立命館大学 (法学部)
33. 関西大学 (法学部)
34. 関西学院大学 (法学部)
35. 甲南大学 (法学部)
36. 福岡大学 (法学部)

③調査方法

ウェブアンケート

3.調査実施期間

平成30年10月15日(月)～11月30日(金)

4. 調査結果

<回答率>

対象者数	有効回答数	回答率
75,246 人	6,739 人	9.0%

<学年別内訳>

全体	1年次	2年次	3年次	4年次以上
6,739 人	2,353 人	1,650 人	1,485 人	1,251 人
100.0%	34.9%	24.5%	22.0%	18.6%

【参考】前回調査(平成29年10月10日～11月10日実施)について

対象範囲: 下記大学の学部・に在籍する学生 1年生～4年生

対象大学: 平成30年度以降、入学者の募集を継続する法科大学院を設置する大学のうち、法学部を設置している38大学

1. 北海道大学 (【1年生】総合教育部(法学部) 【2～4年生】法学部)
2. 東北大学 (法学部)
3. 筑波大学 (【1～2年生】社会・国際学群－社会学類
【3～4年生】社会・国際学群－社会学類－法学主専攻)
4. 千葉大学 (【1年生】法政経学部【2～4年生】法政経学部－法学コース)
5. 東京大学 (【1～2年生】教養学部文科一類【3～4年生】法学部)
6. 一橋大学 (法学部)
7. 金沢大学 (人間社会学域－法学類)
8. 名古屋大学 (法学部)
9. 京都大学 (法学部)
10. 大阪大学 (法学部)
11. 神戸大学 (法学部)
12. 岡山大学 (法学部)
13. 広島大学 (法学部)
14. 九州大学 (法学部)
15. 琉球大学 (法文学部－総合社会システム学科－法律コース)
16. 首都大学東京 (都市教養学部－都市教養学科－法学系)
17. 大阪市立大学 (法学部)
18. 学習院大学 (法学部)
19. 慶應義塾大学 (法学部)
20. 駒澤大学 (法学部)
21. 上智大学 (法学部)
22. 専修大学 (法学部)
23. 創価大学 (法学部)
24. 中央大学 (法学部)
25. 日本大学 (法学部)
26. 法政大学 (法学部)
27. 明治大学 (法学部)
28. 早稲田大学 (法学部)
29. 愛知大学 (法学部)
30. 南山大学 (法学部)
31. 同志社大学 (法学部)
32. 立命館大学 (法学部)
33. 関西大学 (法学部)
34. 近畿大学 (法学部)
35. 関西学院大学 (法学部)
36. 甲南大学 (法学部)
37. 西南学院大学 (法学部)
38. 福岡大学 (法学部)

対象者数: 79,801 人

有効回答数: 9,658 人(回答率 12.1%)

目次

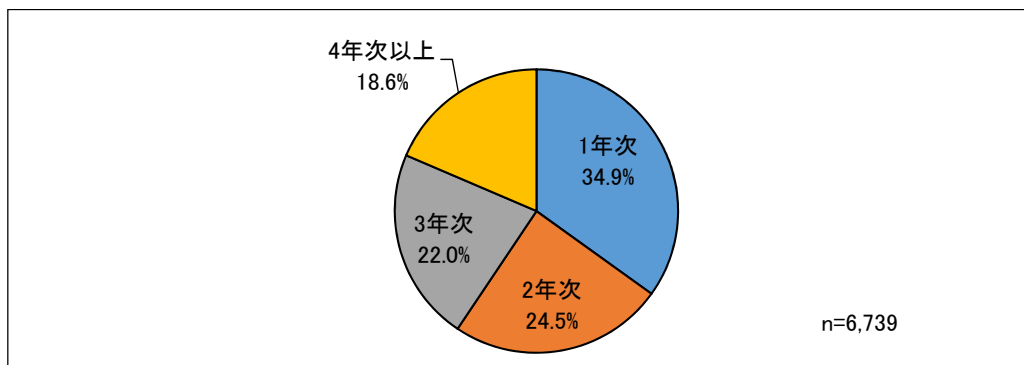
第1 回答者の属性.....	1
1. 学年.....	1
2. 年齢.....	1
3. 性別.....	1
第2 進路選択.....	2
1. 将来の職業.....	2
2. 職業選択に当たり重視すること(複数選択可).....	5
3. 法曹等志望の有無.....	7
第3 法曹等志望の時期・進路・契機, 法曹の魅力等.....	9
1. 法曹等を志望した時期.....	9
(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生.....	9
(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生.....	10
2. 法曹等としての進路(複数選択可).....	11
(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生.....	11
(2) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生.....	11
3. 法曹等志望の契機(複数選択可).....	12
(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生.....	12
(2) 過去志望・選択肢の1つとして考えていた学生.....	14
4. 法曹等の魅力(複数選択可).....	16
(1) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生.....	16
(2) 過去志望・選択肢の1つとして考えていた学生.....	18
5. 法曹有資格者の活動領域の拡大.....	20
(1) 法曹等の活動領域が拡大していることに対する現状認識.....	20
(2) 法曹等の活動領域が拡大している分野(海外, 企業, 国・自治体等)で働くことに対する興味・関心の有無.....	23
(3) 法曹等の活動領域が拡大している分野のうち興味・関心がある分野(複数選択可).....	26
6. 法学部教育に期待すること(上位3つまで選択/現在志望・選択肢の1つとして考えている学生).....	29
7. 司法試験予備校の利用の有無(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生/複数選択可).....	32
8. 法曹等を志望するに当たっての不安や迷い, 断念の理由等.....	33
(1) 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いについて(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生).....	33
(2) 現在志望・選択肢の1つとして考えている学生の不安や迷い(上位3つまで選択).....	34
(3) 過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生の不安や迷い(上位3つまで選択).....	37
(4) 法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生の法曹等を志望しない理由(上位3つまで選択).....	40
(5) 法曹等の仕事に魅力を感じない理由について.....	43
9. 法科大学院への進学, 大学在学中の予備試験の受験.....	45
(1) 法科大学院への進学予定.....	45
(2) 法科大学院の選択において重視する点(上位3つまで選択/法科大学院に進学予定がある学生).....	47
(3) 大学在学中の予備試験の受験予定.....	50
(4) 法科大学院への進学予定・大学在学中の予備試験の受験予定.....	52
(5) 在学中の予備試験の受験理由(上位3つまで選択/在学中に予備試験を受ける予定がある学生).....	53
(6) 在学中に予備試験に合格した場合の法科大学院への進学(在学中に予備試験を受験予定のある学生).....	56
(7) 大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合の進路(在学中に予備試験を受験予定のある学生).....	58
参考資料(調査票).....	60

第 1 回答者の属性

学年は「1年次」が34.9%で最も高く、年次が上がるほど低くなる傾向となっている。年齢は「19歳」が26.2%で最も高く、「20歳」が24.9%、「21歳」が20.4%の順となっている。性別は「男性」が55.2%、「女性」が43.3%で男性の割合が高い。

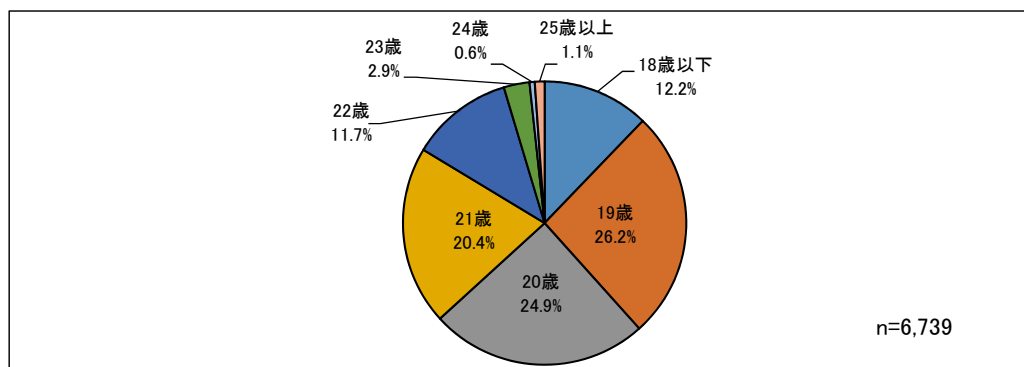
1. 学年

	1年次	2年次	3年次	4年次以上	回答者数
回答数(人)	2,353	1,650	1,485	1,251	6,739
割合(%)	34.9	24.5	22.0	18.6	100.0



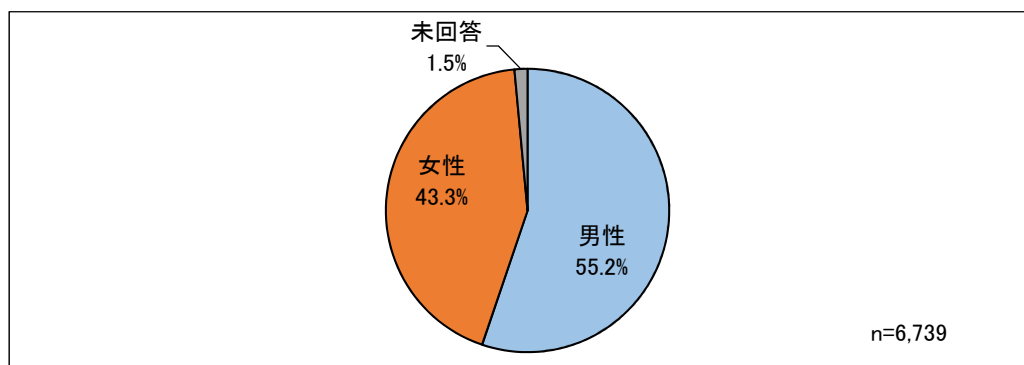
2. 年齢

	18歳以下	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳以上	回答者数
回答数(人)	821	1764	1676	1376	789	198	40	75	6,739
割合(%)	12.2	26.2	24.9	20.4	11.7	2.9	0.6	1.1	100.0



3. 性別

	男性	女性	未回答	回答者数
回答数(人)	3,720	2,919	100	6,739
割合(%)	55.2	43.3	1.5	100.0



第 2 進路選択

1. 将来の職業

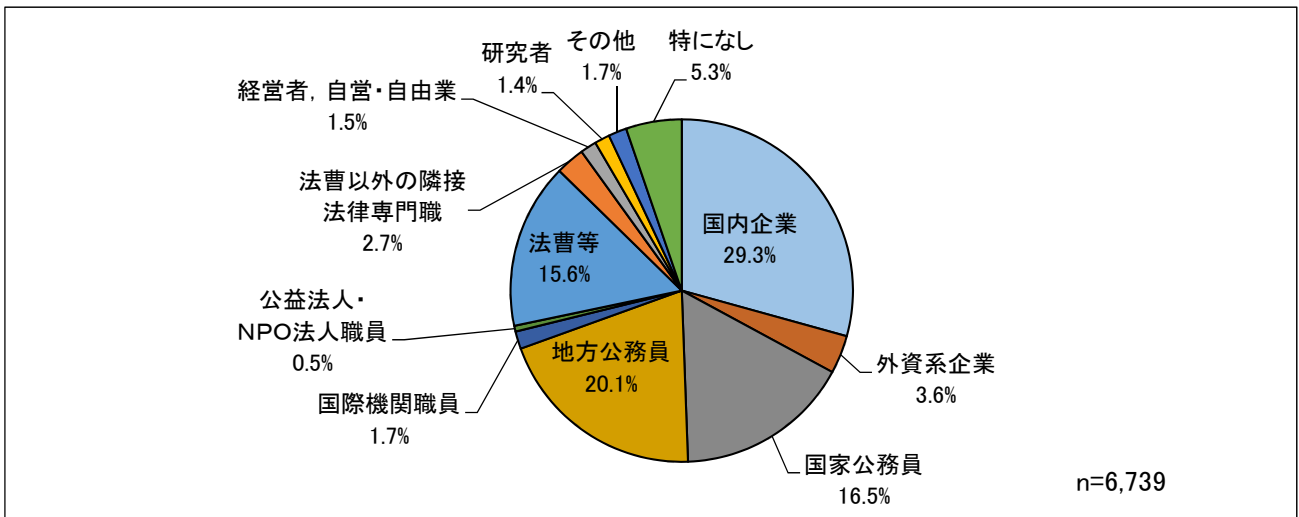
将来の職業については、「国内企業」が 29.3%で最も高く、次いで「地方公務員」の 20.1%、「国家公務員」の 16.5%が続いている。「法曹等※」は 15.6%で 4 番目となっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

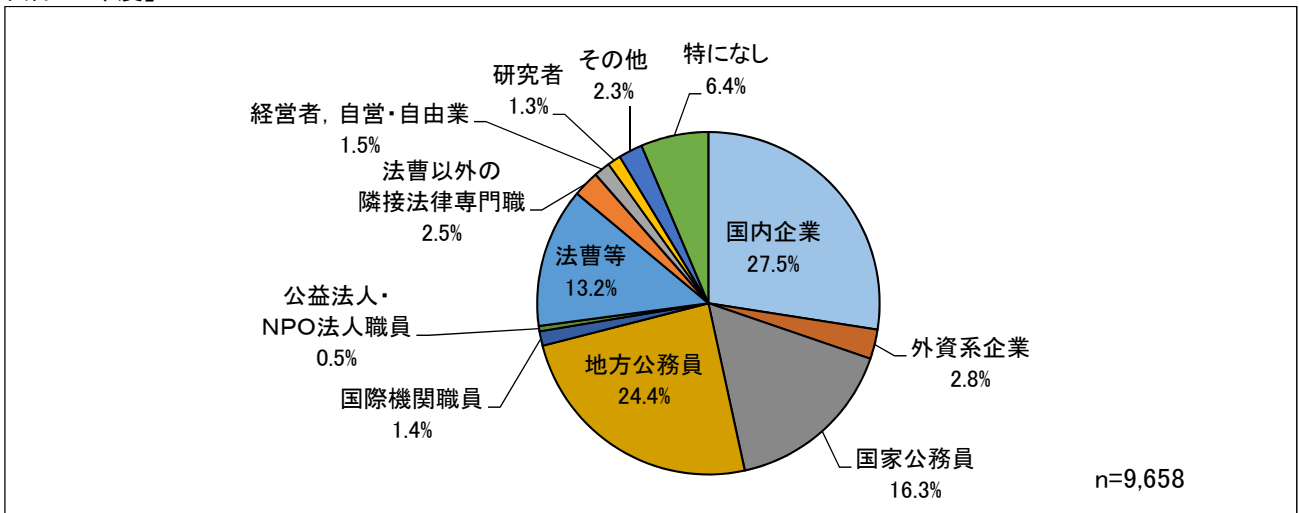
	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	国際機関職員	公益法人・NPO法人職員	法曹等※	法曹以外の隣接法律専門職	経営者、 自営・自由業	研究者	その他	特になし	回答者数
平成 30 年度	1,974 29.3	243 3.6	1,113 16.5	1,353 20.1	112 1.7	37 0.5	1,053 15.6	184 2.7	103 1.5	96 1.4	116 1.7	355 5.3	6,739 100.0
平成 29 年度	2,653 27.5	269 2.8	1,578 16.3	2,358 24.4	132 1.4	49 0.5	1,273 13.2	240 2.5	149 1.5	121 1.3	219 2.3	617 6.4	9,658 100.0

※法曹(裁判官, 検察官及び弁護士)のみならず, 司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む。以下, 同じ。

【平成 30 年度】



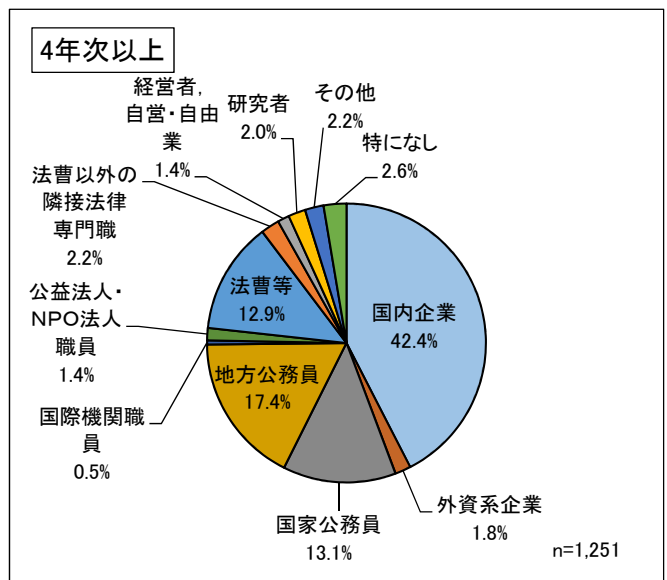
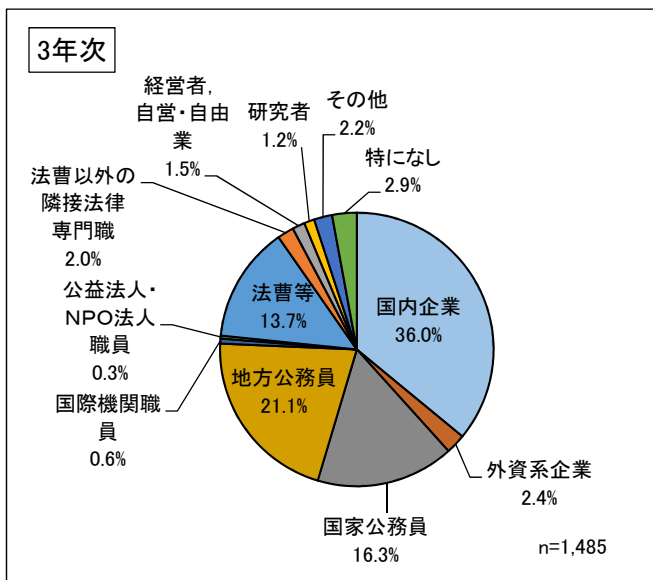
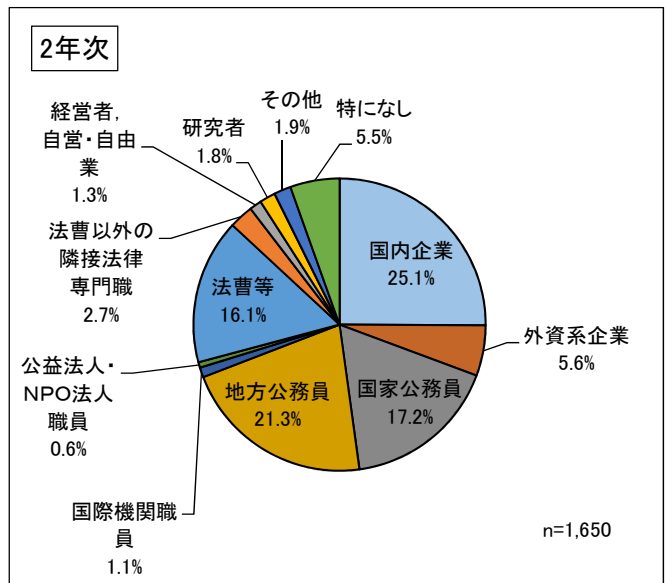
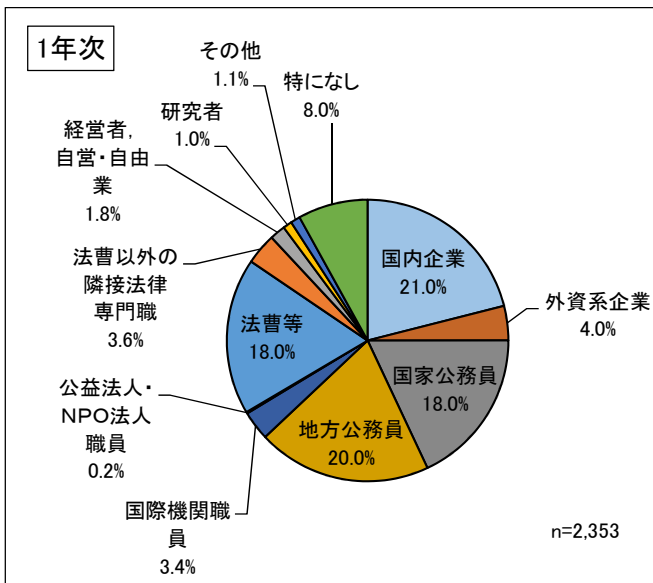
【平成 29 年度】



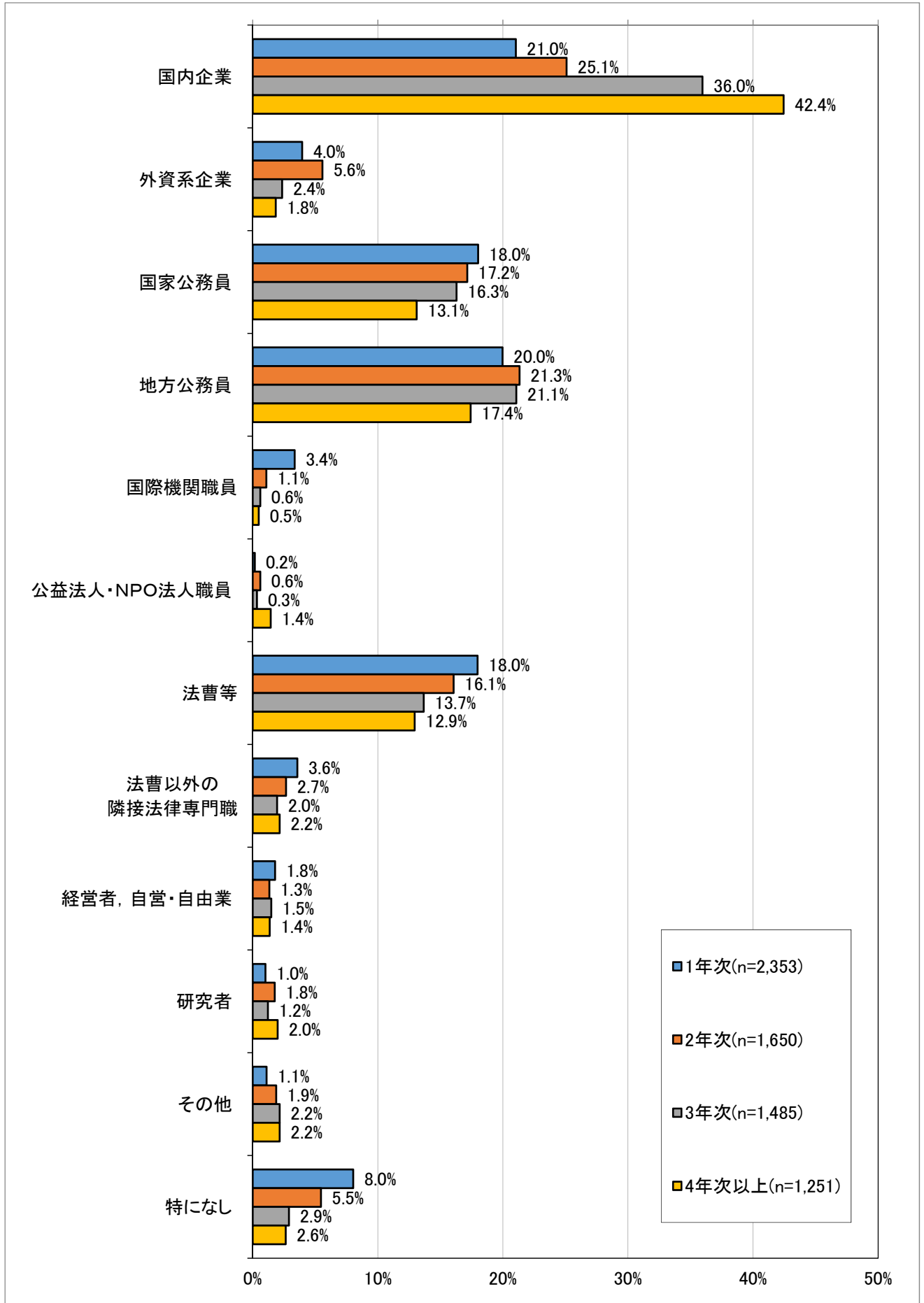
(参考)学年別内訳【表・円グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	国際機関職員	公益法人・NPO法人職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者、自営・自由業	研究者	その他	特になし	回答者数
1年次	495 21.0	93 4.0	424 18.0	470 20.0	79 3.4	4 0.2	423 18.0	84 3.6	42 1.8	24 1.0	26 1.1	189 8.0	2,353 100.0
2年次	414 25.1	92 5.6	283 17.2	352 21.3	18 1.1	10 0.6	265 16.1	44 2.7	22 1.3	29 1.8	31 1.9	90 5.5	1,650 100.0
3年次	534 36.0	35 2.4	242 16.3	313 21.1	9 0.6	5 0.3	203 13.7	29 2.0	22 1.5	18 1.2	32 2.2	43 2.9	1,485 100.0
4年次以上	531 42.4	23 1.8	164 13.1	218 17.4	6 0.5	18 1.4	162 12.9	27 2.2	17 1.4	25 2.0	27 2.2	33 2.6	1,251 100.0
全体	1,974 29.3	243 3.6	1,113 16.5	1,353 20.1	112 1.7	37 0.5	1,053 15.6	184 2.7	103 1.5	96 1.4	116 1.7	355 5.3	6,739 100.0



(参考)学年別内訳【横棒グラフ】

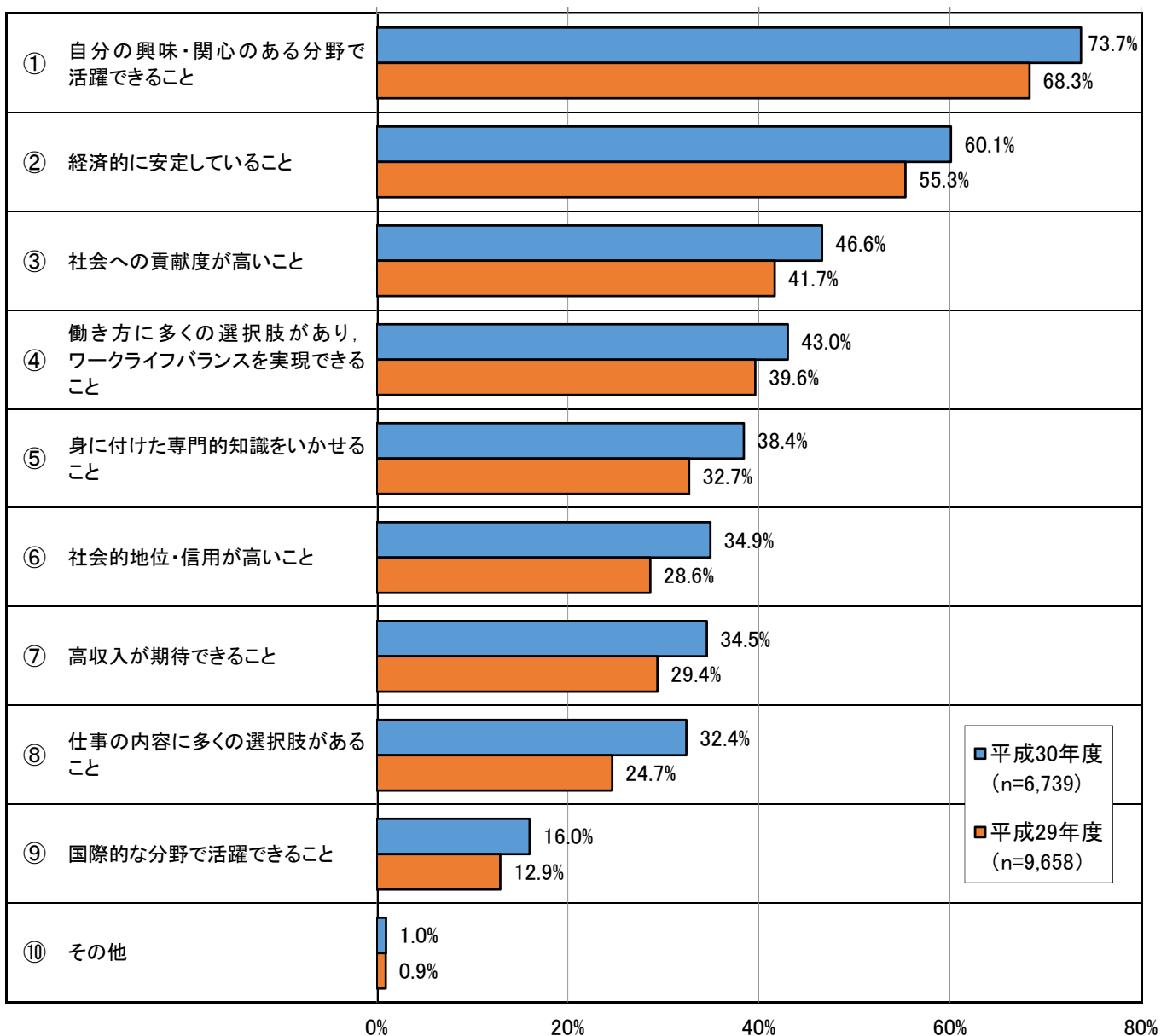


2.職業選択に当たり重視すること(複数選択可)

職業選択に当たり重視することは、「自分の興味・関心のある分野で活躍できること」が73.7%で最も高く、次いで「経済的に安定していること」が60.1%で続いている。この2項目が過半数となっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

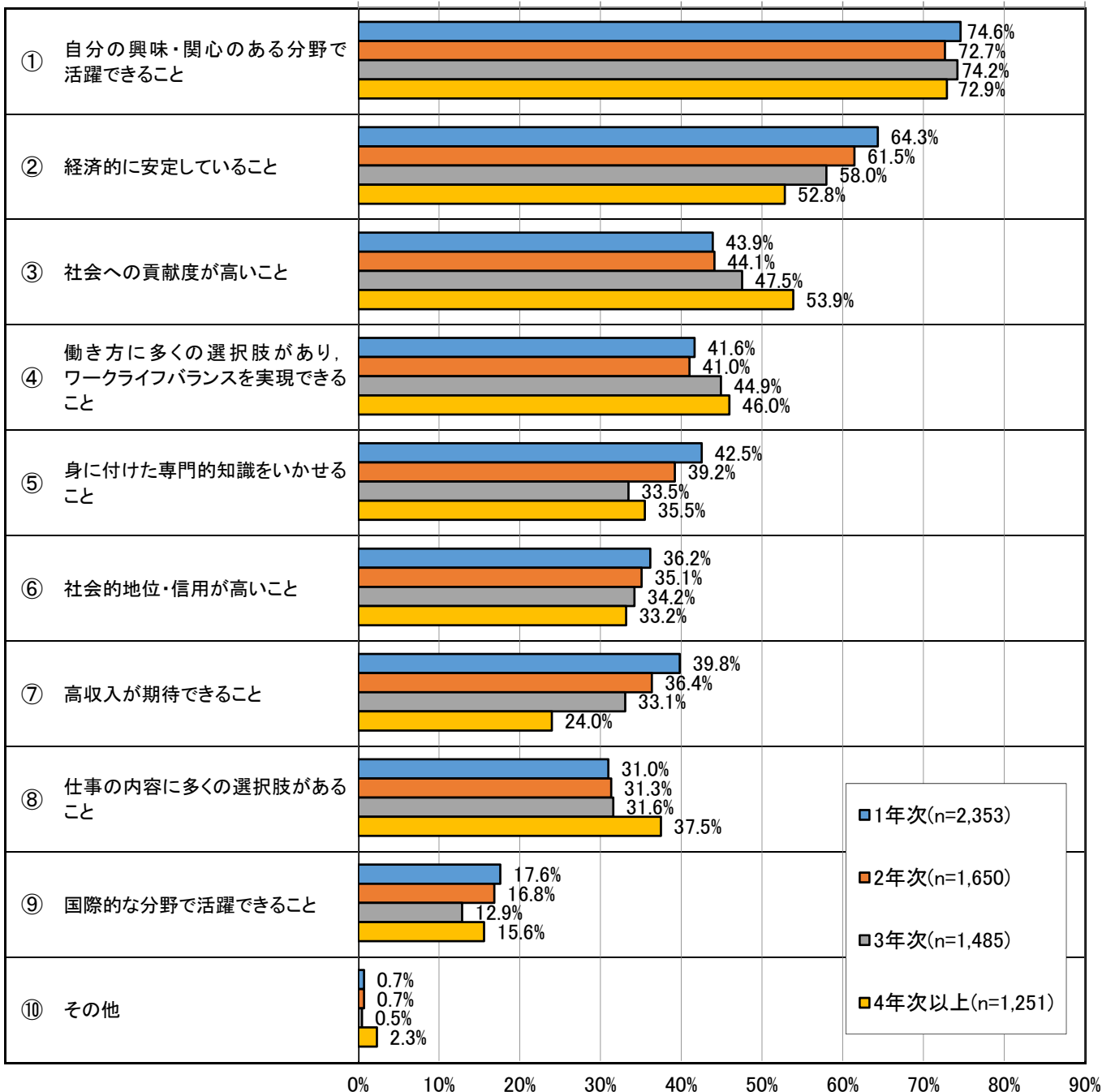
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	回答者数
	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	経済的に安定していること	社会への貢献度が高いこと	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること	身に付けた専門的知識をいかせること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	仕事の内容に多くの選択肢があること	国際的な分野で活躍できること	その他	
平成30年度	4,968 73.7	4,050 60.1	3,141 46.6	2,899 43.0	2,589 38.4	2,353 34.9	2,328 34.5	2,184 32.4	1,078 16.0	65 1.0	6,739 100.0
平成29年度	6,600 68.3	5,345 55.3	4,023 41.7	3,827 39.6	3,157 32.7	2,765 28.6	2,837 29.4	2,381 24.7	1,249 12.9	91 0.9	9,658 100.0



(参考)学年別内訳【表・横棒グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	回答者数
	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	経済的に安定していること	社会への貢献度が高いこと	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること	身に付けた専門的知識をいかせること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	仕事の内容に多くの選択肢があること	国際的な分野で活躍できること	その他	
1年次	1,755 74.6	1,514 64.3	1,033 43.9	980 41.6	1,001 42.5	851 36.2	937 39.8	729 31.0	414 17.6	17 0.7	2,353 100.0
2年次	1,199 72.7	1,014 61.5	728 44.1	677 41.0	647 39.2	579 35.1	600 36.4	517 31.3	278 16.8	12 0.7	1,650 100.0
3年次	1,102 74.2	861 58.0	706 47.5	667 44.9	497 33.5	508 34.2	491 33.1	469 31.6	191 12.9	7 0.5	1,485 100.0
4年次以上	912 72.9	661 52.8	674 53.9	575 46.0	444 35.5	415 33.2	300 24.0	469 37.5	195 15.6	29 2.3	1,251 100.0
全体	4,968 73.7	4,050 60.1	3,141 46.6	2,899 43.0	2,589 38.4	2,353 34.9	2,328 34.5	2,184 32.4	1,078 16.0	65 1.0	6,739 100.0



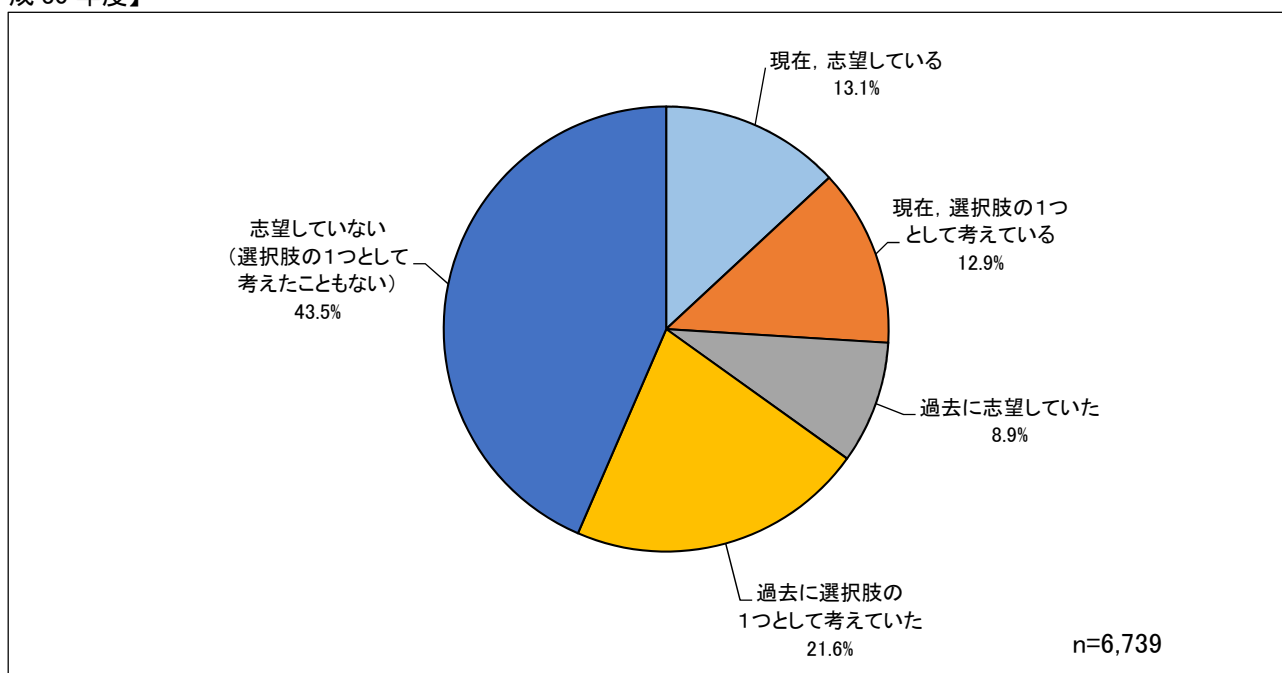
3.法曹等志望の有無

法曹等の志望の有無については、「現在、志望している」が13.1%、「現在、選択肢の1つとして考えている」が12.9%であり、合計26.0%が現在志望または選択肢の1つとしてしている。これに対して「過去に志望していた」は8.9%、「過去に選択肢の1つとして考えていた」が21.6%であり合計30.5%が過去に志望・選択肢の1つとしていた。また「志望していない(選択肢の1つとして考えたこともない)」は43.5%と4割を超えている。

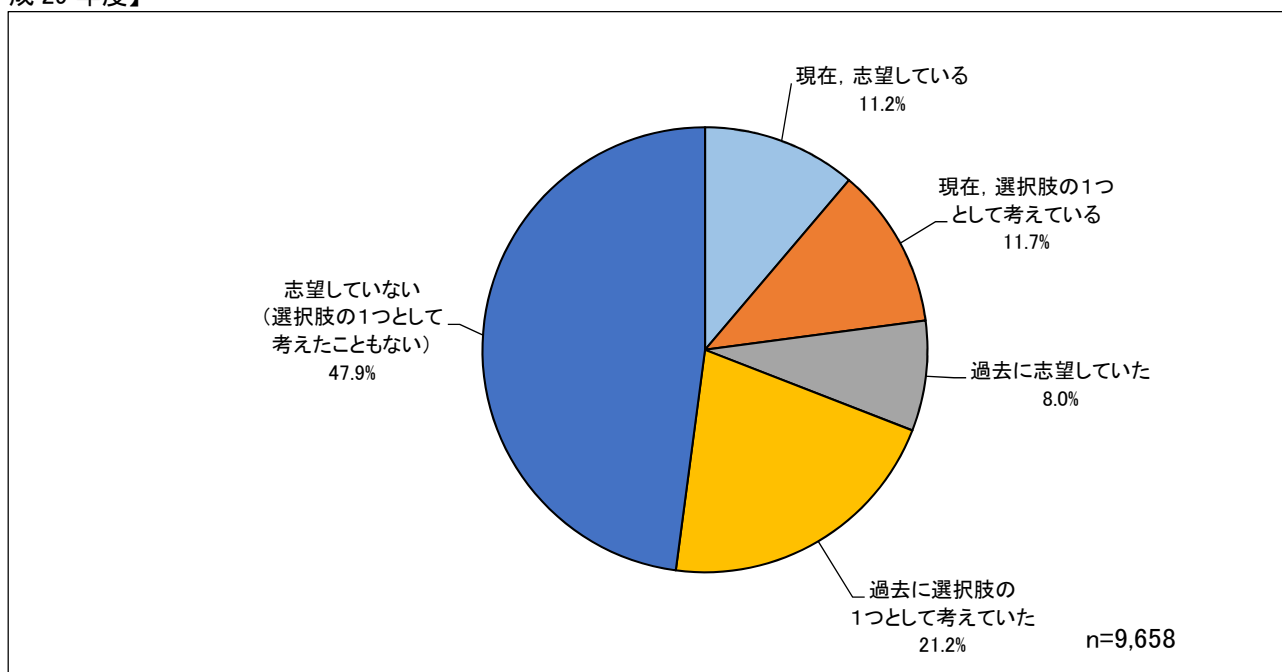
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	現在、志望している	現在、選択肢の1つとして考えている	過去に志望していた	過去に選択肢の1つとして考えていた	志望していない(選択肢の1つとして考えたこともない)	回答者数
平成30年度	882 13.1	869 12.9	600 8.9	1,456 21.6	2,932 43.5	6,739 100.0
平成29年度	1,081 11.2	1,131 11.7	771 8.0	2,048 21.2	4,627 47.9	9,658 100.0

【平成30年度】



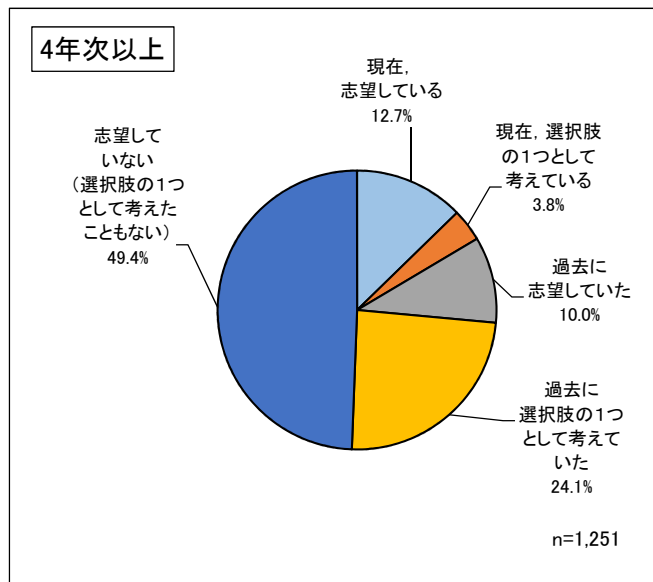
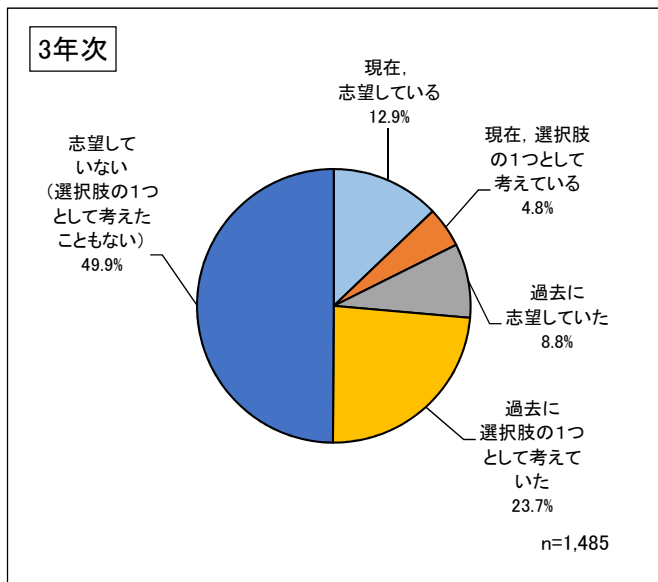
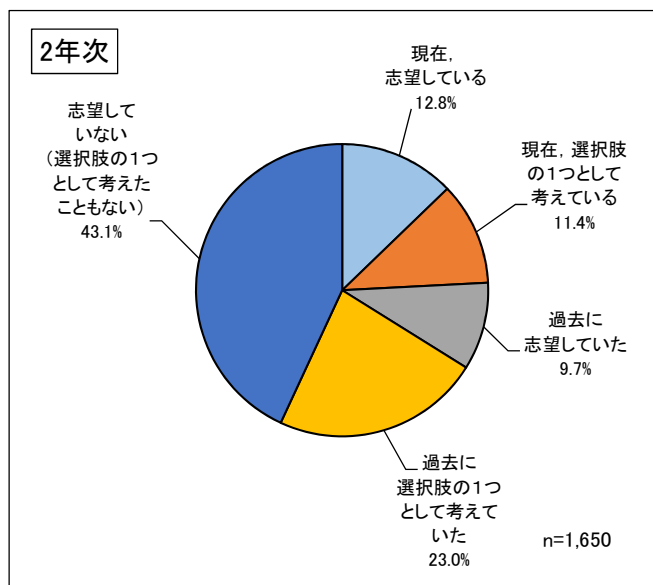
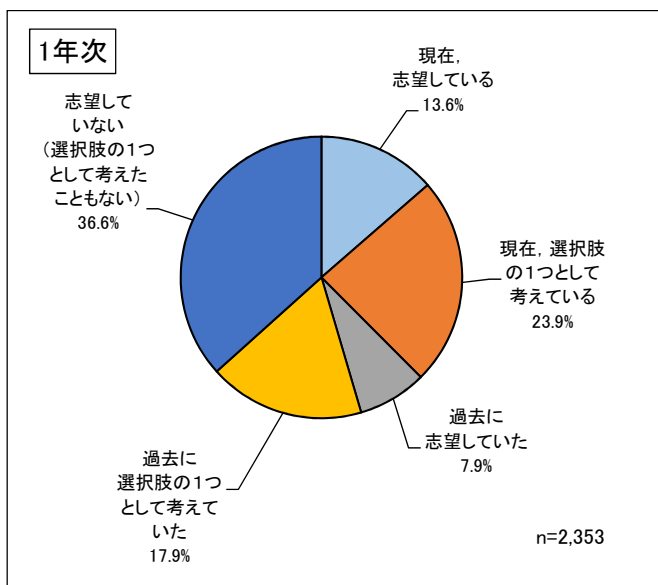
【平成29年度】



(参考) 学年別内訳【表・円グラフ】

(上段: 回答数・人/下段: 割合・%)

	現在, 志望している	現在, 選択肢の1つとして考えている	過去に志望していた	過去に選択肢の1つとして考えていた	志望していない (選択肢の1つとして考えたこともない)	回答者数
1年次	321 13.6	563 23.9	185 7.9	422 17.9	862 36.6	2,353 100.0
2年次	211 12.8	188 11.4	160 9.7	380 23.0	711 43.1	1,650 100.0
3年次	191 12.9	71 4.8	130 8.8	352 23.7	741 49.9	1,485 100.0
4年次以上	159 12.7	47 3.8	125 10.0	302 24.1	618 49.4	1,251 100.0
全体	882 13.1	869 12.9	600 8.9	1,456 21.6	2,932 43.5	6,739 100.0



第3 法曹等志望の時期・進路・契機，法曹の魅力等

1.法曹等を志望した時期

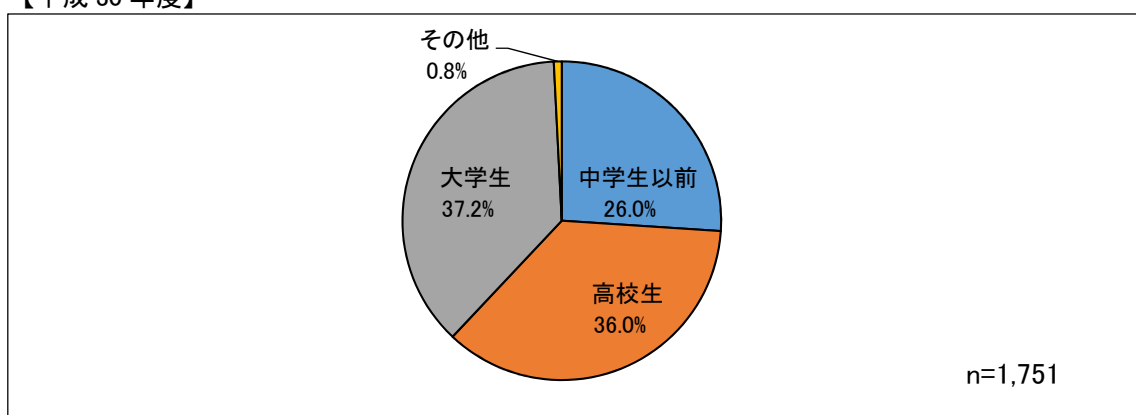
(1)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在法曹等を志望しているか，選択肢の1つとして考えている学生が，法曹等を志望した時期は「高校生」が36.0%，「大学生」が37.2%でほぼ同じ割合で高く，「中学生以前」は26.0%となっている。

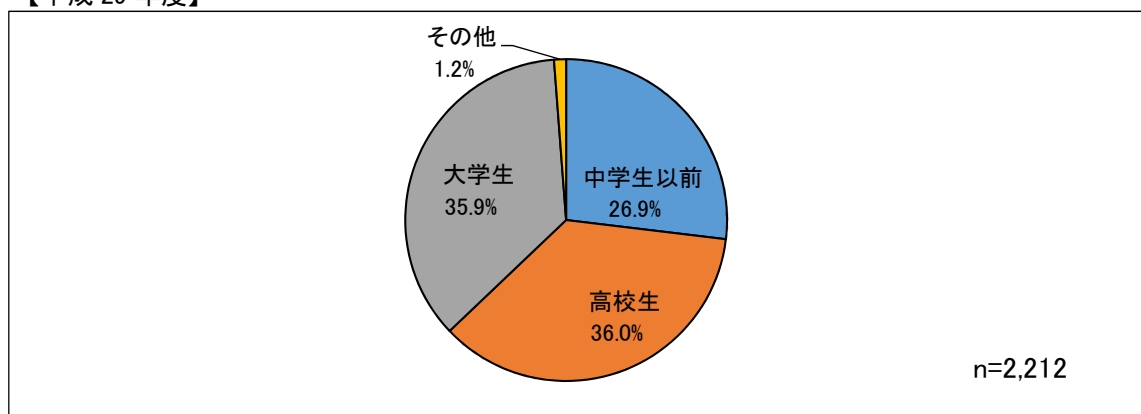
(上段：回答数・人/下段：割合・%)

	中学生以前	高校生	大学生	その他	回答者数
平成30年度	456 26.0	630 36.0	651 37.2	14 0.8	1,751 100.0
平成29年度	595 26.9	797 36.0	794 35.9	26 1.2	2,212 100.0

【平成30年度】



【平成29年度】



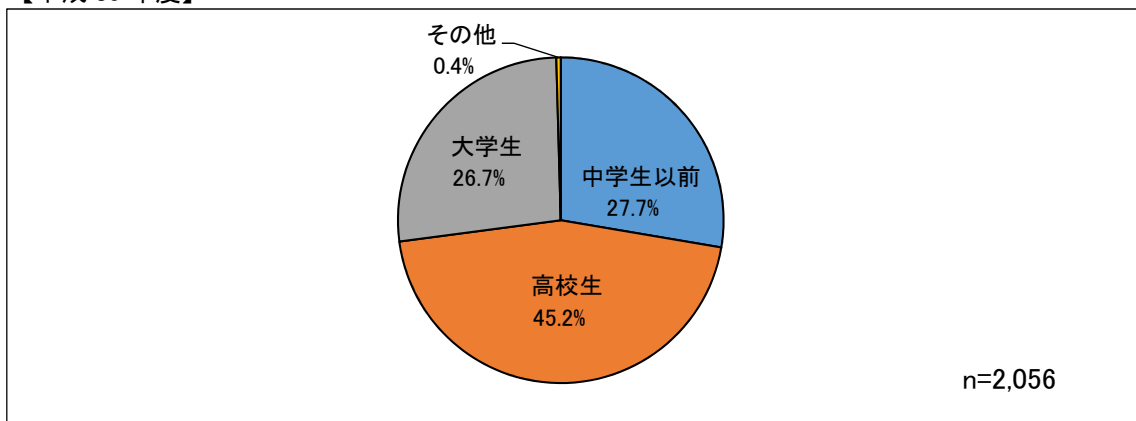
(2)過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生が、法曹等を志望した時期は「高校生」が45.2%で最も高く、次いで「中学生以前」が27.7%となっている。現在志望・選択肢の1つとして考えている学生と比較すると、「大学生」の割合が26.7%と低くなっている。

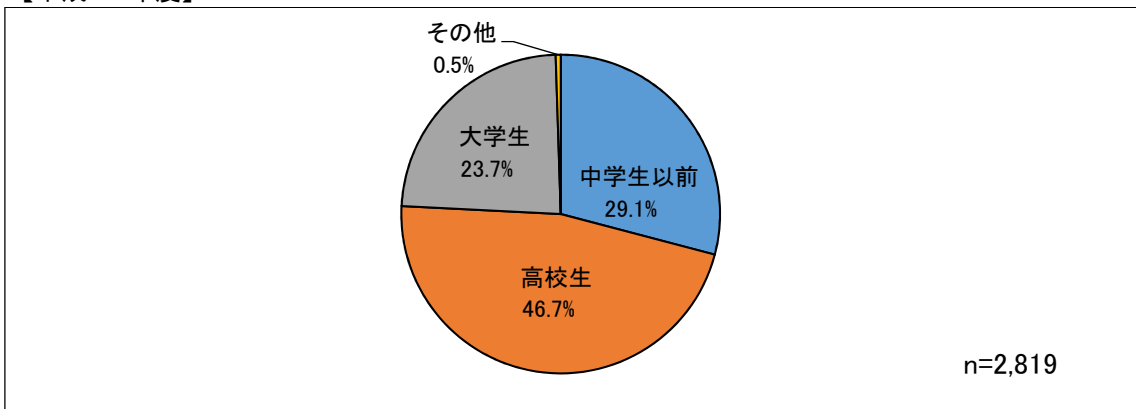
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	中学生以前	高校生	大学生	その他	回答者数
平成30年度	569 27.7	930 45.2	548 26.7	9 0.4	2,056 100.0
平成29年度	820 29.1	1,317 46.7	668 23.7	14 0.5	2,819 100.0

【平成30年度】



【平成29年度】



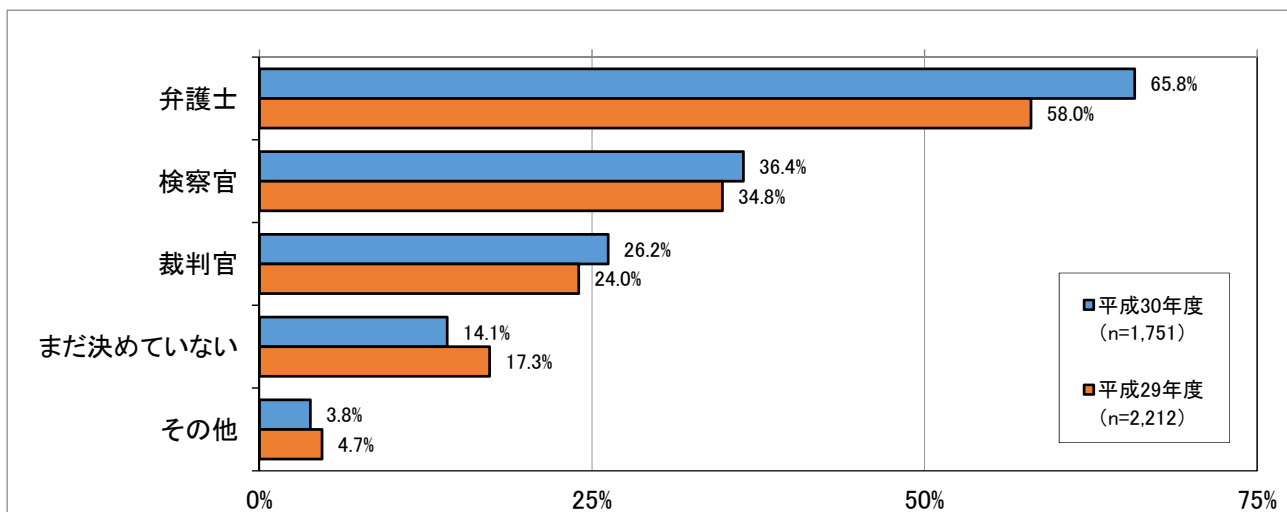
2.法曹等としての進路(複数選択可)

(1)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在法曹等を志望・選択肢の1つとして考えている学生の進路は、「弁護士」が65.8%で最も高く、過半数となっている。次いで「検察官」が36.4%、「裁判官」は26.2%である。なお「まだ決めていない」も14.1%と1割を超えている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	弁護士	検察官	裁判官	まだ決めていない	その他	回答者数
平成30年度	1,152 65.8	637 36.4	459 26.2	247 14.1	67 3.8	1,751 100.0
平成29年度	1,282 58.0	770 34.8	530 24.0	383 17.3	104 4.7	2,212 100.0

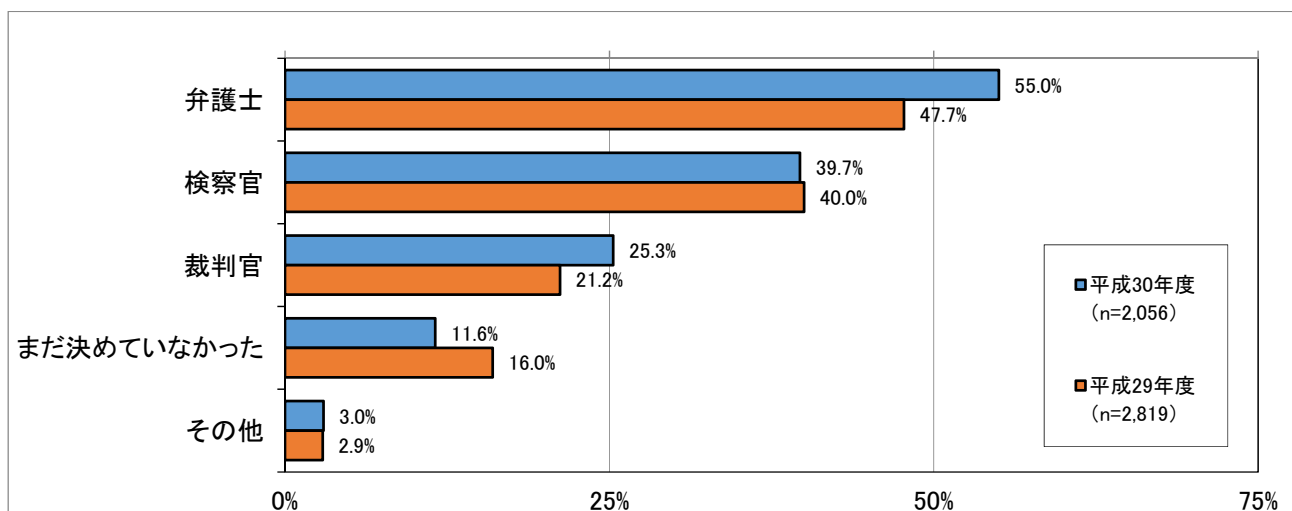


(2)過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生の進路は、「弁護士」が55.0%で最も高く、次いで「検察官」が39.7%、「裁判官」が25.3%、「まだ決めていなかった」が11.6%となっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	弁護士	検察官	裁判官	まだ決めていなかった	その他	回答者数
平成30年度	1,131 55.0	816 39.7	520 25.3	238 11.6	61 3.0	2,056 100.0
平成29年度	1,344 47.7	1,129 40.0	598 21.2	450 16.0	82 2.9	2,819 100.0



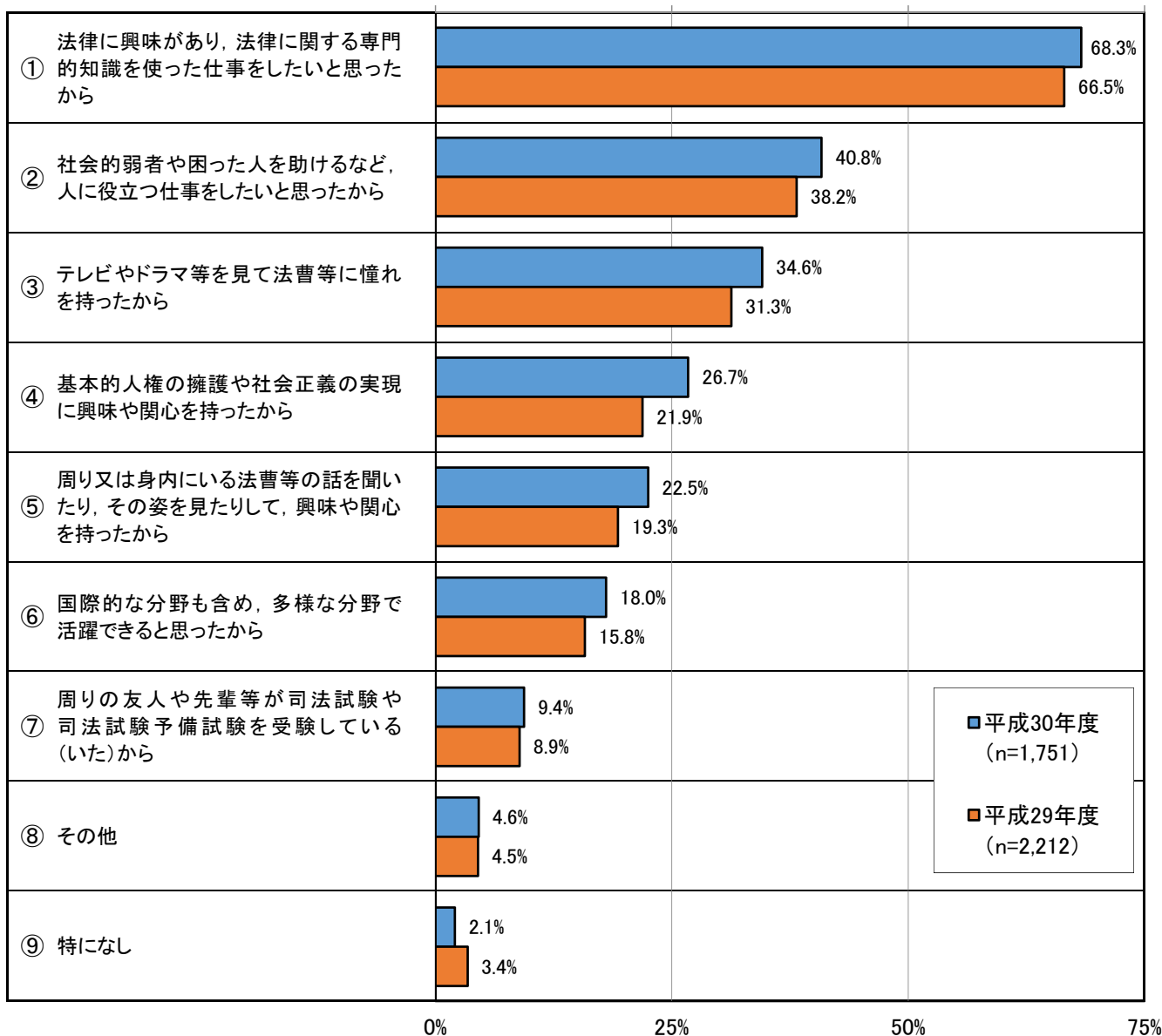
3.法曹等志望の契機(複数選択可)

(1)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

法曹等志望の契機は「法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから」が68.3%で最も高く、唯一過半数となっている。次いで「社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」の40.8%、「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」が34.6%となっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

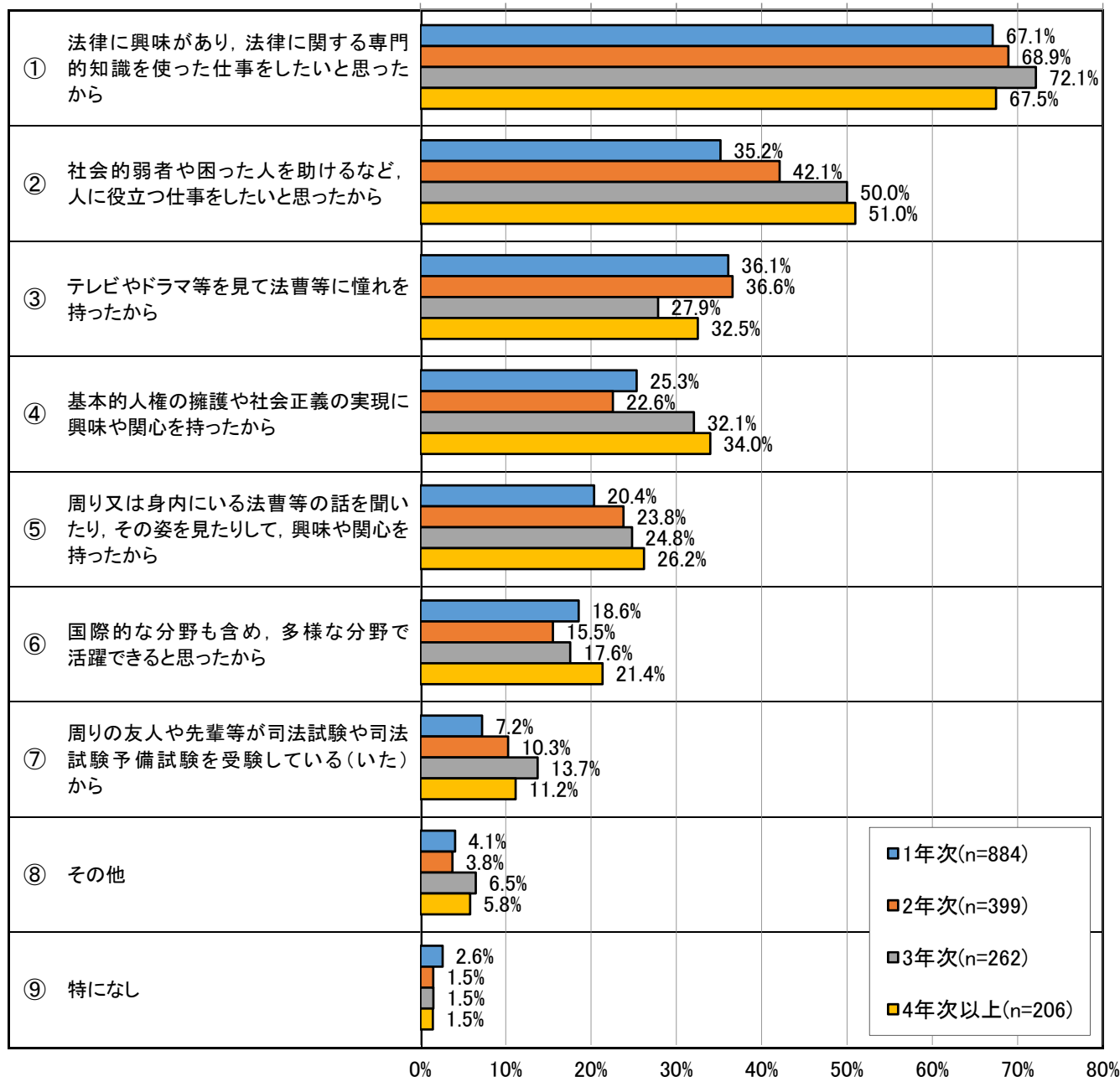
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	回答者数
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	
平成30年度	1,196 68.3	715 40.8	605 34.6	468 26.7	394 22.5	316 18.0	164 9.4	80 4.6	36 2.1	1,751 100.0
平成29年度	1,471 66.5	844 38.2	692 31.3	484 21.9	426 19.3	349 15.8	197 8.9	99 4.5	76 3.4	2,212 100.0



(参考)学年別内訳【表・横棒グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	回答者数
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	
1年次	593 67.1	311 35.2	319 36.1	224 25.3	180 20.4	164 18.6	64 7.2	36 4.1	23 2.6	884 100.0
2年次	275 68.9	168 42.1	146 36.6	90 22.6	95 23.8	62 15.5	41 10.3	15 3.8	6 1.5	399 100.0
3年次	189 72.1	131 50.0	73 27.9	84 32.1	65 24.8	46 17.6	36 13.7	17 6.5	4 1.5	262 100.0
4年次以上	139 67.5	105 51.0	67 32.5	70 34.0	54 26.2	44 21.4	23 11.2	12 5.8	3 1.5	206 100.0
全体	1,196 68.3	715 40.8	605 34.6	468 26.7	394 22.5	316 18.0	164 9.4	80 4.6	36 2.1	1,751 100.0

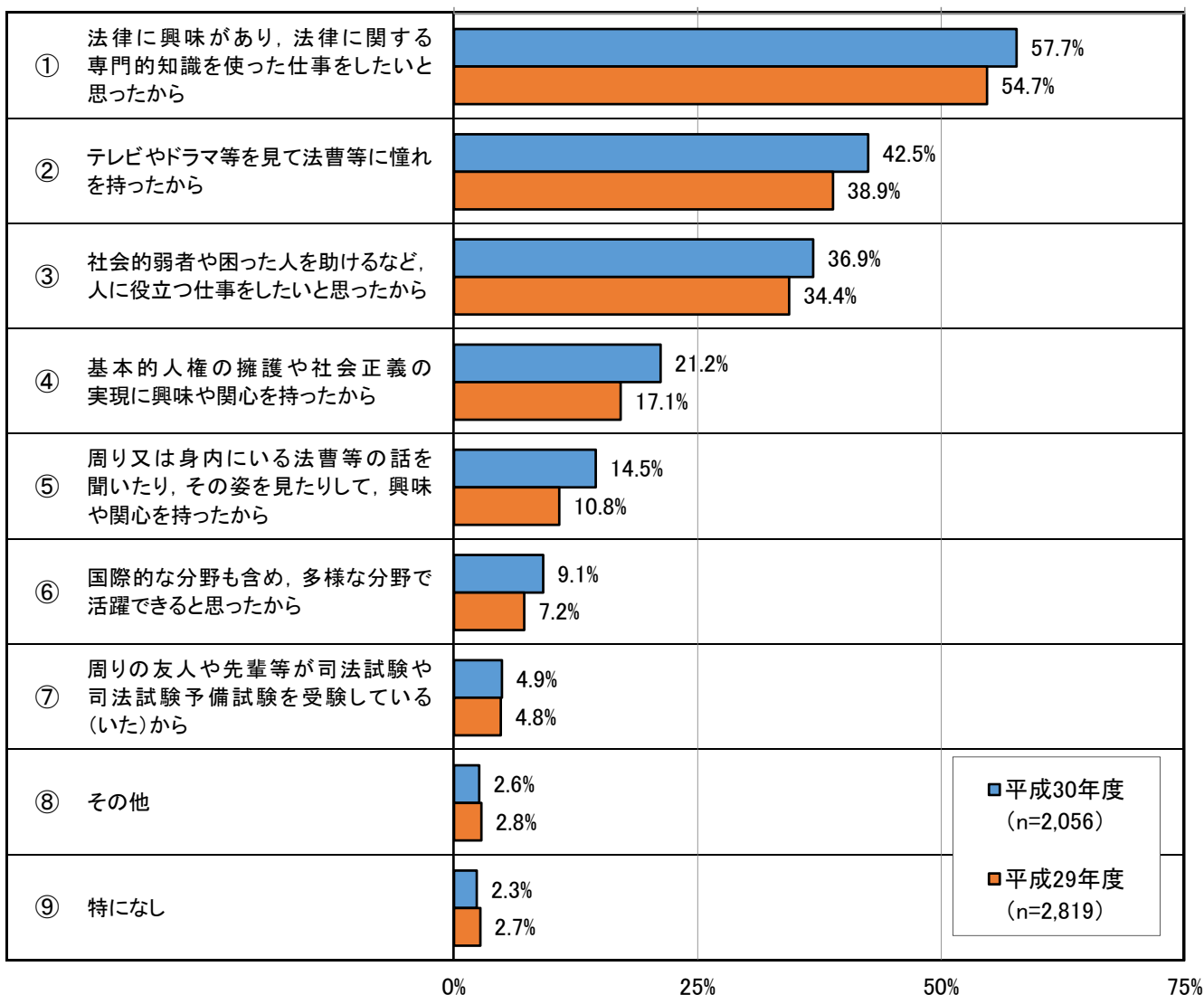


(2)過去志望・選択肢の1つとして考えていた学生

法曹等志望の契機は「法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから」が57.7%で最も高く、過半数である。次いで「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」が42.5%、「社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」の36.9%の順となっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

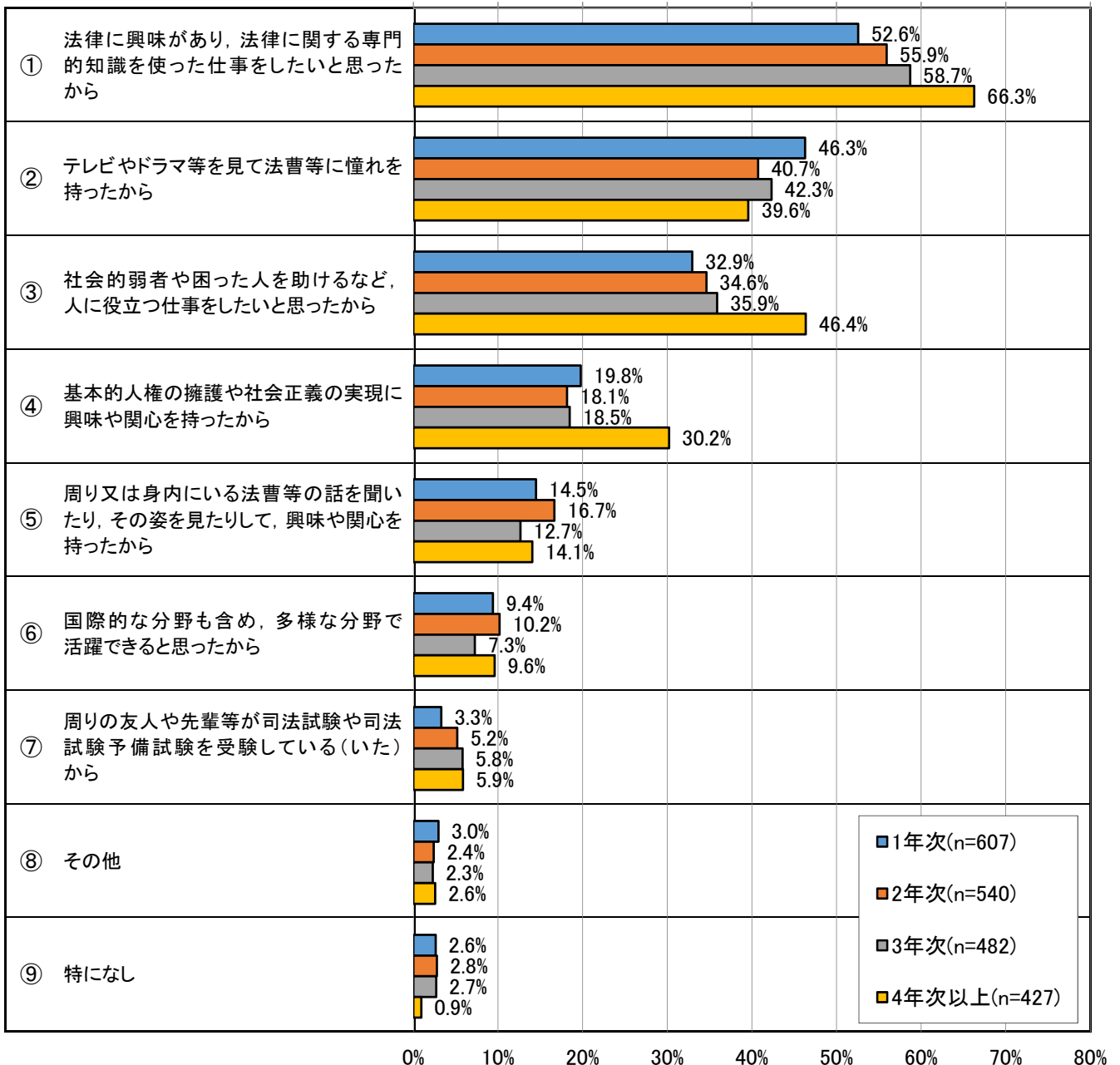
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	回答者数
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	
平成30年度	1,187 57.7	874 42.5	758 36.9	436 21.2	299 14.5	188 9.1	101 4.9	53 2.6	48 2.3	2,056 100.0
平成29年度	1,543 54.7	1,097 38.9	970 34.4	482 17.1	305 10.8	204 7.2	135 4.8	78 2.8	76 2.7	2,819 100.0



(参考)学年別内訳【表・横棒グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	回答者数
	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから	社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	
1年次	319 52.6	281 46.3	200 32.9	120 19.8	88 14.5	57 9.4	20 3.3	18 3.0	16 2.6	607 100.0
2年次	302 55.9	220 40.7	187 34.6	98 18.1	90 16.7	55 10.2	28 5.2	13 2.4	15 2.8	540 100.0
3年次	283 58.7	204 42.3	173 35.9	89 18.5	61 12.7	35 7.3	28 5.8	11 2.3	13 2.7	482 100.0
4年次以上	283 66.3	169 39.6	198 46.4	129 30.2	60 14.1	41 9.6	25 5.9	11 2.6	4 0.9	427 100.0
全体	1,187 57.7	874 42.5	758 36.9	436 21.2	299 14.5	188 9.1	101 4.9	53 2.6	48 2.3	2,056 100.0



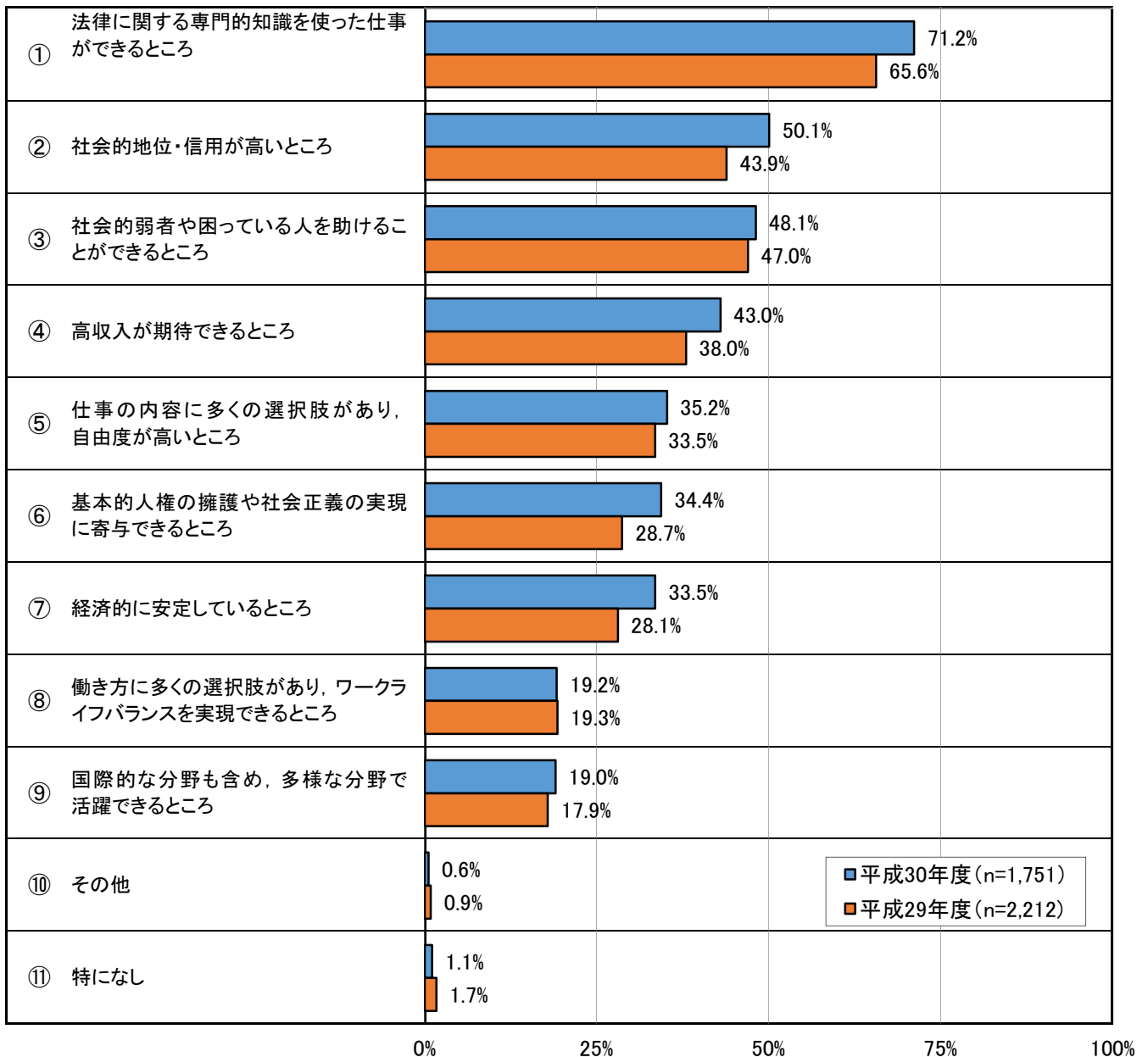
4.法曹等の魅力(複数選択可)

(1)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

法曹等の魅力については、「法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ」が71.2%で最も高く、「社会的地位・信用が高いところ」が50.1%、「社会的弱者や困っている人を助けることができる」ところが48.1%、「高収入が期待できる」ところが43.0%で続いている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

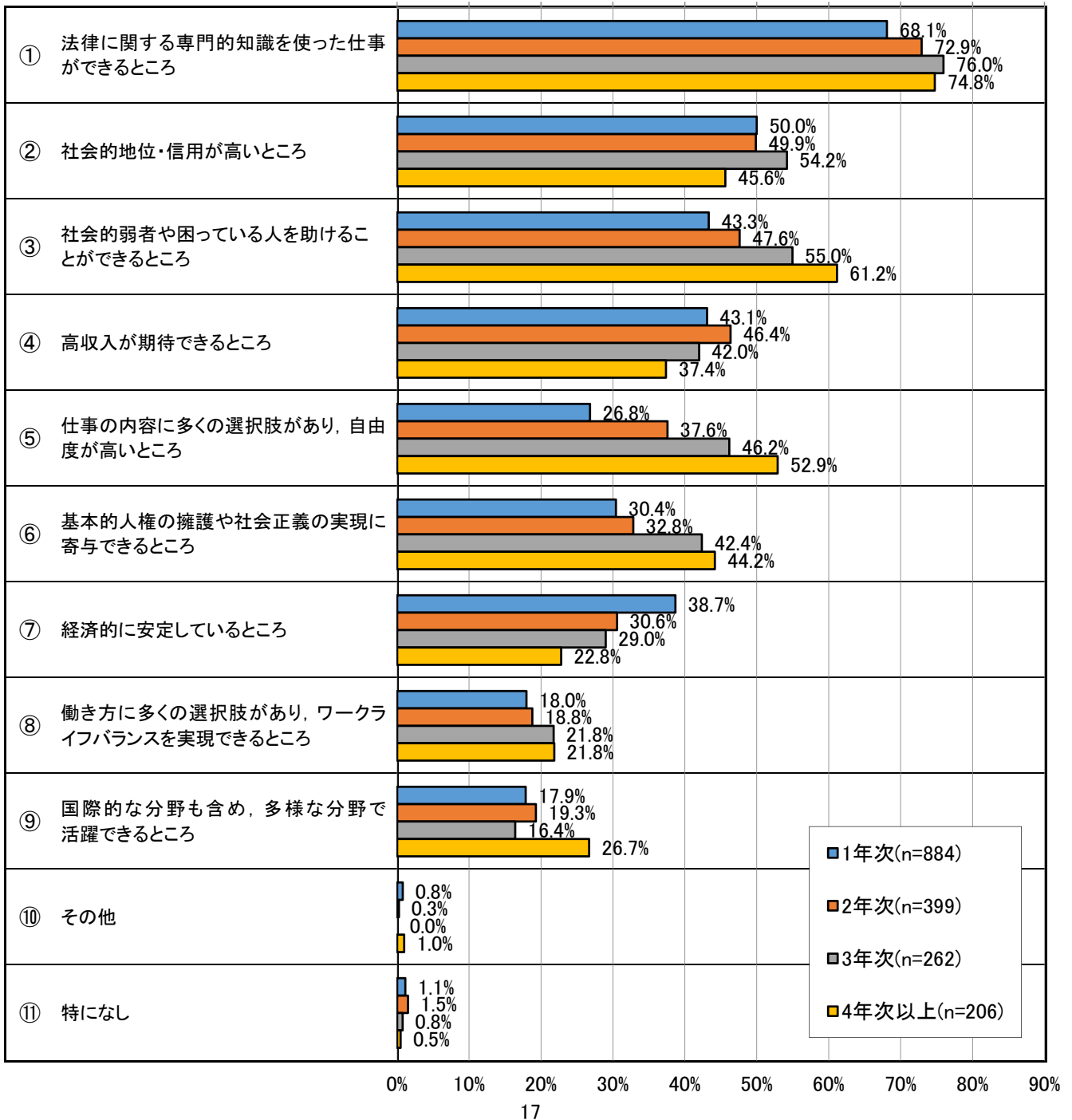
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的地位・信用が高いところ	社会的弱者や困っている人を助けることができる	高収入が期待できる	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できる	経済的に安定している	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できる	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できる	その他	特になし	回答者数
平成30年度	1,246 71.2	877 50.1	843 48.1	753 43.0	617 35.2	602 34.4	587 33.5	336 19.2	333 19.0	10 0.6	19 1.1	1,751 100.0
平成29年度	1,450 65.6	972 43.9	1,039 47.0	840 38.0	741 33.5	635 28.7	622 28.1	427 19.3	397 17.9	21 0.9	38 1.7	2,212 100.0



(参考)学年別内訳【表・横棒グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	回答者数
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的地位・信用が高いところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	高収入が期待できるところ	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ	その他	特になし	
1年次	602 68.1	442 50.0	383 43.3	381 43.1	237 26.8	269 30.4	342 38.7	159 18.0	158 17.9	7 0.8	10 1.1	884 100.0
2年次	291 72.9	199 49.9	190 47.6	185 46.4	150 37.6	131 32.8	122 30.6	75 18.8	77 19.3	1 0.3	6 1.5	399 100.0
3年次	199 76.0	142 54.2	144 55.0	110 42.0	121 46.2	111 42.4	76 29.0	57 21.8	43 16.4	0 0.0	2 0.8	262 100.0
4年次以上	154 74.8	94 45.6	126 61.2	77 37.4	109 52.9	91 44.2	47 22.8	45 21.8	55 26.7	2 1.0	1 0.5	206 100.0
全体	1,246 71.2	877 50.1	843 48.1	753 43.0	617 35.2	602 34.4	587 33.5	336 19.2	333 19.0	10 0.6	19 1.1	1,751 100.0

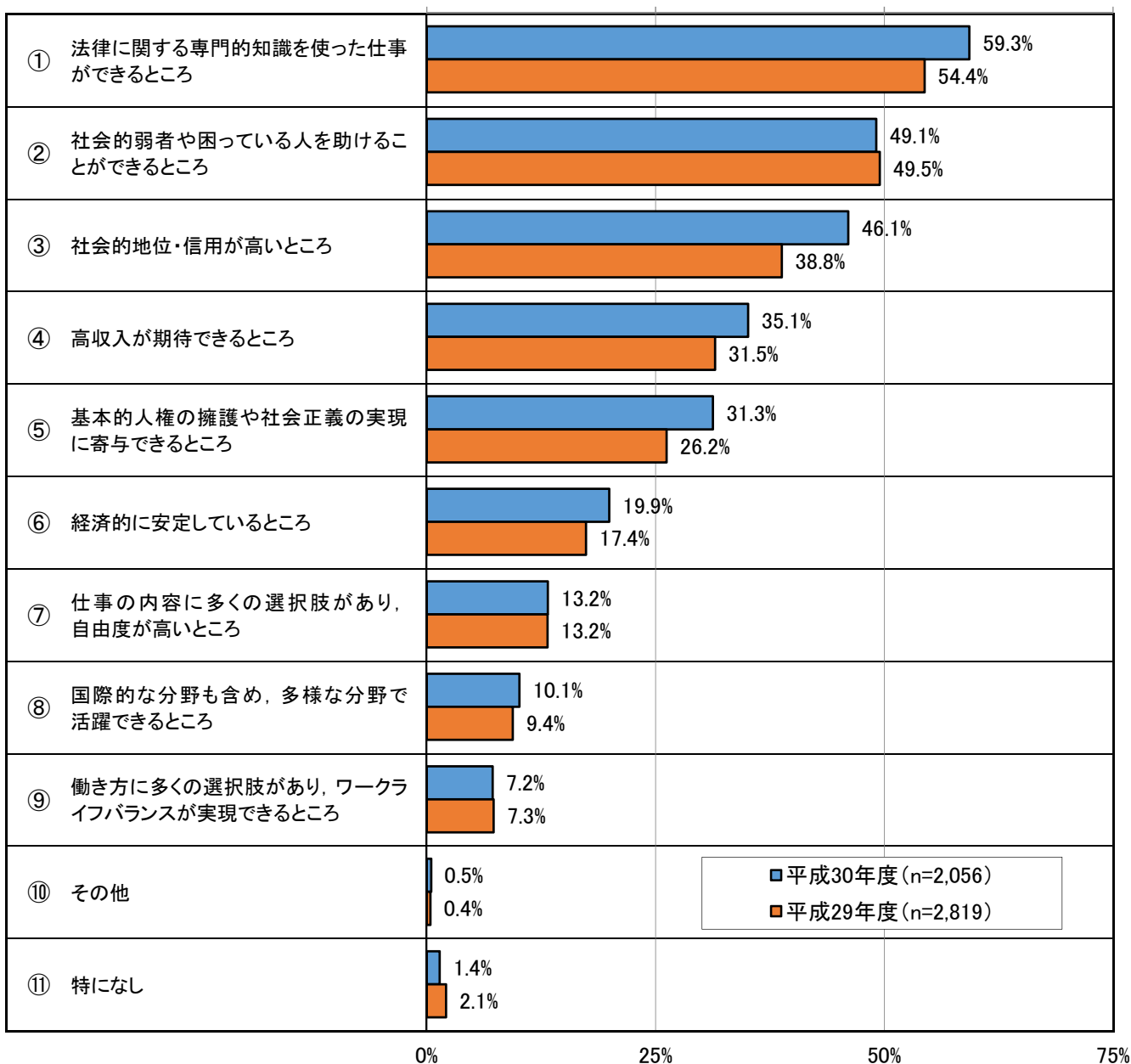


(2)過去志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去志望・選択肢の1つとして考えていた学生の法曹等の魅力は、「法律に関する専門的知識を使った仕事ができる」ところ」が59.3%で最も高く過半数、「社会的弱者や困っている人を助けるところ」の49.1%がほぼ半数となっている。これに、「社会的地位・信用が高いところ」が46.1%、「高収入が期待できる」ところ」が35.1%が続いている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

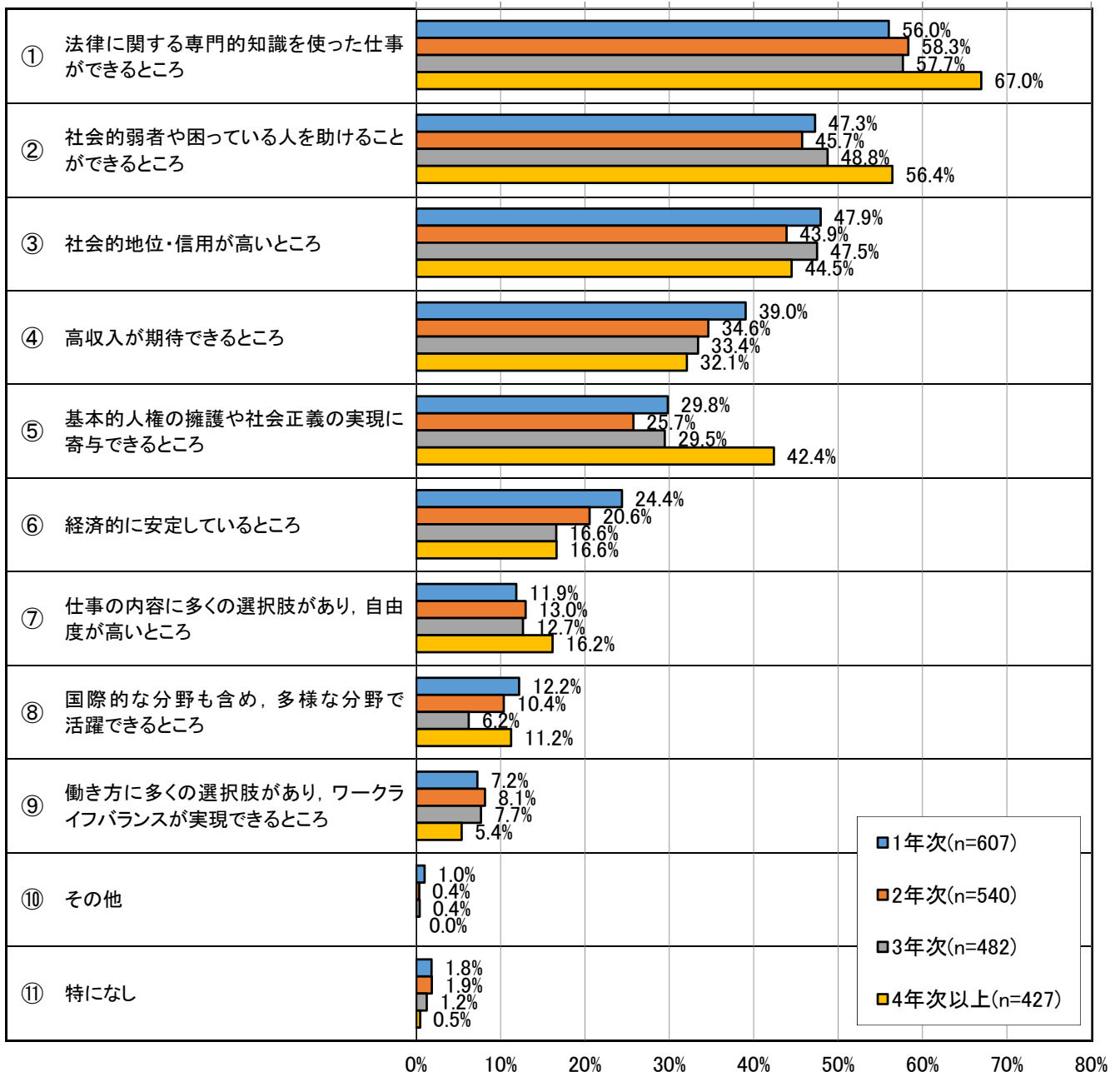
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	回答者数
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができる	社会的弱者や困っている人を助けるところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できる	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できる	経済的に安定している	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高い	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できる	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスが実現できる	その他	特になし	
平成30年度	1,219	1,010	947	722	643	410	272	208	148	10	29	2,056
	59.3	49.1	46.1	35.1	31.3	19.9	13.2	10.1	7.2	0.5	1.4	100.0
平成29年度	1,533	1,394	1,093	888	738	491	373	264	206	12	59	2,819
	54.4	49.5	38.8	31.5	26.2	17.4	13.2	9.4	7.3	0.4	2.1	100.0



(参考)学年別内訳【表・横棒グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	回答者数
	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	経済的に安定しているところ	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスが実現できるところ	その他	特になし	
1年次	340 56.0	287 47.3	291 47.9	237 39.0	181 29.8	148 24.4	72 11.9	74 12.2	44 7.2	6 1.0	11 1.8	607 100.0
2年次	315 58.3	247 45.7	237 43.9	187 34.6	139 25.7	111 20.6	70 13.0	56 10.4	44 8.1	2 0.4	10 1.9	540 100.0
3年次	278 57.7	235 48.8	229 47.5	161 33.4	142 29.5	80 16.6	61 12.7	30 6.2	37 7.7	2 0.4	6 1.2	482 100.0
4年次以上	286 67.0	241 56.4	190 44.5	137 32.1	181 42.4	71 16.6	69 16.2	48 11.2	23 5.4	0 0.0	2 0.5	427 100.0
全体	1,219 59.3	1,010 49.1	947 46.1	722 35.1	643 31.3	410 19.9	272 13.2	208 10.1	148 7.2	10 0.5	29 1.4	2,056 100.0



5.法曹有資格者の活動領域の拡大

(1)法曹等の活動領域が拡大していることに対する現状認識

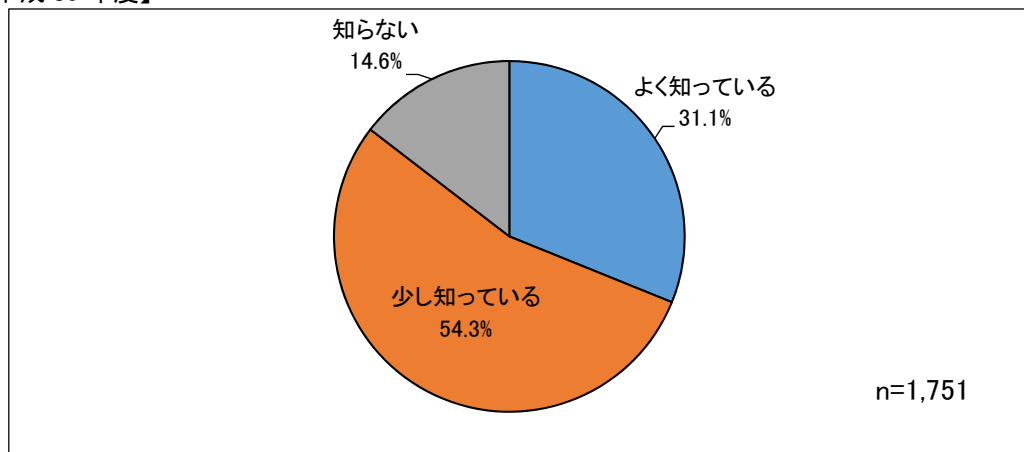
ア.現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在志望・選択肢の1つとして考えている学生では、「少し知っている」が54.3%、「よく知っている」が31.1%で8割以上が知っている。

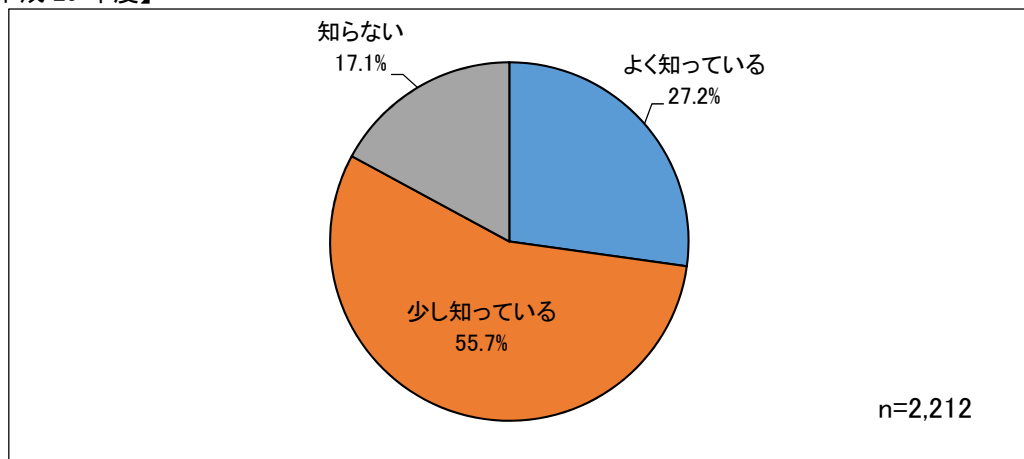
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	よく知っている	少し知っている	知らない	回答者数
平成30年度	545	951	255	1,751
	31.1	54.3	14.6	100.0
平成29年度	602	1,232	378	2,212
	27.2	55.7	17.1	100.0

【平成30年度】



【平成29年度】



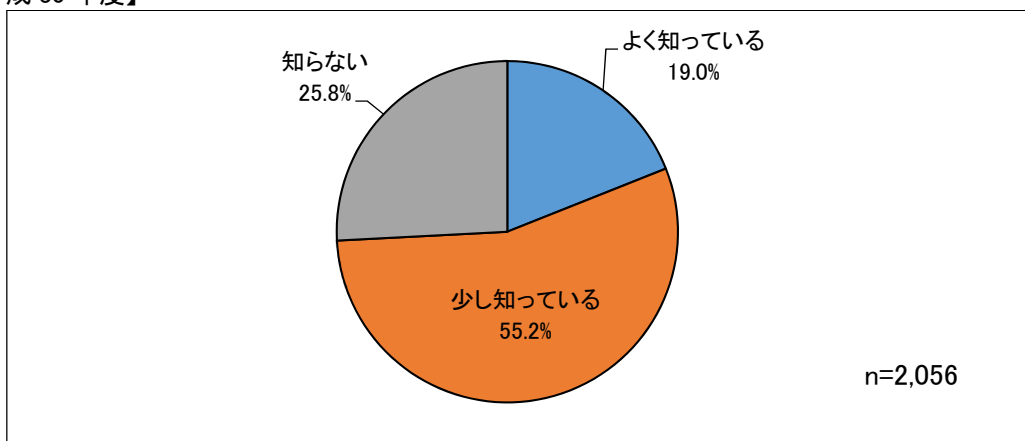
イ.過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生では、「少し知っている」が55.2%、「よく知っている」が19.0%となっている。「少し知っている」は現在志望・選択肢の1つと考えている学生と同程度であるが、「よく知っている」は10ポイントあまり低くなっている。

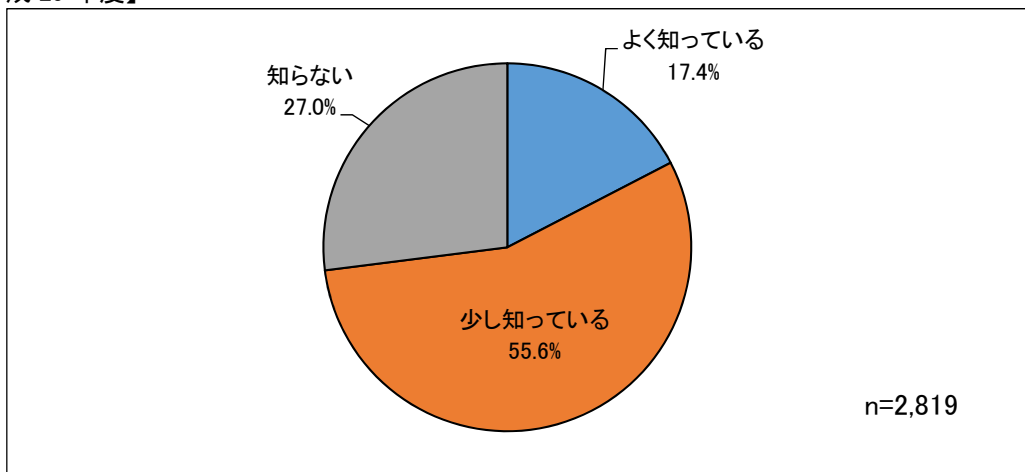
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	よく知っている	少し知っている	知らない	回答者数
平成 30 年度	390	1,135	531	2,056
	19.0	55.2	25.8	100.0
平成 29 年度	490	1,567	762	2,819
	17.4	55.6	27.0	100.0

【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



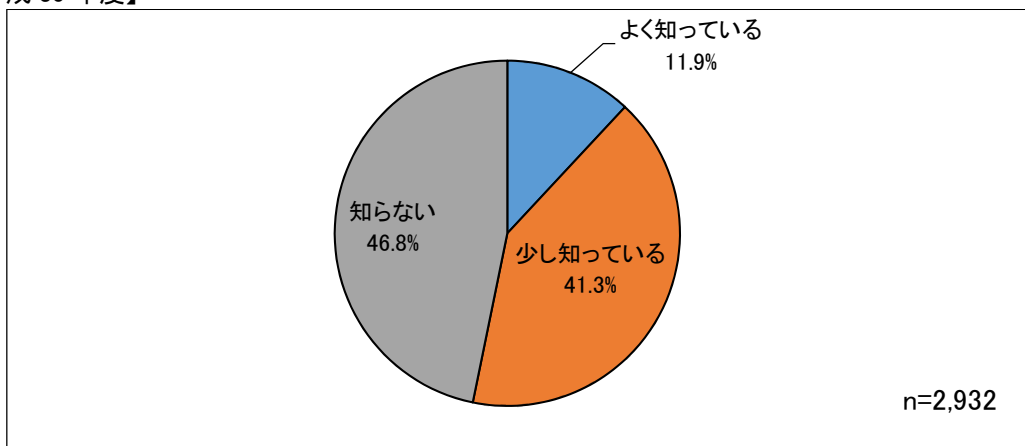
ウ.法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生

法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生では、「知らない」が46.8%で半数近くと高くなっている。次いで「少し知っている」が41.3%で、「よく知っている」が11.9%となっている。

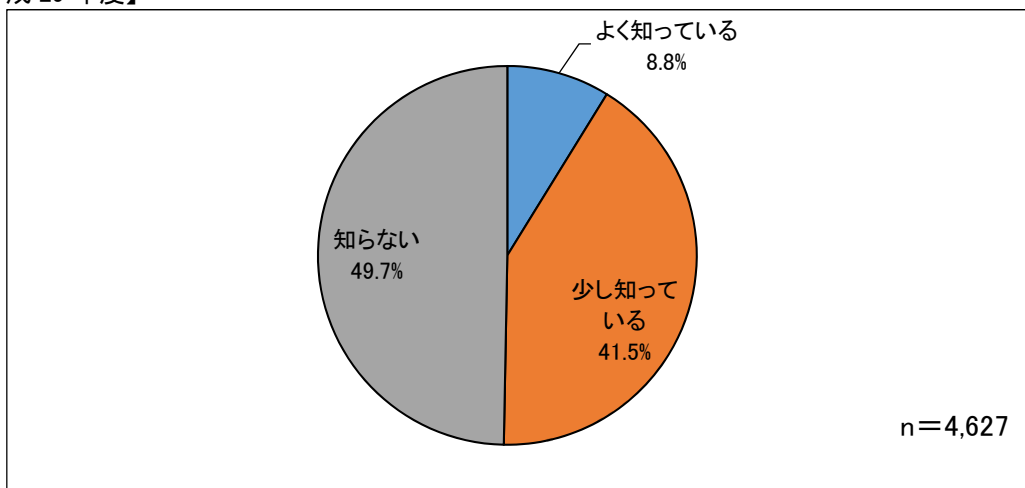
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	よく知っている	少し知っている	知らない	回答者数
平成30年度	350	1,210	1,372	2,932
	11.9	41.3	46.8	100.0
平成29年度	406	1,921	2,300	4,627
	8.8	41.5	49.7	100.0

【平成30年度】



【平成29年度】



(2)法曹等の活動領域が拡大している分野(海外, 企業, 国・自治体等)で働くことに対する興味・関心の有無

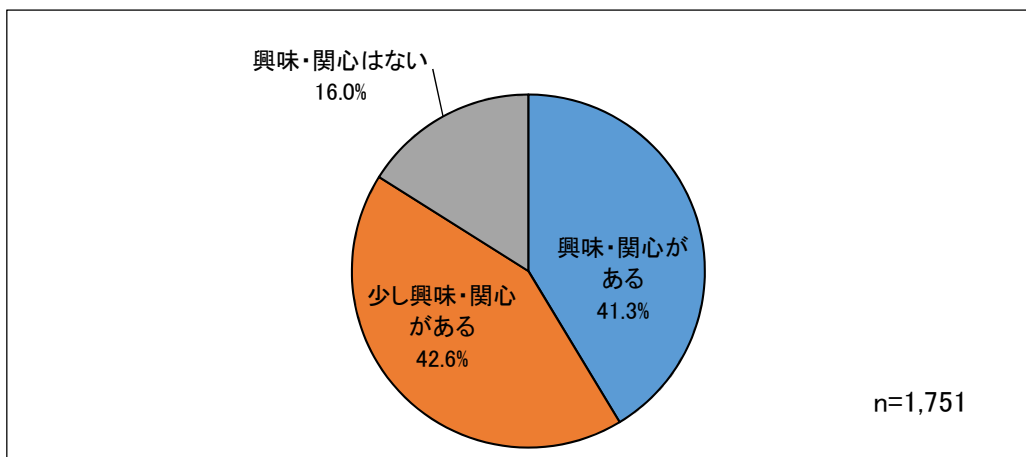
ア.現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在志望・選択肢の1つとしている学生が、法曹等の活動領域が拡大している分野で働くことについては、「少し興味・関心がある」が42.6%、「興味・関心がある」が41.3%である。「興味・関心はない」は16.0%となっている。

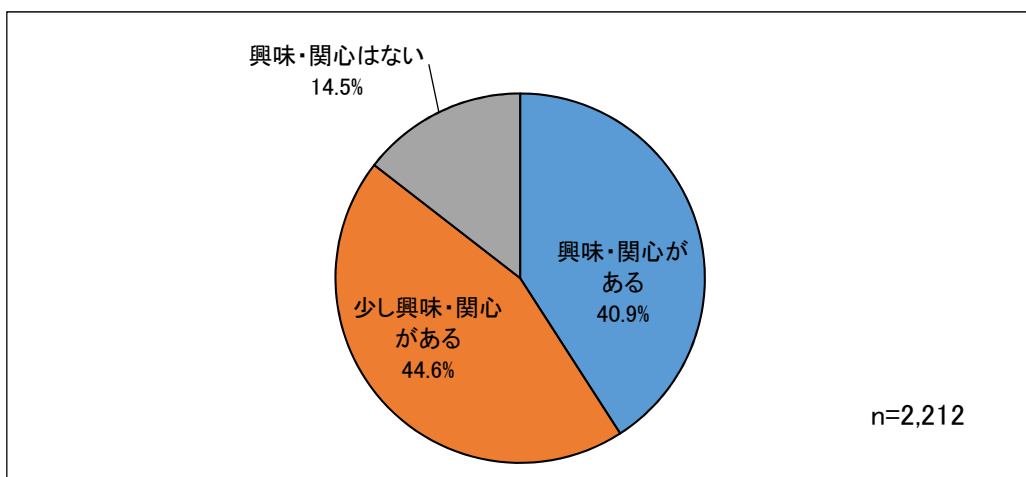
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
平成 30 年度	724 41.3	746 42.6	281 16.0	1,751 100.0
平成 29 年度	904 40.9	987 44.6	321 14.5	2,212 100.0

【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



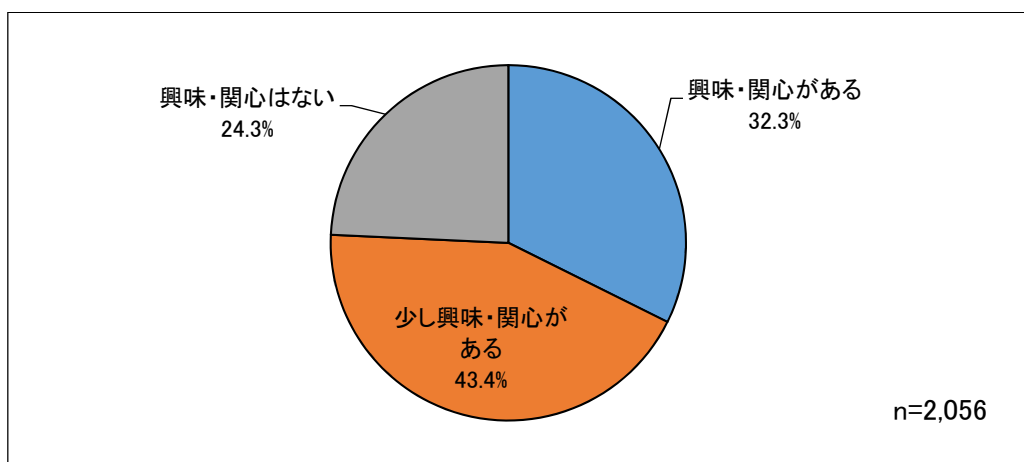
イ.過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に志望・選択肢の1つとしていた学生では、「少し興味・関心がある」が43.4%、「興味・関心がある」が32.3%である。「興味・関心はない」は24.3%となっている。

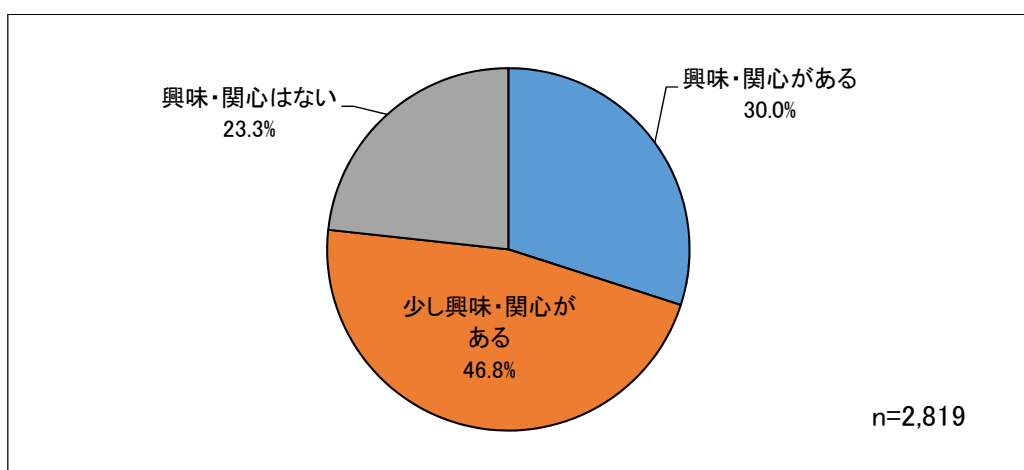
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
平成 30 年度	665	892	499	2,056
	32.3	43.4	24.3	100.0
平成 29 年度	845	1,318	656	2,819
	30.0	46.8	23.3	100.0

【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



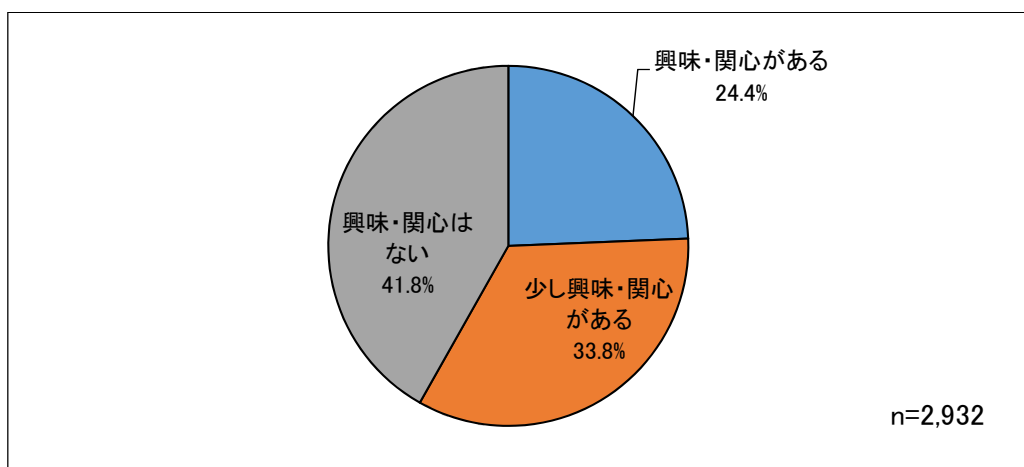
ウ.法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生

法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生では、「興味・関心はない」が41.8%、「少し興味・関心がある」が33.8%、「興味・関心がある」が24.4%となっている。

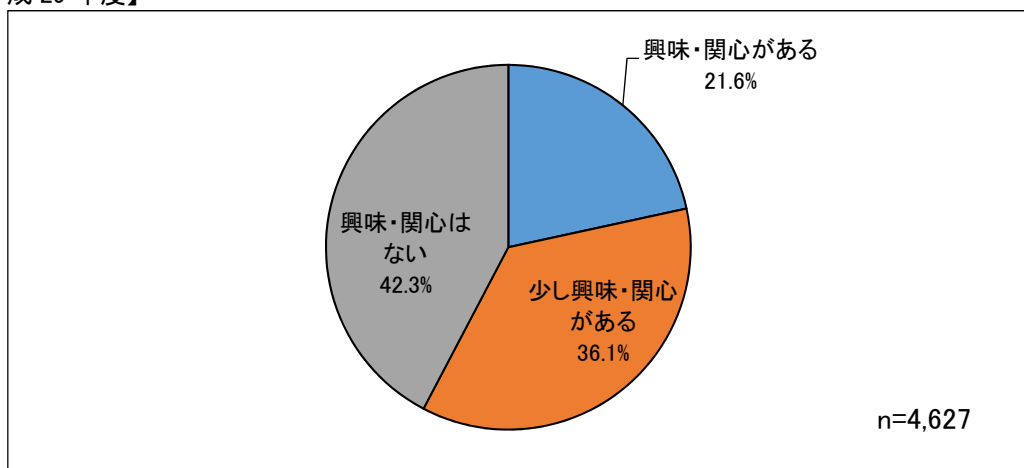
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
平成30年度	714	992	1,226	2,932
	24.4	33.8	41.8	100.0
平成29年度	1,000	1,671	1,956	4,627
	21.6	36.1	42.3	100.0

【平成30年度】



【平成29年度】



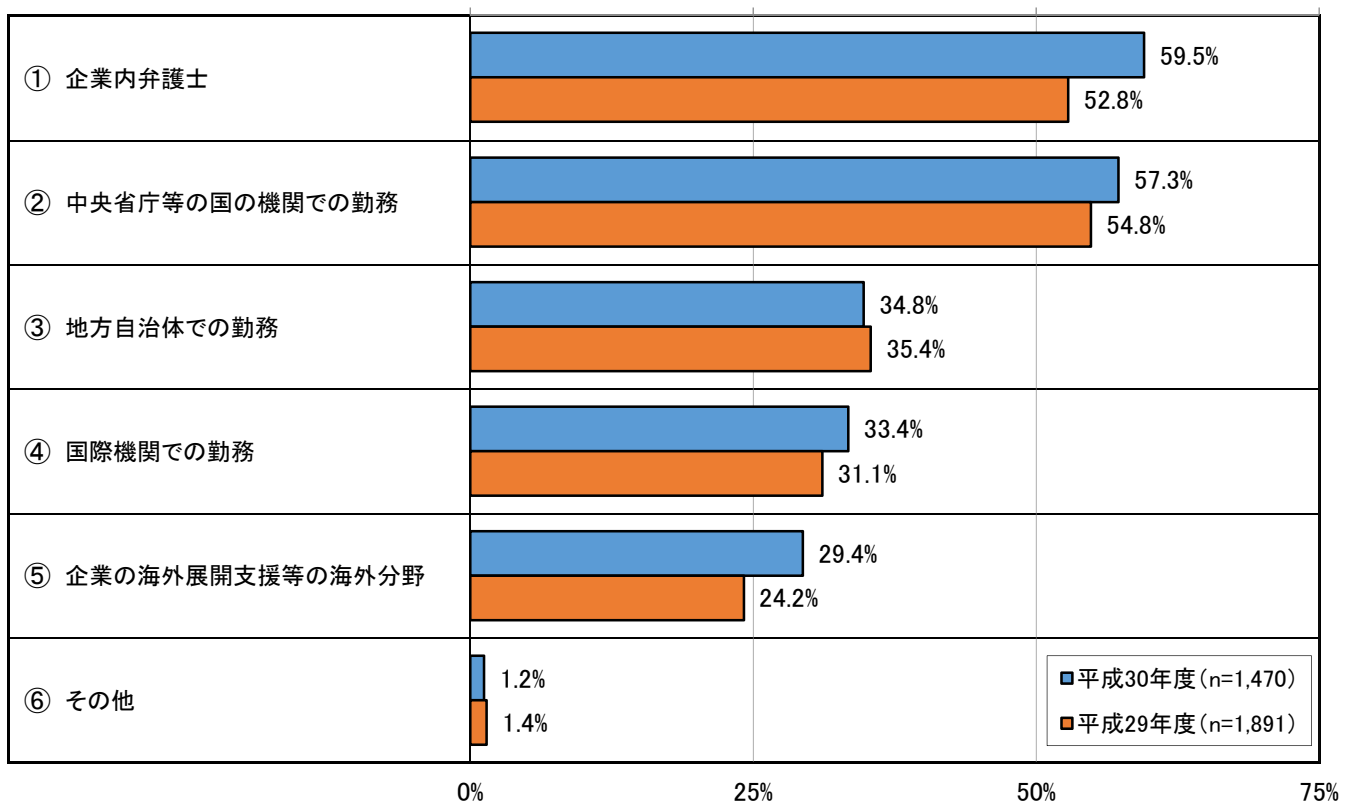
(3)法曹等の活動領域が拡大している分野のうち興味・関心がある分野(複数選択可)

ア.現在志望・選択肢の1つとして考えている学生

現在志望・選択肢の1つとしている学生が、法曹等の活動領域が拡大している分野のうち興味・関心がある分野は、「企業内弁護士」と「中央省庁等の国の機関での勤務」がそれぞれ59.5%、57.3%と過半数で高くなっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	回答者数
	企業内弁護士	中央省庁等の国の機関での勤務	地方自治体での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	その他	
平成30年度	875 59.5	842 57.3	511 34.8	491 33.4	432 29.4	18 1.2	1,470 100.0
平成29年度	999 52.8	1,037 54.8	669 35.4	588 31.1	457 24.2	27 1.4	1,891 100.0

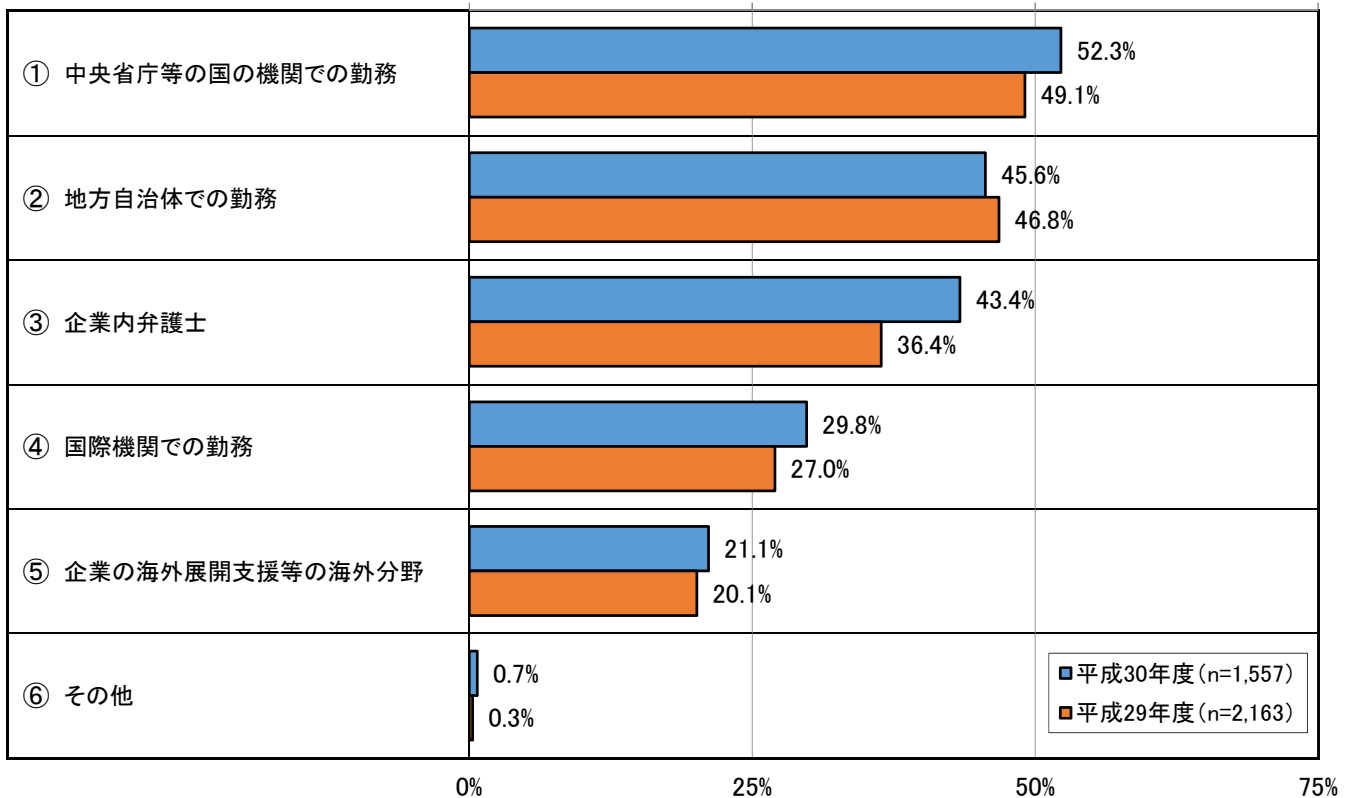


イ.過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生

過去に志望・選択肢の1つとしていた学生では、「中央省庁等の国の機関での勤務」が52.3%で最も高く、過半数、次いで「地方自治体での勤務」が45.6%となっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	回答者数
	中央省庁等の国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業内弁護士	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	その他	
平成30年度	814 52.3	710 45.6	675 43.4	464 29.8	329 21.1	11 0.7	1,557 100.0
平成29年度	1,063 49.1	1,013 46.8	788 36.4	584 27.0	434 20.1	6 0.3	2,163 100.0

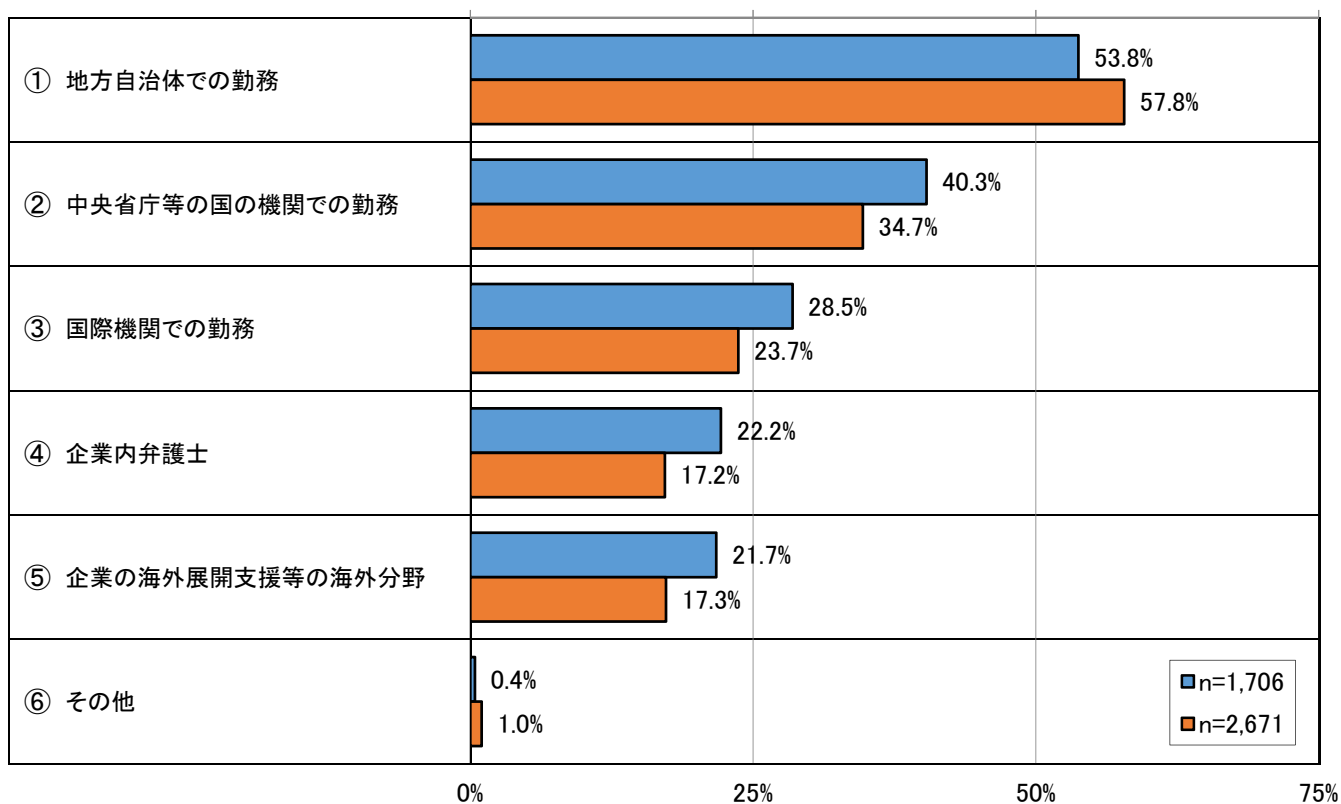


ウ.法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生

法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生では、「地方自治体での勤務」が53.8%で最も高く、過半数、次いで「中央省庁等の国の機関での勤務」が40.3%となっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	回答者数
	地方自治体での勤務	中央省庁等の国の機関での勤務	国際機関での勤務	企業内弁護士	企業の海外展開支援等の海外分野	その他	
平成30年度	917 53.8	688 40.3	486 28.5	378 22.2	371 21.7	7 0.4	1,706 100.0
平成29年度	1,545 57.8	926 34.7	633 23.7	459 17.2	463 17.3	26 1.0	2,671 100.0



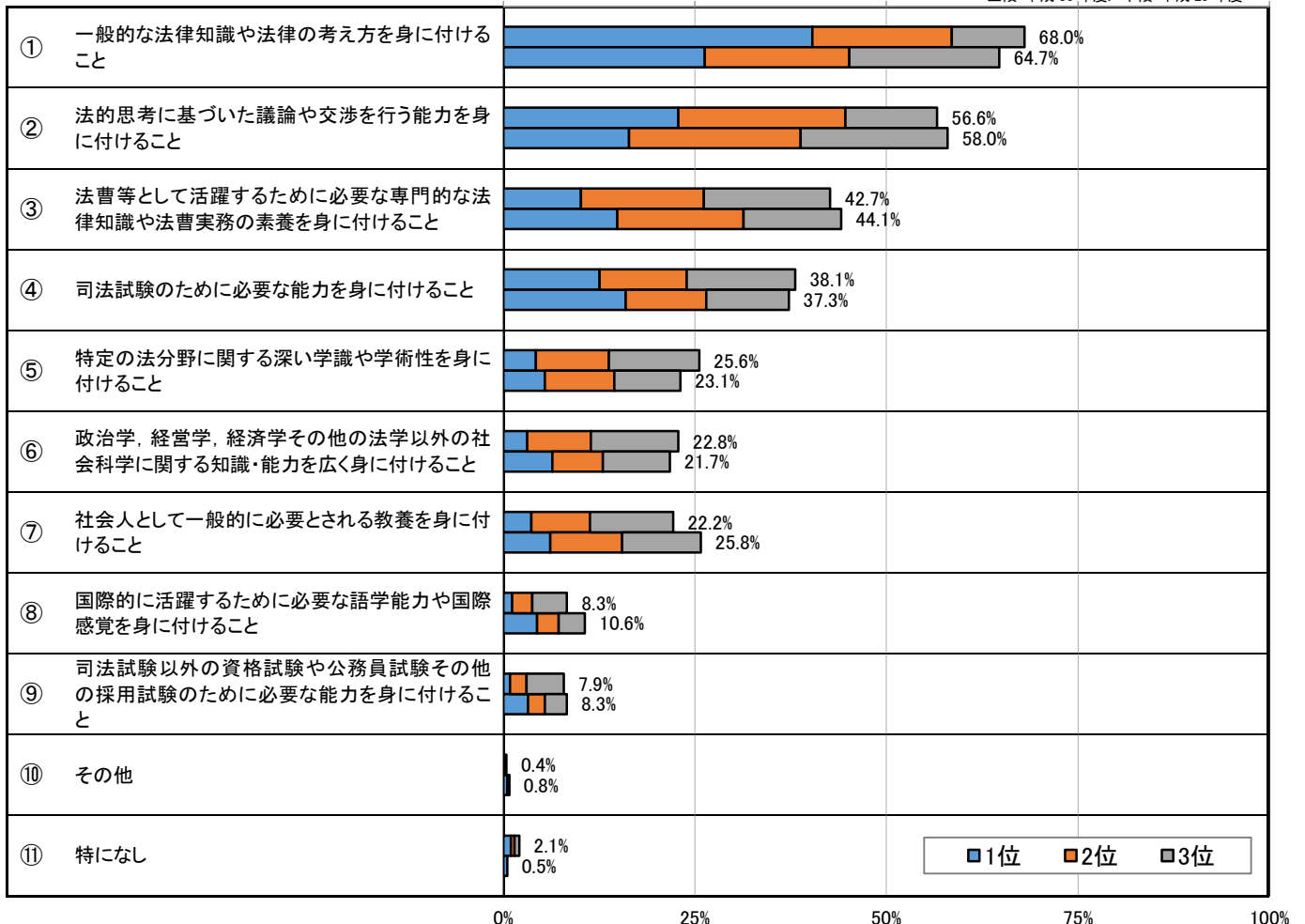
6.法学部教育に期待すること(上位3つまで選択/現在志望・選択肢の1つとして考えている学生)

法曹等を現在志望・選択肢の1つとして考えている学生が、法学部教育に期待することは「一般的な法律知識や法律の考え方を身に付けること」が68.0%で最も高く、「法的思考に基づいた議論や交渉を行う能力を身に付けること」の56.6%が続いている。

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-	回答者数
		一般的な法律知識や法律の考え方を身に付けること	法的思考に基づいた議論や交渉を行う能力を身に付けること	法曹等として活躍するために必要な専門的な法律知識や法曹実務の素養を身に付けること	司法試験のために必要な能力を身に付けること	特定の法分野に関する深い学識や学術性を身に付けること	政治学、経営学、経済学その他の法学以外の社会科学に関する知識・能力を広く身に付けること	社会人として一般的に必要とされる教養を身に付けること	国際的に活躍するために必要な語学能力や国際感覚を身に付けること	司法試験以外の資格試験や公務員試験その他の採用試験のために必要な能力を身に付けること	その他	特になし	選択なし	
1位	平成30年度	706 40.3	400 22.8	177 10.1	220 12.6	74 4.2	54 3.1	64 3.7	20 1.1	15 0.9	4 0.2	17 1.0	0 -	1,751 100.0
	平成29年度	581 26.3	363 16.4	329 14.9	353 16.0	120 5.4	141 6.4	135 6.1	97 4.4	71 3.2	11 0.5	11 0.5	0 -	2,212 100.0
2位	平成30年度	319 18.2	382 21.8	281 16.0	199 11.4	167 9.5	146 8.3	134 7.7	46 2.6	38 2.2	1 0.1	8 0.5	30 1.7	1,751 100.0
	平成29年度	418 18.9	495 22.4	364 16.5	233 10.5	200 9.0	146 6.6	208 9.4	63 2.8	49 2.2	2 0.1	0 0.0	34 1.5	2,212 100.0
3位	平成30年度	166 9.5	209 11.9	289 16.5	248 14.2	207 11.8	200 11.4	190 10.9	79 4.5	85 4.9	2 0.1	11 0.6	65 3.7	1,751 100.0
	平成29年度	433 19.6	425 19.2	282 12.7	238 10.8	191 8.6	194 8.8	227 10.3	75 3.4	63 2.8	4 0.2	0 0.0	80 3.6	2,212 100.0
合計	平成30年度	1191 68.0	991 56.6	747 42.7	667 38.1	448 25.6	400 22.8	388 22.2	145 8.3	138 7.9	7 0.4	36 2.1	95 -	1,751 100.0
	平成29年度	1,432 64.7	1,283 58.0	975 44.1	824 37.3	511 23.1	481 21.7	570 25.8	235 10.6	183 8.3	17 0.8	11 0.5	114 -	2,212 100.0

上段・平成30年度/下段・平成29年度

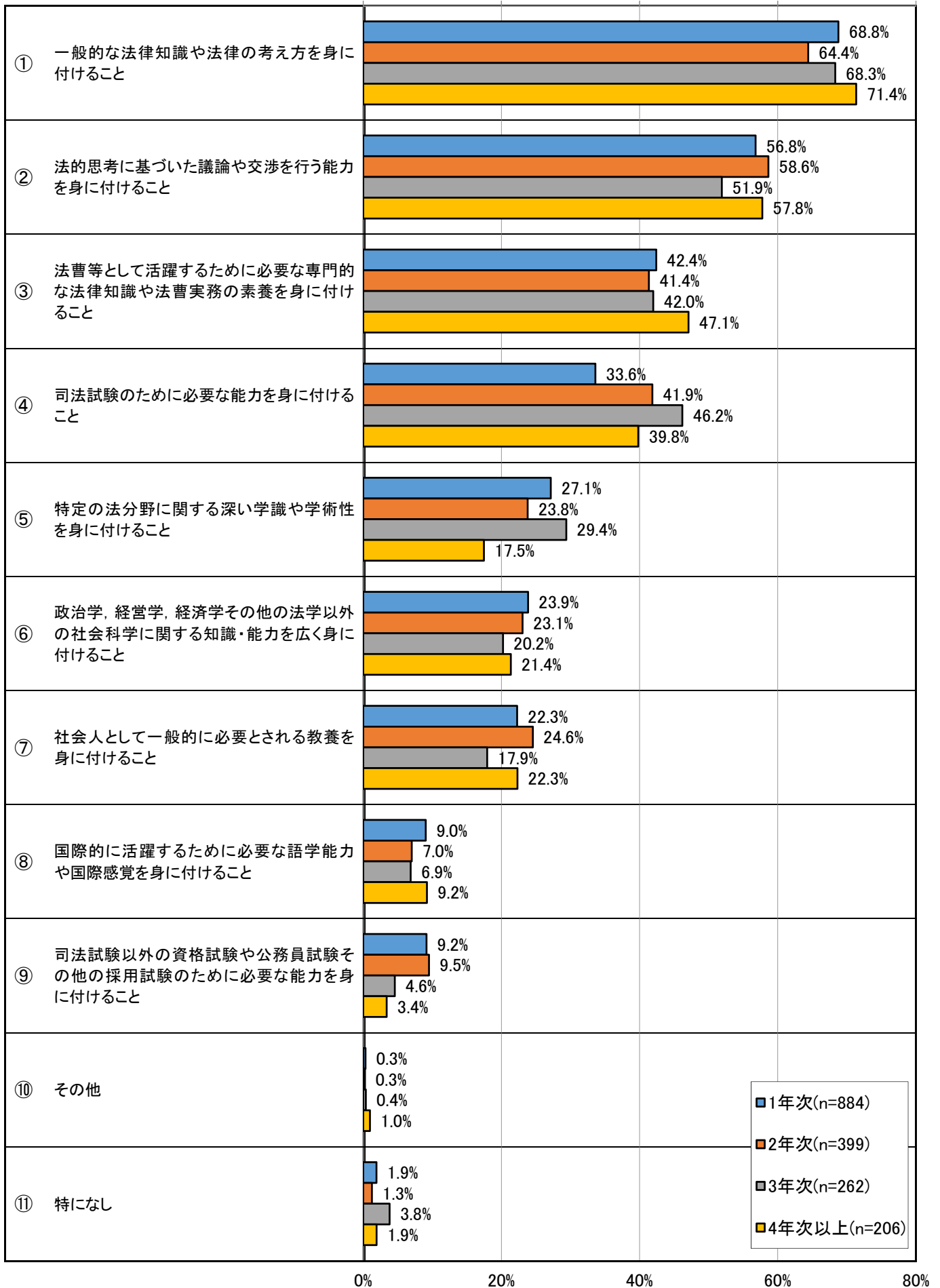


(参考)学年別内訳【表】

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-	
		一般的な法律知識や法律の考え方を身に付けること	法的思考に基づいた議論や交渉を行う能力を身に付けること	法曹等として活躍するために必要な専門的な法律知識や法曹実務の素養を身に付けること	司法試験のために必要な能力を身に付けること	特定の法分野に関する深い学識や学術性を身に付けること	政治学、経営学、経済学その他の法学以外の社会科学に関する知識・能力を身に付けること	社会人として一般的に必要な教養を身に付けること	国際的に活躍するために必要な語学能力や国際感覚を身に付けること	司法試験以外の資格試験や公務員試験その他の採用試験のために必要な能力を身に付けること	その他	特になし	選択なし	回答者数
1位	全体	706 40.3	400 22.8	177 10.1	220 12.6	74 4.2	54 3.1	64 3.7	20 1.1	15 0.9	4 0.2	17 1.0	0 -	1,751 100.0
	1年次	359 40.6	209 23.6	89 10.1	96 10.9	38 4.3	32 3.6	36 4.1	8 0.9	6 0.7	2 0.2	9 1.0	0 -	884 100.0
	2年次	147 36.8	97 24.3	45 11.3	54 13.5	19 4.8	13 3.3	10 2.5	4 1.0	7 1.8	1 0.3	2 0.5	0 -	399 100.0
	3年次	103 39.3	51 19.5	29 11.1	48 18.3	11 4.2	3 1.1	10 3.8	1 0.4	2 0.8	1 0.4	3 1.1	0 -	262 100.0
	4年次以上	97 47.1	43 20.9	14 6.8	22 10.7	6 2.9	6 2.9	8 3.9	7 3.4	0 0.0	0 0.0	3 1.5	0 -	206 100.0
	2位	全体	319 18.2	382 21.8	281 16.0	199 11.4	167 9.5	146 8.3	134 7.7	46 2.6	38 2.2	1 0.1	8 0.5	30 1.7
1年次	169 19.1	190 21.5	130 14.7	84 9.5	94 10.6	82 9.3	67 7.6	26 2.9	25 2.8	0 0.0	4 0.5	13 1.5	884 100.0	
2年次	64 16.0	87 21.8	69 17.3	60 15.0	31 7.8	26 6.5	37 9.3	13 3.3	6 1.5	0 0.0	1 0.3	5 1.3	399 100.0	
3年次	54 20.6	54 20.6	39 14.9	31 11.8	32 12.2	21 8.0	15 5.7	3 1.1	4 1.5	0 0.0	3 1.1	6 2.3	262 100.0	
4年次以上	32 15.5	51 24.8	43 20.9	24 11.7	10 4.9	17 8.3	15 7.3	4 1.9	3 1.5	1 0.5	0 0.0	6 2.9	206 100.0	
3位	全体	166 9.5	209 11.9	289 16.5	248 14.2	207 11.8	200 11.4	190 10.9	79 4.5	85 4.9	2 0.1	11 0.6	65 3.7	1,751 100.0
	1年次	80 9.0	103 11.7	156 17.6	117 13.2	108 12.2	97 11.0	94 10.6	46 5.2	50 5.7	1 0.1	4 0.5	28 3.2	884 100.0
	2年次	46 11.5	50 12.5	51 12.8	53 13.3	45 11.3	53 13.3	51 12.8	11 2.8	25 6.3	0 0.0	2 0.5	12 3.0	399 100.0
	3年次	22 8.4	31 11.8	42 16.0	42 16.0	34 13.0	29 11.1	22 8.4	14 5.3	6 2.3	0 0.0	4 1.5	16 6.1	262 100.0
	4年次以上	18 8.7	25 12.1	40 19.4	36 17.5	20 9.7	21 10.2	23 11.2	8 3.9	4 1.9	1 0.5	1 0.5	9 4.4	206 100.0
	合計	全体	1191 68.0	991 56.6	747 42.7	667 38.1	448 25.6	400 22.8	388 22.2	145 8.3	138 7.9	7 0.4	36 2.1	95 -
1年次	608 68.8	502 56.8	375 42.4	297 33.6	240 27.1	211 23.9	197 22.3	80 9.0	81 9.2	3 0.3	17 1.9	41 -	884 100.0	
2年次	257 64.4	234 58.6	165 41.4	167 41.9	95 23.8	92 23.1	98 24.6	28 7.0	38 9.5	1 0.3	5 1.3	17 -	399 100.0	
3年次	179 68.3	136 51.9	110 42.0	121 46.2	77 29.4	53 20.2	47 17.9	18 6.9	12 4.6	1 0.4	10 3.8	22 -	262 100.0	
4年次以上	147 71.4	119 57.8	97 47.1	82 39.8	36 17.5	44 21.4	46 22.3	19 9.2	7 3.4	2 1.0	4 1.9	15 -	206 100.0	

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】

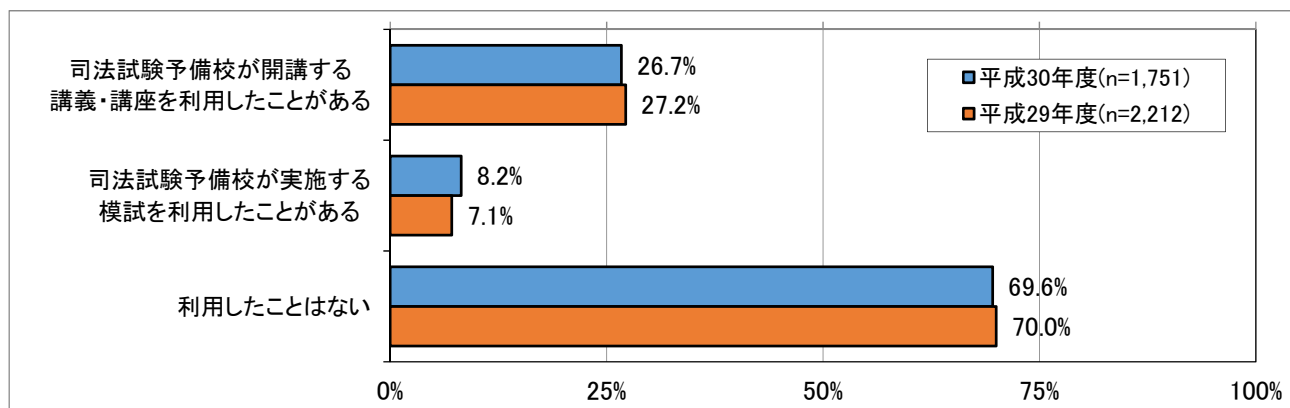


7.司法試験予備校の利用の有無(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生/複数選択可)

法曹等を現在志望・選択肢の1つとして考えている学生の司法試験予備校の利用の有無は「利用したことはない」が69.6%で最も高い。利用したことがある場合には「司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある」が26.7%となっている。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

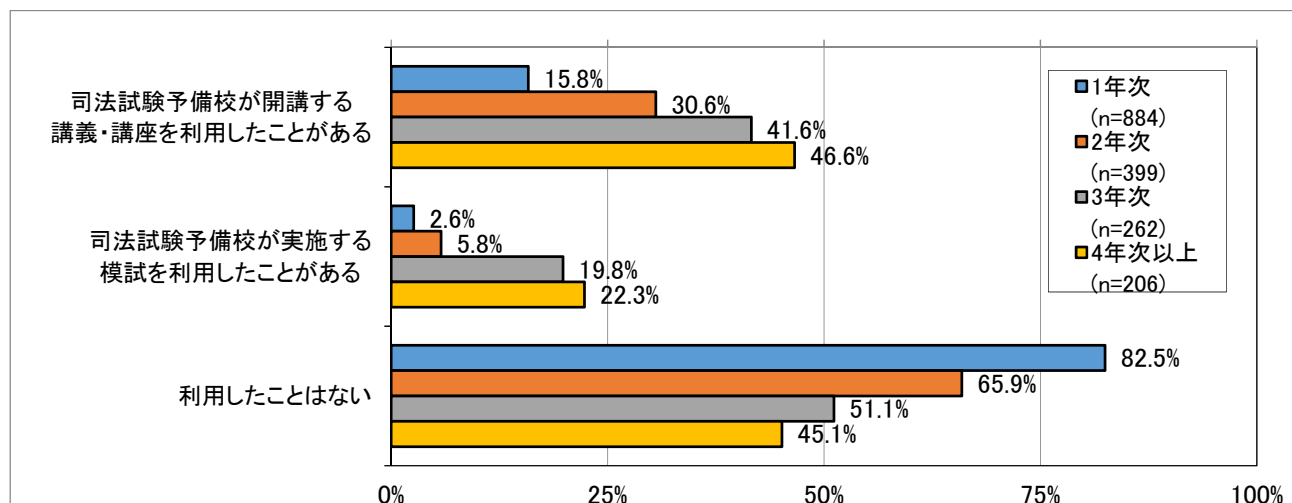
	司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
平成30年度	467 26.7	144 8.2	1,219 69.6	1,751 100.0
平成29年度	602 27.2	157 7.1	1,548 70.0	2,212 100.0



(参考)学年別内訳【横棒グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
1年次	140 15.8	23 2.6	729 82.5	884 100.0
2年次	122 30.6	23 5.8	263 65.9	399 100.0
3年次	109 41.6	52 19.8	134 51.1	262 100.0
4年次以上	96 46.6	46 22.3	93 45.1	206 100.0
全体	467 26.7	144 8.2	1,219 69.6	1,751 100.0



8.法曹等を志望するに当たっての不安や迷い, 断念の理由等

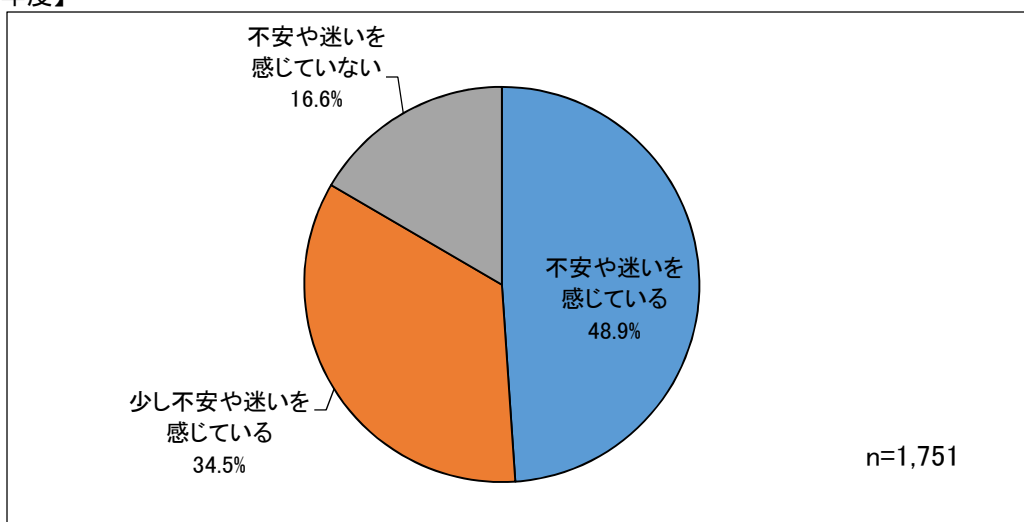
(1)法曹等を志望するに当たっての不安や迷いについて(現在志望・選択肢の1つとして考えている学生)

法曹等を志望するに当たっての不安や迷いについては、「不安や迷いを感じている」は48.9%で半数近くになっている。これに「少し不安や迷いを感じている」の34.5%を加えると、8割以上が不安や迷いを感じている。「不安や迷いを感じていない」は16.6%にとどまっている。

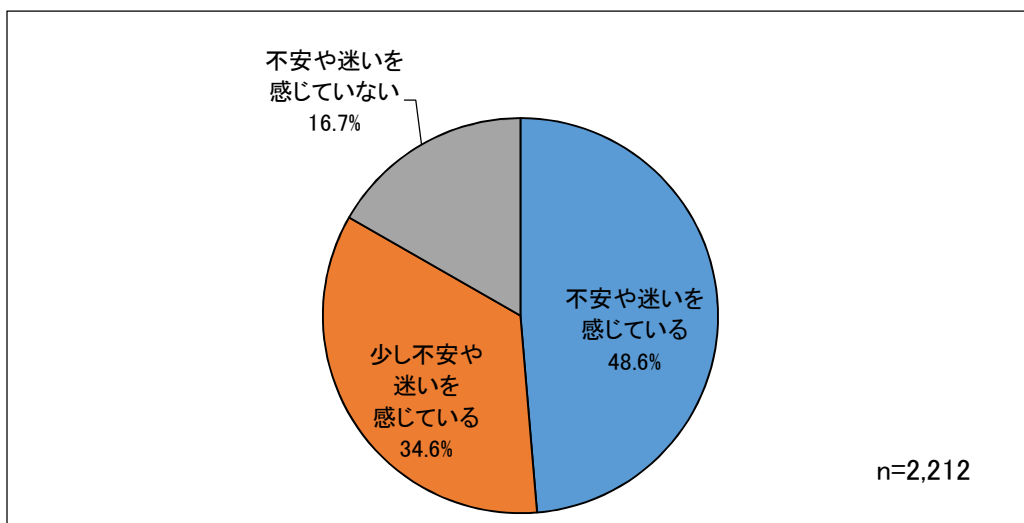
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	不安や迷いを感じている	少し不安や迷いを感じている	不安や迷いを感じていない	回答者数
平成30年度	856 48.9	604 34.5	291 16.6	1,751 100.0
平成29年度	1,076 48.6	766 34.6	370 16.7	2,212 100.0

【平成30年度】



【平成29年度】



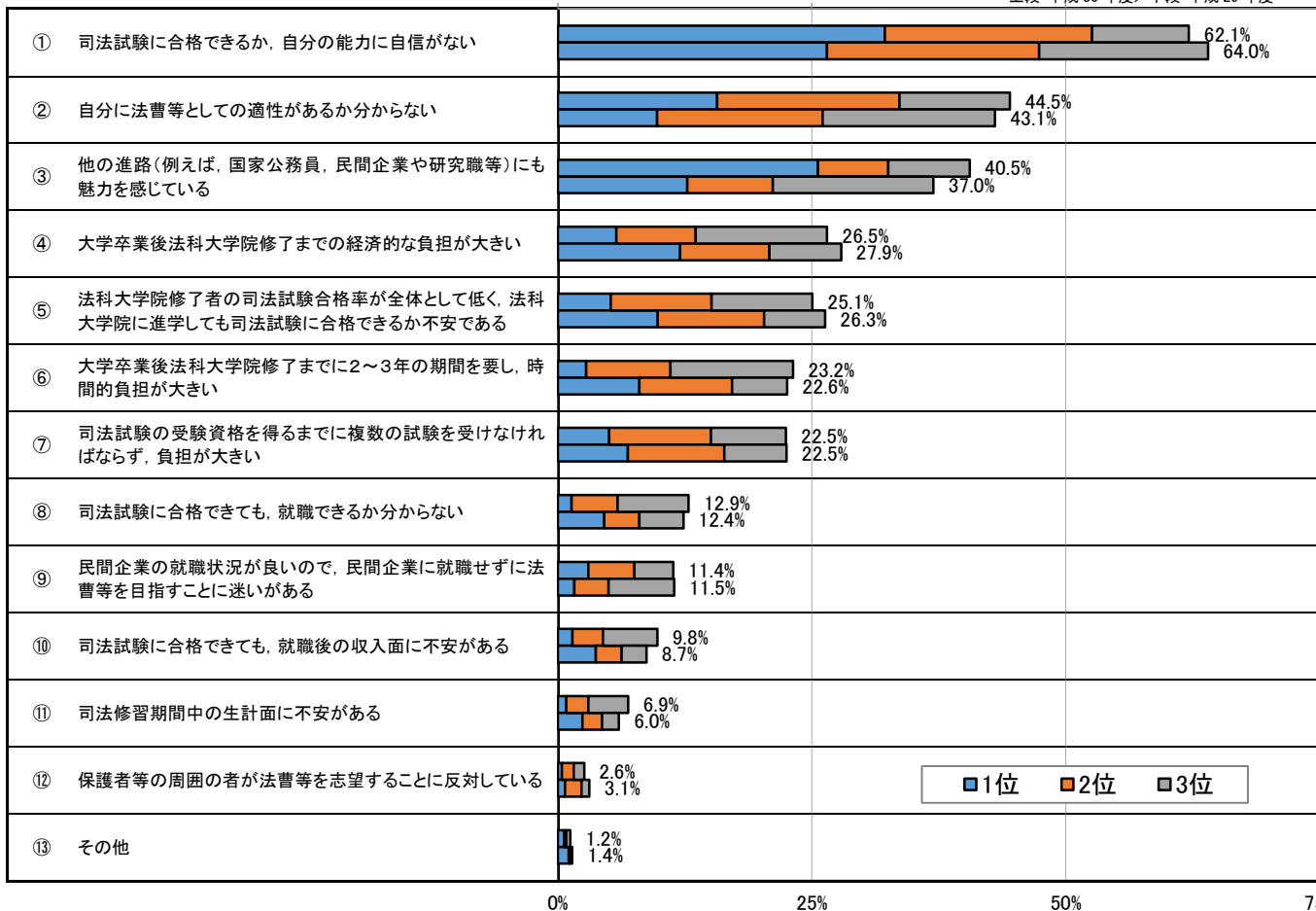
(2)現在志望・選択肢の1つとして考えている学生の不安や迷い(上位3つまで選択)

現在志望・選択肢の1つとして考えている学生の不安や迷いは「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない」が62.1%で最も高く6割を超えている。次いで「自分に法曹等としての適性があるか分からない」が44.5%となっている。

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	-	回答者数
		司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	自分に法曹等としての適性があるか分からない	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きい	司法試験に合格できても、就職できるか分からない	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	司法修習期間中の生計面に不安がある	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している	その他	選択なし	
1位	平成30年度	470	229	374	84	76	41	74	20	44	21	12	6	9	0	1,460
	平成29年度	32.2	15.7	25.6	5.8	5.2	2.8	5.1	1.4	3.0	1.4	0.8	0.4	0.6	-	100.0
2位	平成30年度	488	180	235	222	181	148	127	84	30	69	45	13	20	0	1,842
	平成29年度	26.5	9.8	12.8	12.1	9.8	8.0	6.9	4.6	1.6	3.7	2.4	0.7	1.1	-	100.0
3位	平成30年度	298	262	101	114	145	121	146	66	66	44	32	17	3	45	1,460
	平成29年度	20.4	17.9	6.9	7.8	9.9	8.3	10.0	4.5	4.5	3.0	2.2	1.2	0.2	3.1	100.0
合計	平成30年度	385	300	155	162	193	168	175	64	62	47	35	30	4	62	1,842
	平成29年度	20.9	16.3	8.4	8.8	10.5	9.1	9.5	3.5	3.4	2.6	1.9	1.6	0.2	3.4	100.0
合計	平成30年度	139	159	117	189	145	176	108	102	56	78	57	15	6	113	1,460
	平成29年度	9.5	10.9	8.0	12.9	9.9	12.1	7.4	7.0	3.8	5.3	3.9	1.0	0.4	7.7	100.0
合計	平成30年度	306	313	291	130	111	100	113	80	119	45	31	14	2	187	1,842
	平成29年度	16.6	17.0	15.8	7.1	6.0	5.4	6.1	4.3	6.5	2.4	1.7	0.8	0.1	10.2	100.0
合計	平成30年度	907	650	592	387	366	338	328	188	166	143	101	38	18	158	1,460
	平成29年度	62.1	44.5	40.5	26.5	25.1	23.2	22.5	12.9	11.4	9.8	6.9	2.6	1.2	-	100.0
合計	平成30年度	1,179	793	681	514	485	416	415	228	211	161	111	57	26	249	1,842
	平成29年度	64.0	43.1	37.0	27.9	26.3	22.6	22.5	12.4	11.5	8.7	6.0	3.1	1.4	-	100.0

上段・平成30年度/下段・平成29年度

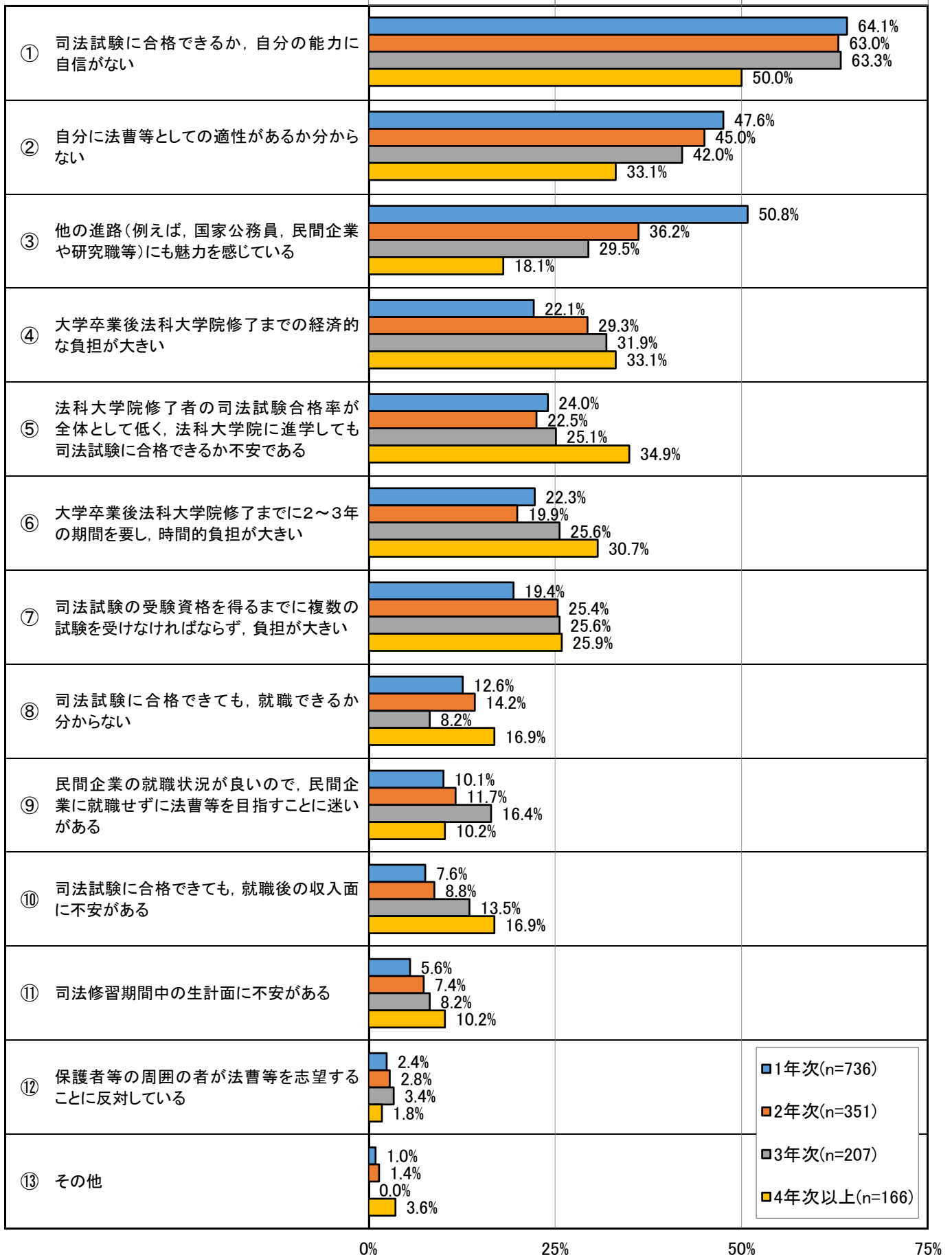


(参考)学年別内訳【表】

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	-	回答者数
		司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	自分に法曹等としての適性があるからでない	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならないが、負担が大きい	司法試験に合格できず、就職できないから分らない	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せず、法曹を目指すことに迷いがある	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	司法修習期間中の生計面に不安がある	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している	その他	選択なし	
1位	全体	470 32.2	229 15.7	374 25.6	84 5.8	76 5.2	41 2.8	74 5.1	20 1.4	44 3.0	21 1.4	12 0.8	6 0.4	9 0.6	0 -	1,460 100.0
	1年次	225 30.6	119 16.2	247 33.6	31 4.2	26 3.5	17 2.3	21 2.9	9 1.2	20 2.7	11 1.5	4 0.5	3 0.4	3 0.4	0 -	736 100.0
	2年次	122 34.8	66 18.8	71 20.2	24 6.8	14 4.0	10 2.8	19 5.4	4 1.1	10 2.8	3 0.9	3 0.9	2 0.6	3 0.9	0 -	351 100.0
	3年次	76 36.7	26 12.6	38 18.4	15 7.2	15 7.2	3 1.4	18 8.7	3 1.4	6 2.9	4 1.9	2 1.0	1 0.5	0 0.0	0 -	207 100.0
	4年次以上	47 28.3	18 10.8	18 10.8	14 8.4	21 12.7	11 6.6	16 9.6	4 2.4	8 4.8	3 1.8	3 1.8	0 0.0	3 1.8	0 -	166 100.0
2位	全体	298 20.4	262 17.9	101 6.9	114 7.8	145 9.9	121 8.3	146 10.0	66 4.5	66 4.5	44 3.0	32 2.2	17 1.2	3 0.2	45 3.1	1,460 100.0
	1年次	169 23.0	150 20.4	55 7.5	41 5.6	66 9.0	58 7.9	66 9.0	31 4.2	33 4.5	20 2.7	16 2.2	9 1.2	2 0.3	20 2.7	736 100.0
	2年次	64 18.2	55 15.7	29 8.3	36 10.3	36 10.3	21 6.0	43 12.3	19 5.4	13 3.7	9 2.6	6 1.7	5 1.4	0 0.0	15 4.3	351 100.0
	3年次	39 18.8	35 16.9	11 5.3	21 10.1	21 10.1	27 13.0	19 9.2	6 2.9	14 6.8	6 2.9	4 1.9	1 0.5	0 0.0	3 1.4	207 100.0
	4年次以上	26 15.7	22 13.3	6 3.6	16 9.6	22 13.3	15 9.0	18 10.8	10 6.0	6 3.6	9 5.4	6 3.6	2 1.2	1 0.6	7 4.2	166 100.0
3位	全体	139 9.5	159 10.9	117 8.0	189 12.9	145 9.9	176 12.1	108 7.4	102 7.0	56 3.8	78 5.3	57 3.9	15 1.0	6 0.4	113 7.7	1,460 100.0
	1年次	78 10.6	81 11.0	72 9.8	91 12.4	85 11.5	89 12.1	56 7.6	53 7.2	21 2.9	25 3.4	21 2.9	6 0.8	2 0.3	56 7.6	736 100.0
	2年次	35 10.0	37 10.5	27 7.7	43 12.3	29 8.3	39 11.1	27 7.7	27 7.7	18 5.1	19 5.4	17 4.8	3 0.9	2 0.6	28 8.0	351 100.0
	3年次	16 7.7	26 12.6	12 5.8	30 14.5	16 7.7	23 11.1	16 7.7	8 3.9	14 6.8	18 8.7	11 5.3	5 2.4	0 0.0	12 5.8	207 100.0
	4年次以上	10 6.0	15 9.0	6 3.6	25 15.1	15 9.0	25 15.1	9 5.4	14 8.4	3 1.8	16 9.6	8 4.8	1 0.6	2 1.2	17 10.2	166 100.0
合計	全体	907 62.1	650 44.5	592 40.5	387 26.5	366 25.1	338 23.2	328 22.5	188 12.9	166 11.4	143 9.8	101 6.9	38 2.6	18 1.2	158 -	1,460 100.0
	1年次	472 64.1	350 47.6	374 50.8	163 22.1	177 24.0	164 22.3	143 19.4	93 12.6	74 10.1	56 7.6	41 5.6	18 2.4	7 1.0	76 -	736 100.0
	2年次	221 63.0	158 45.0	127 36.2	103 29.3	79 22.5	70 19.9	89 25.4	50 14.2	41 11.7	31 8.8	26 7.4	10 2.8	5 1.4	43 -	351 100.0
	3年次	131 63.3	87 42.0	61 29.5	66 31.9	52 25.1	53 25.6	53 25.6	17 8.2	34 16.4	28 13.5	17 8.2	7 3.4	0 0.0	15 -	207 100.0
	4年次以上	83 50.0	55 33.1	30 18.1	55 33.1	58 34.9	51 30.7	43 25.9	28 16.9	17 10.2	28 16.9	17 10.2	3 1.8	6 3.6	24 -	166 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】



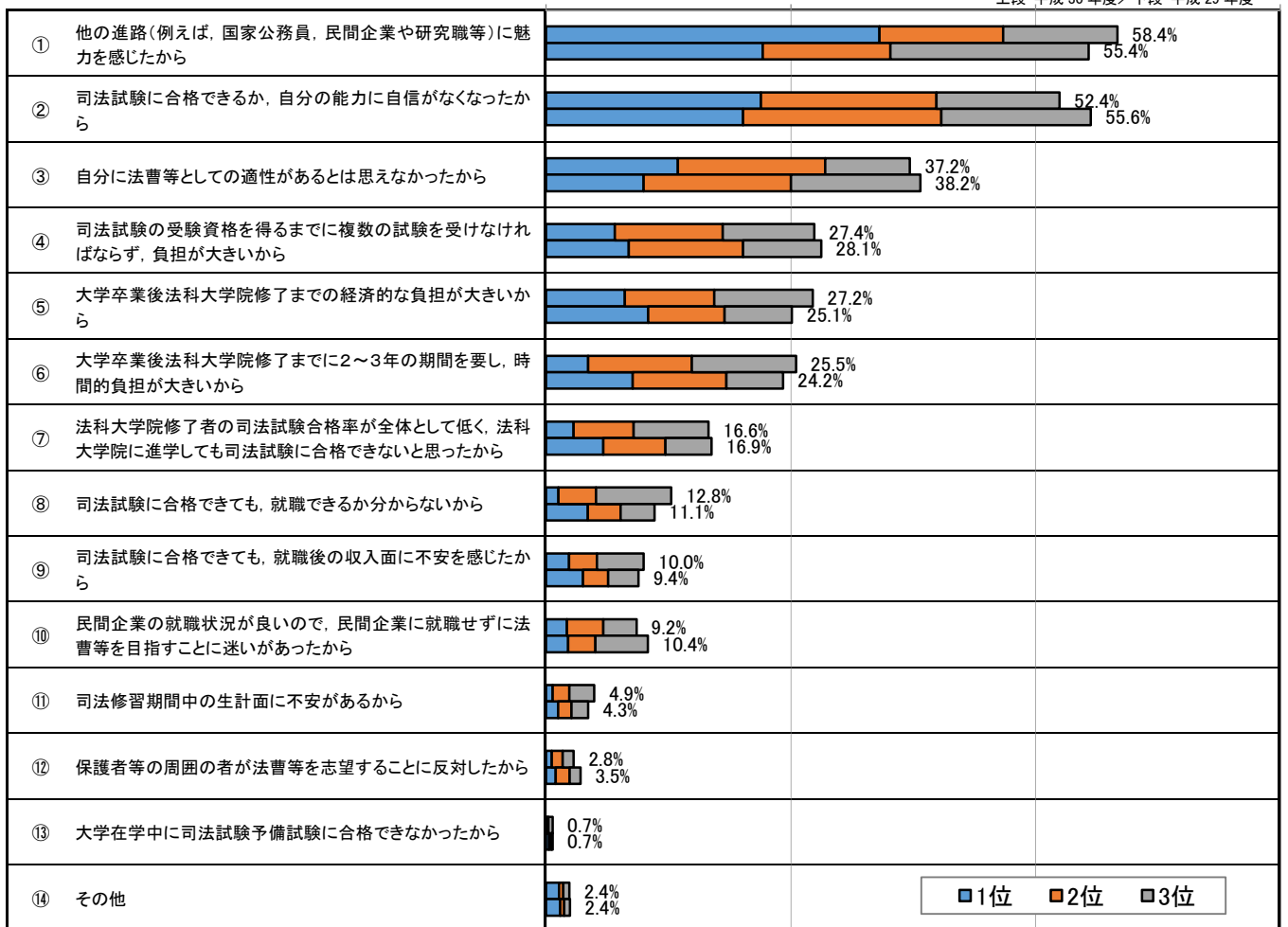
(3)過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生の不安や迷い(上位3つまで選択)

過去に志望・選択肢の1つとして考えていた学生では「他の進路に魅力を感じたから」が58.4%、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから」が52.4%と半数あまりで高くなっている。

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-	回答者数
		他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいため	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいため	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きいため	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあったから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから	その他	選択なし	
1位	平成30年度	700	451	277	144	165	88	58	26	48	44	14	12	2	27	0	2,056
		34.0	21.9	13.5	7.0	8.0	4.3	2.8	1.3	2.3	2.1	0.7	0.6	0.1	1.3	-	100.0
2位	平成29年度	624	567	281	238	294	249	165	120	106	63	35	28	8	41	0	2,819
		22.1	20.1	10.0	8.4	10.4	8.8	5.9	4.3	3.8	2.2	1.2	1.0	0.3	1.5	-	100.0
3位	平成30年度	260	369	309	227	188	218	126	79	59	76	35	23	3	9	75	2,056
		12.6	17.9	15.0	11.0	9.1	10.6	6.1	3.8	2.9	3.7	1.7	1.1	0.1	0.4	3.6	100.0
合計	平成29年度	367	571	424	329	220	270	179	94	73	79	38	40	7	11	117	2,819
		13.0	20.3	15.0	11.7	7.8	9.6	6.3	3.3	2.6	2.8	1.3	1.4	0.2	0.4	4.2	100.0
合計	平成30年度	240	258	178	192	207	219	157	158	98	70	52	23	9	13	182	2,056
		11.7	12.5	8.7	9.3	10.1	10.7	7.6	7.7	4.8	3.4	2.5	1.1	0.4	0.6	8.9	100.0
合計	平成29年度	571	430	373	225	194	163	132	98	87	151	48	31	4	17	295	2,819
		20.3	15.3	13.2	8.0	6.9	5.8	4.7	3.5	3.1	5.4	1.7	1.1	0.1	0.6	10.5	100.0
合計	平成30年度	1,200	1,078	764	563	560	525	341	263	205	190	101	58	14	49	257	2,056
		58.4	52.4	37.2	27.4	27.2	25.5	16.6	12.8	10.0	9.2	4.9	2.8	0.7	2.4	-	100.0
合計	平成29年度	1,562	1,568	1,078	792	708	682	476	312	266	293	121	99	19	69	412	2,819
		55.4	55.6	38.2	28.1	25.1	24.2	16.9	11.1	9.4	10.4	4.3	3.5	0.7	2.4	-	100.0

上段・平成30年度/下段・平成29年度



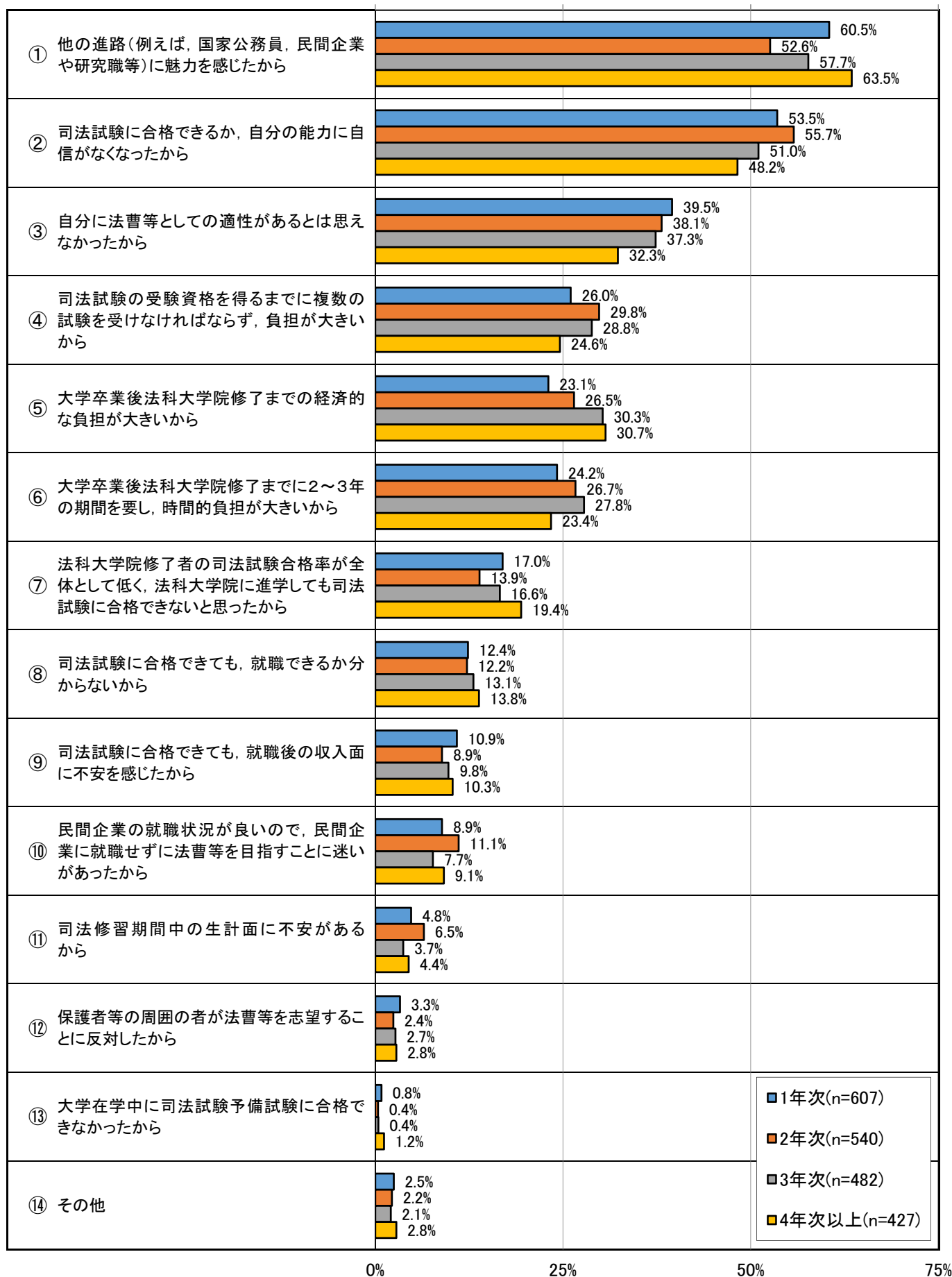
0% 25% 50% 75%

(参考)学年別内訳【表】

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-	
		他の進路 (例えば、国家 公務員、民間企業 や研究職等)に魅 力を感じたから	司法試験 に合格でき、 自分の能力に自信 がなくなったから	自分に法 曹等としての適性 があるとは思えな かったから	司法試験 の受験資格を得る までの試験を受け なければならず、負 担が大きいから	大学卒業 後法科大学院修了 までの経済的な負 担が大きいから	大学卒業 後法科大学院修了 までに2~3年の 期間を要し、時間 的負担が大きい から	法科大学 院修了者の司法試 験合格率が全体と して低く、法科大 学院に進学しても 司法試験に合格で きないと思っ たから	司法試験 に合格できても、 就職できないか ら	司法試験 に合格できても、 就職後の収入面 に不安を感じた から	民間企業 の就職状況が良 いので、民間企 業に就職せず に法曹等を志す ことに迷いがあ ったから	司法修習 期間中の生計面 に不安がある から	保護者等 の周囲者が法曹 等を志望すること に反対したから	大学在学 中に司法試験予 備試験に合格でき なかったから	その他	選択なし	回答者数
1位	全体	700 34.0	451 21.9	277 13.5	144 7.0	165 8.0	88 4.3	58 2.8	26 1.3	48 2.3	44 2.1	14 0.7	12 0.6	2 0.1	27 1.3	0 -	2,056 100.0
	1年次	212 34.9	143 23.6	71 11.7	37 6.1	40 6.6	33 5.4	17 2.8	9 1.5	17 2.8	10 1.6	6 1.0	4 0.7	1 0.2	7 1.2	0 -	607 100.0
	2年次	165 30.6	140 25.9	75 13.9	38 7.0	40 7.4	24 4.4	12 2.2	6 1.1	10 1.9	18 3.3	3 0.6	2 0.4	0 0.0	7 1.3	0 -	540 100.0
	3年次	167 34.6	100 20.7	75 15.6	37 7.7	40 8.3	15 3.1	12 2.5	8 1.7	10 2.1	6 1.2	3 0.6	3 0.6	0 0.0	6 1.2	0 -	482 100.0
	4年次以上	156 36.5	68 15.9	56 13.1	32 7.5	45 10.5	16 3.7	17 4.0	3 0.7	11 2.6	10 2.3	2 0.5	3 0.7	1 0.2	7 1.6	0 -	427 100.0
	2位	全体	260 12.6	369 17.9	309 15.0	227 11.0	188 9.1	218 10.6	126 6.1	79 3.8	59 2.9	76 3.7	35 1.7	23 1.1	3 0.1	9 0.4	75 3.6
1年次		78 12.9	105 17.3	104 17.1	70 11.5	41 6.8	51 8.4	42 6.9	23 3.8	21 3.5	21 3.5	12 2.0	9 1.5	1 0.2	5 0.8	24 4.0	607 100.0
2年次		62 11.5	94 17.4	87 16.1	67 12.4	49 9.1	60 11.1	30 5.6	14 2.6	12 2.2	24 4.4	13 2.4	4 0.7	1 0.2	2 0.4	21 3.9	540 100.0
3年次		63 13.1	85 17.6	64 13.3	47 9.8	51 10.6	65 13.5	29 6.0	17 4.1	20 3.5	18 3.7	3 0.6	4 0.8	0 0.0	2 0.4	14 2.9	482 100.0
4年次以上		57 13.3	85 19.9	54 12.6	43 10.1	47 11.0	42 9.8	25 5.9	22 5.2	9 2.1	13 3.0	7 1.6	6 1.4	1 0.2	0 0.0	16 3.7	427 100.0
3位		全体	240 11.7	258 12.5	178 8.7	192 9.3	207 10.1	219 10.7	157 7.6	158 7.7	98 4.8	70 3.4	52 2.5	23 1.1	9 0.4	13 0.6	182 8.9
	1年次	77 12.7	77 12.7	65 10.7	51 8.4	59 9.7	63 10.4	44 7.2	43 7.1	28 4.6	23 3.8	11 1.8	7 1.2	3 0.5	3 0.5	53 8.7	607 100.0
	2年次	57 10.6	67 12.4	44 8.1	56 10.4	54 10.0	60 11.1	33 6.1	46 8.5	26 4.8	18 3.3	19 3.5	7 1.3	1 0.2	3 0.6	49 9.1	540 100.0
	3年次	48 10.0	61 12.7	41 8.5	55 11.4	55 11.4	54 11.2	39 8.1	35 7.3	20 4.1	13 2.7	12 2.5	6 1.2	2 0.4	2 0.4	39 8.1	482 100.0
	4年次以上	58 13.6	53 12.4	28 6.6	30 7.0	39 9.1	42 9.8	41 9.6	34 8.0	24 5.6	16 3.7	10 2.3	3 0.7	3 0.7	5 1.2	41 9.6	427 100.0
	合計	全体	1,200 58.4	1,078 52.4	764 37.2	563 27.4	560 27.2	525 25.5	341 16.6	263 12.8	205 10.0	190 9.2	101 4.9	58 2.8	14 0.7	49 2.4	257 -
1年次		367 60.5	325 53.5	240 39.5	158 26.0	140 23.1	147 24.2	103 17.0	75 12.4	66 10.9	54 8.9	29 4.8	20 3.3	5 0.8	15 2.5	77 -	607 100.0
2年次		284 52.6	301 55.7	206 38.1	161 29.8	143 26.5	144 26.7	75 13.9	66 12.2	48 8.9	60 11.1	35 6.5	13 2.4	2 0.4	12 2.2	70 -	540 100.0
3年次		278 57.7	246 51.0	180 37.3	139 28.8	146 30.3	134 27.8	80 16.6	63 13.1	47 9.8	37 7.7	18 3.7	13 2.7	2 0.4	10 2.1	53 -	482 100.0
4年次以上		271 63.5	206 48.2	138 32.3	105 24.6	131 30.7	100 23.4	83 19.4	59 13.8	44 10.3	39 9.1	19 4.4	12 2.8	5 1.2	12 2.8	57 -	427 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】

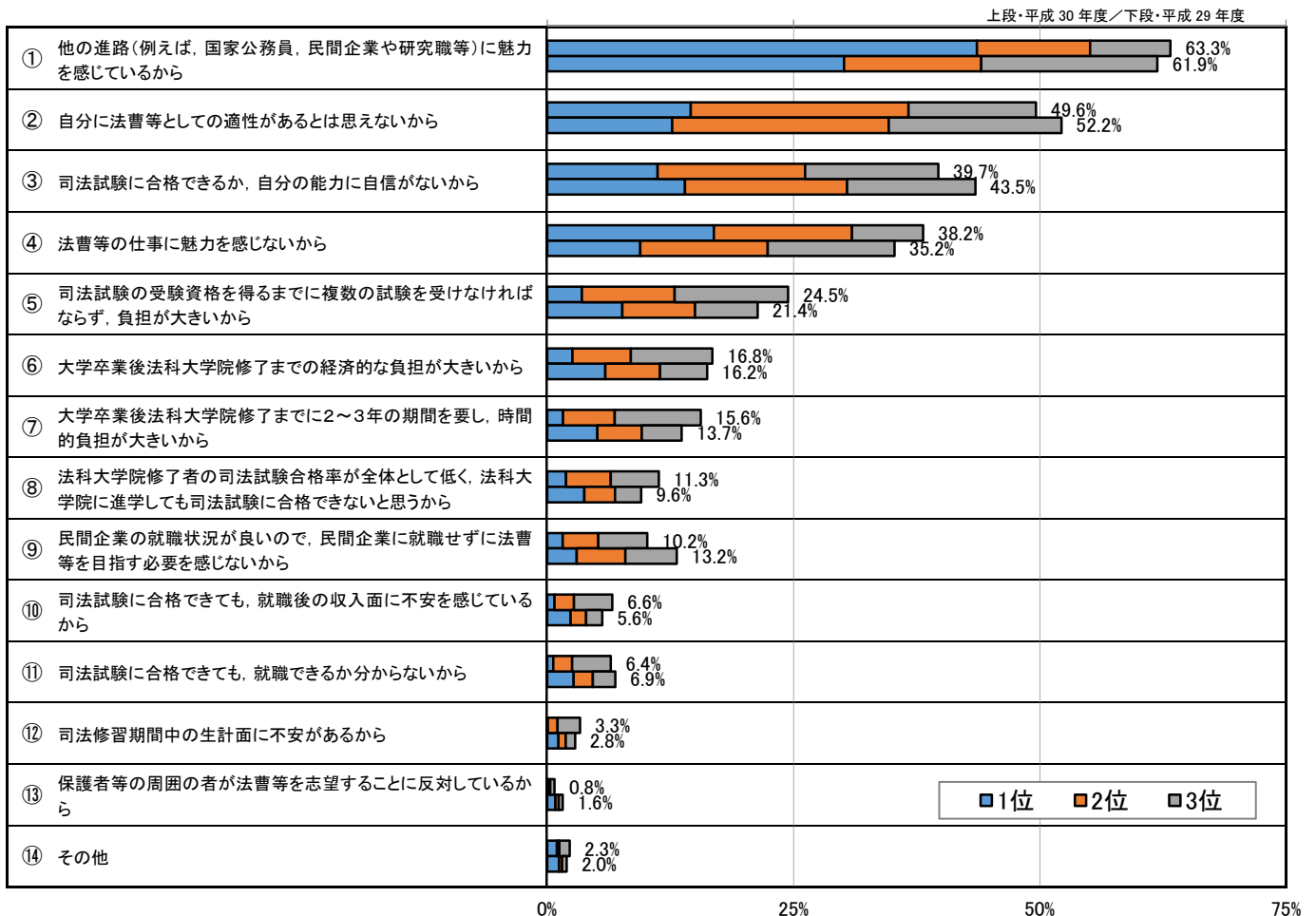


(4)法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生の法曹等を志望しない理由(上位3つまで選択)

法曹等を選択肢の1つとして考えたこともない学生が法曹等を志望しない理由は、「他の進路に魅力を感じているから」が63.3%で最も高くなっている。次いで「自分に法曹等としての適性があるとは思えないから」が49.6%で高い。

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-	回答者数
		他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから	自分に法曹等としての適性があるとは思えないから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までに2~3年の期間を要し、時間的負担が大きいから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから	その他	選択なし	
1位	平成30年度	1,279	427	329	496	103	75	47	56	46	22	18	2	3	29	0	2,932
		43.6	14.6	11.2	16.9	3.5	2.6	1.6	1.9	1.6	0.8	0.6	0.1	0.1	1.0	-	100.0
2位	平成29年度	1,395	588	648	438	353	273	236	174	139	110	125	53	39	56	0	4,627
		30.1	12.7	14.0	9.5	7.6	5.9	5.1	3.8	3.0	2.4	2.7	1.1	0.8	1.2	-	100.0
3位	平成30年度	337	648	439	411	276	174	154	133	106	58	56	29	6	7	98	2,932
		11.5	22.1	15.0	14.0	9.4	5.9	5.3	4.5	3.6	2.0	1.9	1.0	0.2	0.2	3.3	100.0
合計	平成29年度	643	1,017	760	598	342	257	208	145	229	73	89	35	16	14	201	4,627
		13.9	22.0	16.4	12.9	7.4	5.6	4.5	3.1	4.9	1.6	1.9	0.8	0.3	0.3	4.3	100.0
合計	平成30年度	239	380	396	212	338	243	256	143	146	114	115	67	13	31	239	2,932
		8.2	13.0	13.5	7.2	11.5	8.3	8.7	4.9	5.0	3.9	3.9	2.3	0.4	1.1	8.2	100.0
合計	平成29年度	828	810	603	595	293	221	188	123	241	76	106	43	18	22	460	4,627
		17.9	17.5	13.0	12.9	6.3	4.8	4.1	2.7	5.2	1.6	2.3	0.9	0.4	0.5	9.9	100.0

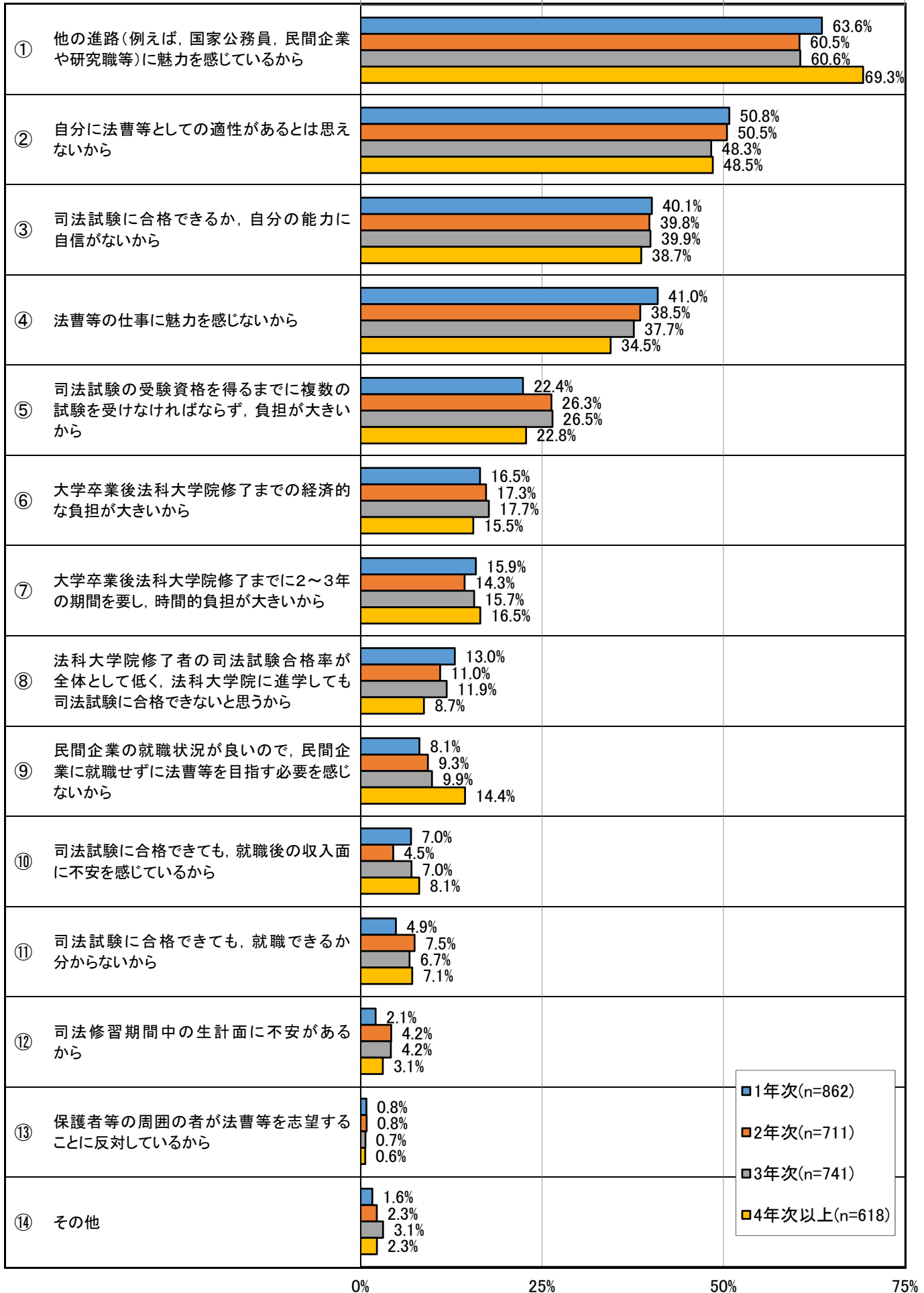


(参考)学年別内訳【表】

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	-	回答者数
		他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから	自分に法曹等としての適性があるとは思えないから	司法試験に合格できるか、自分に自信がないから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年間の期間を要し、時間的負担が大きいから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹を目指す必要を感じないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから	司法試験に合格できても、就職できないから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから	その他	選択なし	
1位	全体	1,279 43.6	427 14.6	329 11.2	496 16.9	103 3.5	75 2.6	47 1.6	56 1.9	46 1.6	22 0.8	18 0.6	2 0.1	3 0.1	29 1.0	0 -	2,932 100.0
	1年次	384 44.5	119 13.8	93 10.8	156 18.1	28 3.2	15 1.7	18 2.1	18 2.1	16 1.9	4 0.5	3 0.3	0 0.0	1 0.1	7 0.8	0 -	862 100.0
	2年次	284 39.9	111 15.6	86 12.1	126 17.7	26 3.7	21 3.0	12 1.7	18 2.5	8 1.1	5 0.7	4 0.6	1 0.1	2 0.3	7 1.0	0 -	711 100.0
	3年次	316 42.6	112 15.1	89 12.0	119 16.1	34 4.6	26 3.5	8 1.1	14 1.9	7 0.9	6 0.8	3 0.4	0 0.0	0 0.0	7 0.9	0 -	741 100.0
	4年次以上	295 47.7	85 13.8	61 9.9	95 15.4	15 2.4	13 2.1	9 1.5	6 1.0	15 2.4	7 1.1	8 1.3	1 0.2	0 0.0	8 1.3	0 -	618 100.0
2位	全体	337 11.5	648 22.1	439 15.0	411 14.0	276 9.4	174 5.9	154 5.3	133 4.5	106 3.6	58 2.0	56 1.9	29 1.0	6 0.2	7 0.2	98 3.3	2,932 100.0
	1年次	91 10.6	204 23.7	133 15.4	124 14.4	72 8.4	50 5.8	45 5.2	47 5.5	21 2.4	20 2.3	10 1.2	6 0.7	3 0.3	2 0.2	34 3.9	862 100.0
	2年次	89 12.5	154 21.7	119 16.7	101 14.2	63 8.9	44 6.2	27 3.8	28 3.9	24 3.4	6 0.8	14 2.0	11 1.5	0 0.0	3 0.4	28 3.9	711 100.0
	3年次	79 10.7	155 20.9	97 13.1	110 14.8	89 12.0	46 6.2	39 5.3	36 4.9	30 4.0	14 1.9	16 2.2	6 0.8	1 0.1	1 0.1	22 3.0	741 100.0
	4年次以上	78 12.6	135 21.8	90 14.6	76 12.3	52 8.4	34 5.5	43 7.0	22 3.6	31 5.0	18 2.9	16 2.6	6 1.0	2 0.3	1 0.2	14 2.3	618 100.0
3位	全体	239 8.2	380 13.0	396 13.5	212 7.2	338 11.5	243 8.3	256 8.7	143 4.9	146 5.0	114 3.9	115 3.9	67 2.3	13 0.4	31 1.1	239 8.2	2,932 100.0
	1年次	73 8.5	115 13.3	120 13.9	73 8.5	93 10.8	77 8.9	74 8.6	47 5.5	33 3.8	36 4.2	29 3.4	12 1.4	3 0.3	5 0.6	72 8.4	862 100.0
	2年次	57 8.0	94 13.2	78 11.0	47 6.6	98 13.8	58 8.2	63 8.9	32 4.5	34 4.8	21 3.0	35 4.9	18 2.5	4 0.6	6 0.8	66 9.3	711 100.0
	3年次	54 7.3	91 12.3	110 14.8	50 6.7	73 9.9	59 8.0	69 9.3	38 5.1	36 4.9	32 4.3	31 4.2	25 3.4	4 0.5	15 2.0	54 7.3	741 100.0
	4年次以上	55 8.9	80 12.9	88 14.2	42 6.8	74 12.0	49 7.9	50 8.1	26 4.2	43 7.0	25 4.0	20 3.2	12 1.9	2 0.3	5 0.8	47 7.6	618 100.0
合計	全体	1,855 63.3	1,455 49.6	1,164 39.7	1,119 38.2	717 24.5	492 16.8	457 15.6	332 11.3	298 10.2	194 6.6	189 6.4	98 3.3	22 0.8	67 2.3	337 -	2,932 100.0
	1年次	548 63.6	438 50.8	346 40.1	353 41.0	193 22.4	142 16.5	137 15.9	112 13.0	70 8.1	60 7.0	42 4.9	18 2.1	7 0.8	14 1.6	106 -	862 100.0
	2年次	430 60.5	359 50.5	283 39.8	274 38.5	187 26.3	123 17.3	102 14.3	78 11.0	66 9.3	32 4.5	53 7.5	30 4.2	6 0.8	16 2.3	94 -	711 100.0
	3年次	449 60.6	358 48.3	296 39.9	279 37.7	196 26.5	131 17.7	116 15.7	88 11.9	73 9.9	52 7.0	50 6.7	31 4.2	5 0.7	23 3.1	76 -	741 100.0
	4年次以上	428 69.3	300 48.5	239 38.7	213 34.5	141 22.8	96 15.5	102 16.5	54 8.7	89 14.4	50 8.1	44 7.1	19 3.1	4 0.6	14 2.3	61 -	618 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】



(5)法曹等の仕事に魅力を感じない理由について

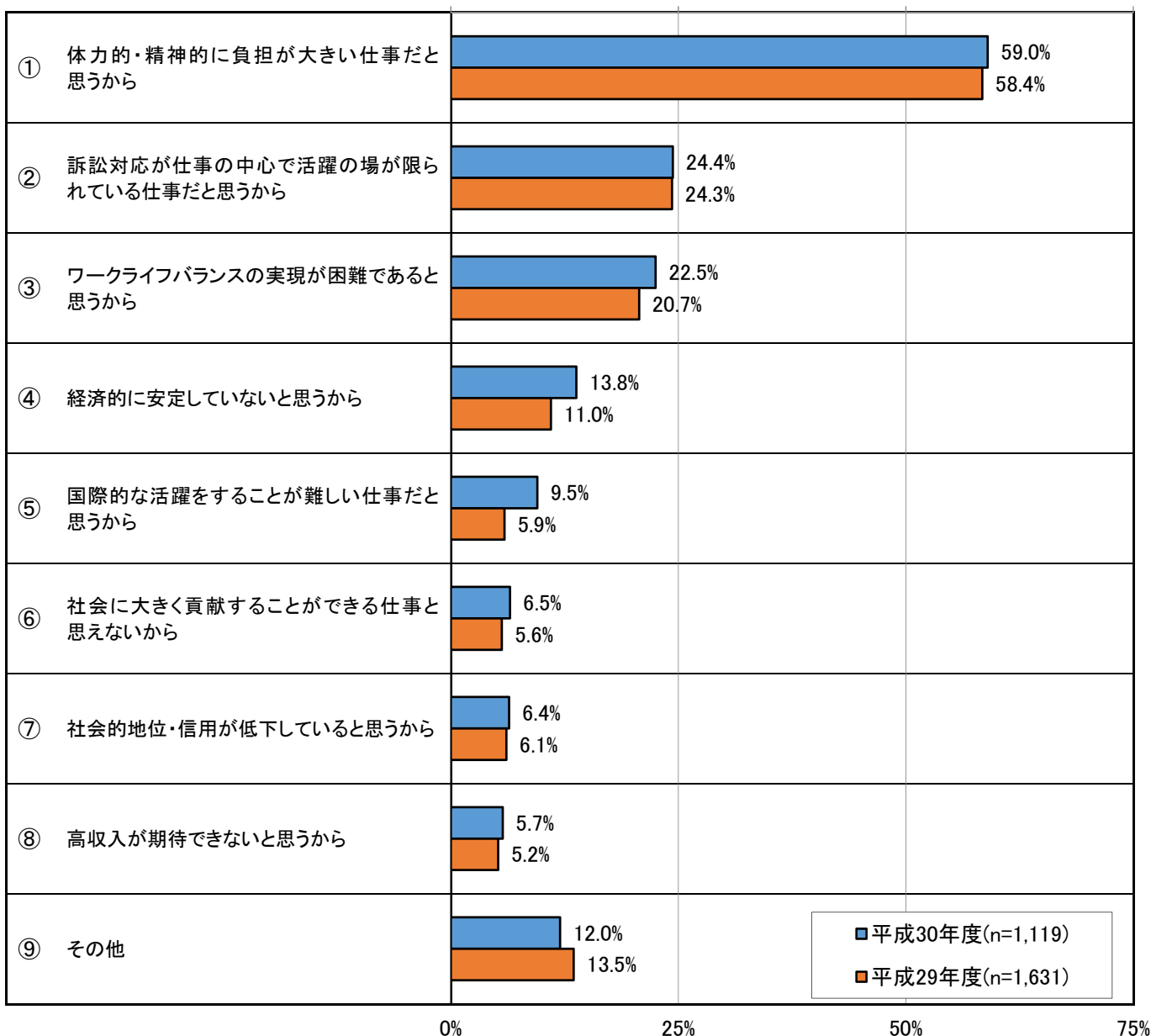
(「法曹等を選択肢の1つとして考えていたこともない」かつ法曹等を志望しない理由として「法曹等の仕事に魅力を感じないから」と回答した学生/複数選択可)

法曹等の仕事に魅力を感じない理由については、「体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから」が59.0%で最も高く、6割近くになっている。2番目は「訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから」の24.4%であるが、その差は30ポイント以上と大きく、体力的・精神的な負担が魅力を感じない理由として大きくなっている。

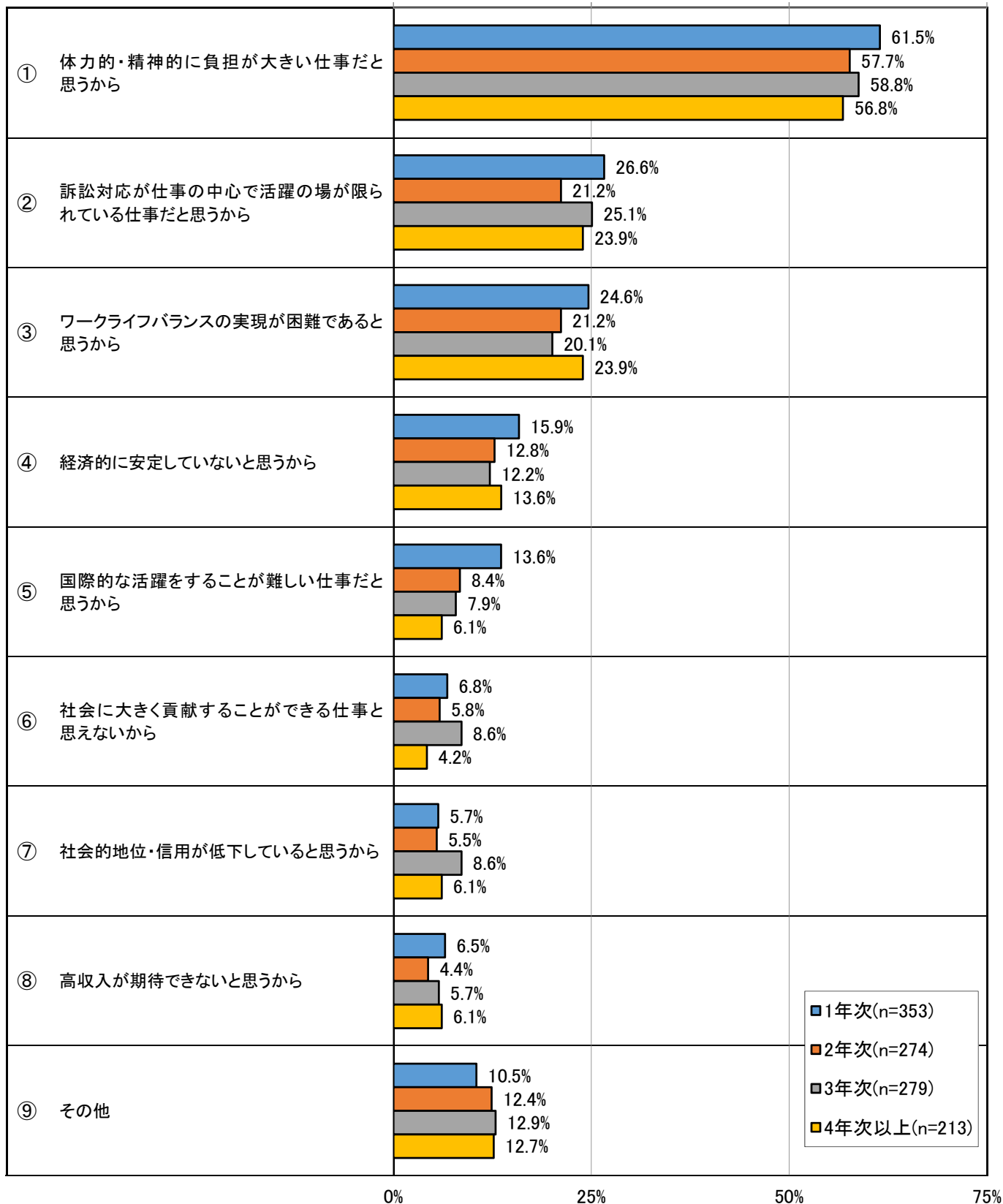
また、「その他」を選んだ134人の内、46人が興味関心がない旨を自由回答欄に回答している。

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
	体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	ワークライフバランスの実現が困難であると思うから	経済的に安定していないと思うから	国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから	社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから	社会的地位・信用が低下していると思うから	高収入が期待できないと思うから	その他	回答者数
平成30年度	660 59.0	273 24.4	252 22.5	154 13.8	106 9.5	73 6.5	72 6.4	64 5.7	134 12.0	1,119 100.0
平成29年度	952 58.4	397 24.3	338 20.7	180 11.0	97 5.9	91 5.6	99 6.1	85 5.2	221 13.5	1,631 100.0



(参考) 学年別内訳【横棒グラフ】



9.法科大学院への進学, 大学在学中の予備試験の受験
 (現在志望・選択肢の1つとして考えている学生のみ回答)

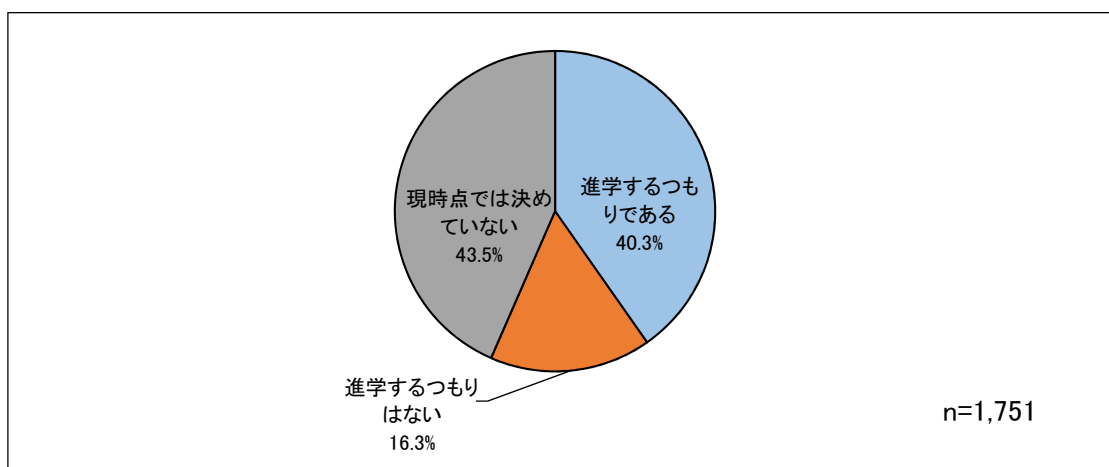
(1)法科大学院への進学予定

法科大学院への進学予定については、「進学するつもりである」が40.3%、「現時点では決めていない」が43.5%でいずれも4割程度となっている。「進学するつもりはない」は16.3%と2割以下となっている。

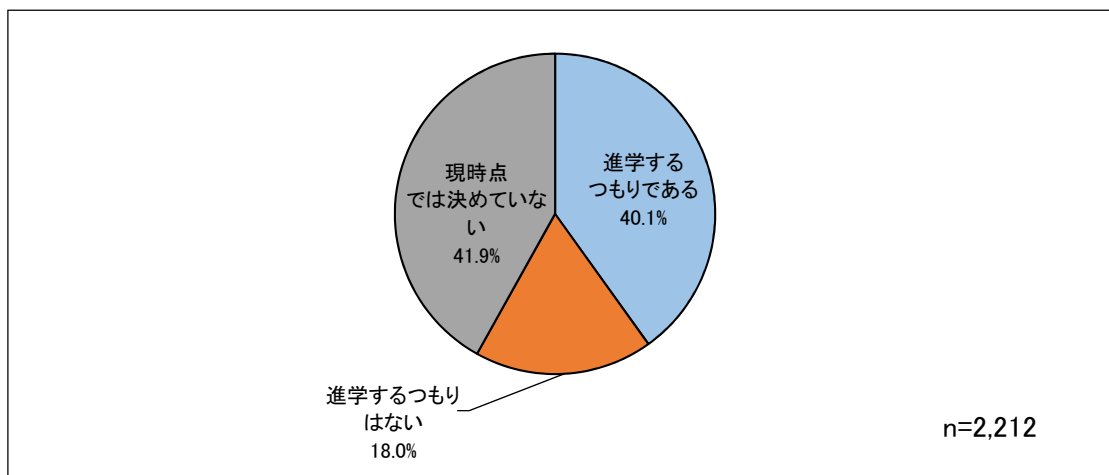
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	進学する つもりである	進学する つもりはない	現時点では 決めていない	回答者数
平成30年度	705 40.3	285 16.3	761 43.5	1,751 100.0
平成29年度	887 40.1	398 18.0	927 41.9	2,212 100.0

【平成30年度】



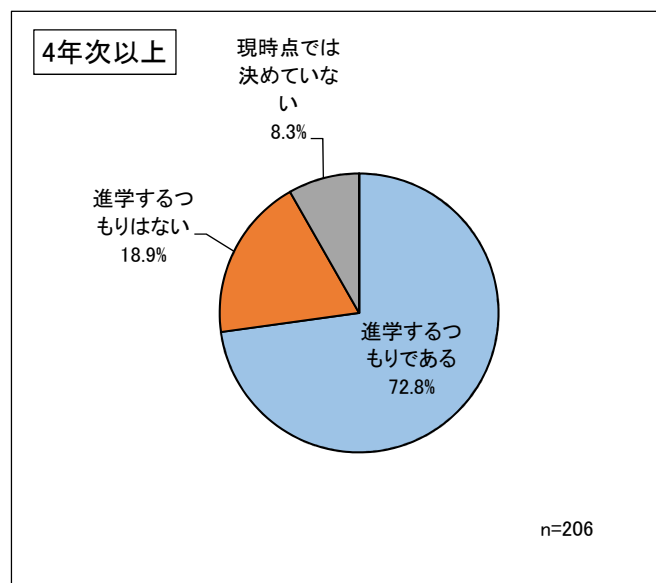
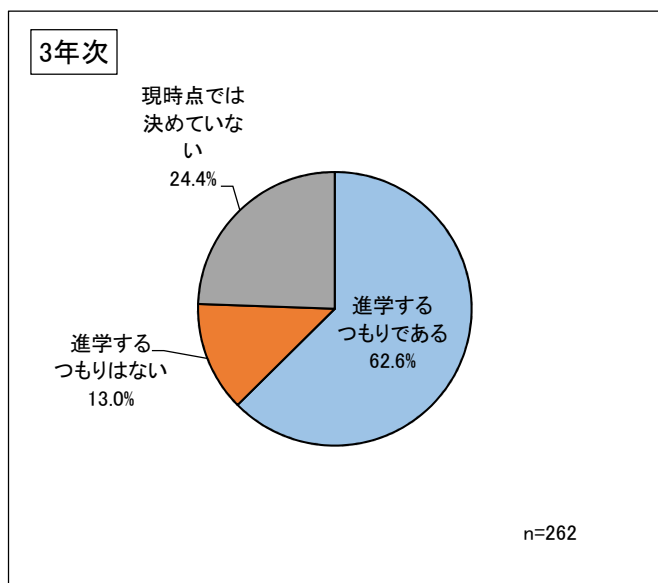
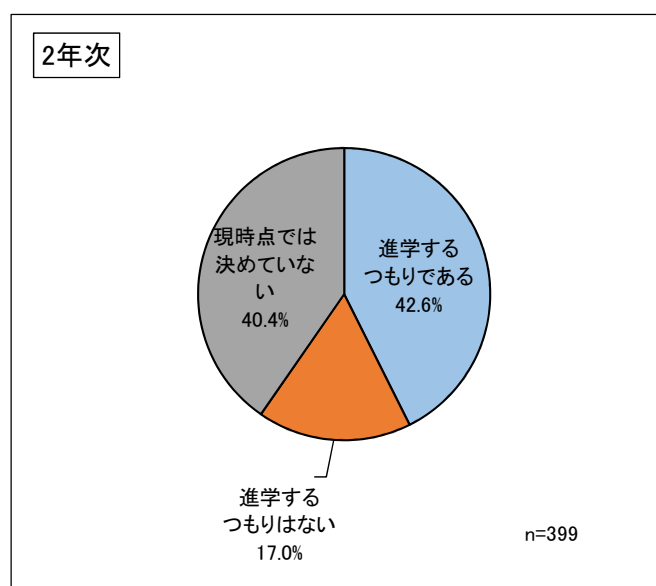
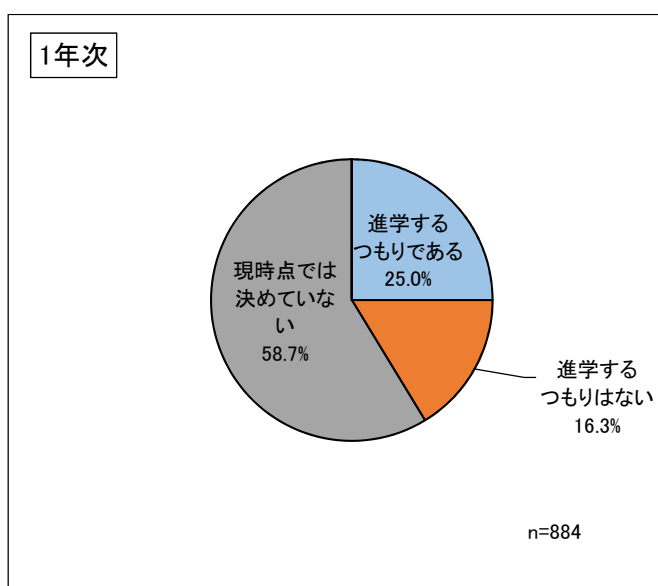
【平成29年度】



(参考)学年別内訳【表・円グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	進学する つもりである	進学する つもりはない	現時点では 決めていない	回答者数
1年次	221 25.0	144 16.3	519 58.7	884 100.0
2年次	170 42.6	68 17.0	161 40.4	399 100.0
3年次	164 62.6	34 13.0	64 24.4	262 100.0
4年次以上	150 72.8	39 18.9	17 8.3	206 100.0
全体	705 40.3	285 16.3	761 43.5	1,751 100.0



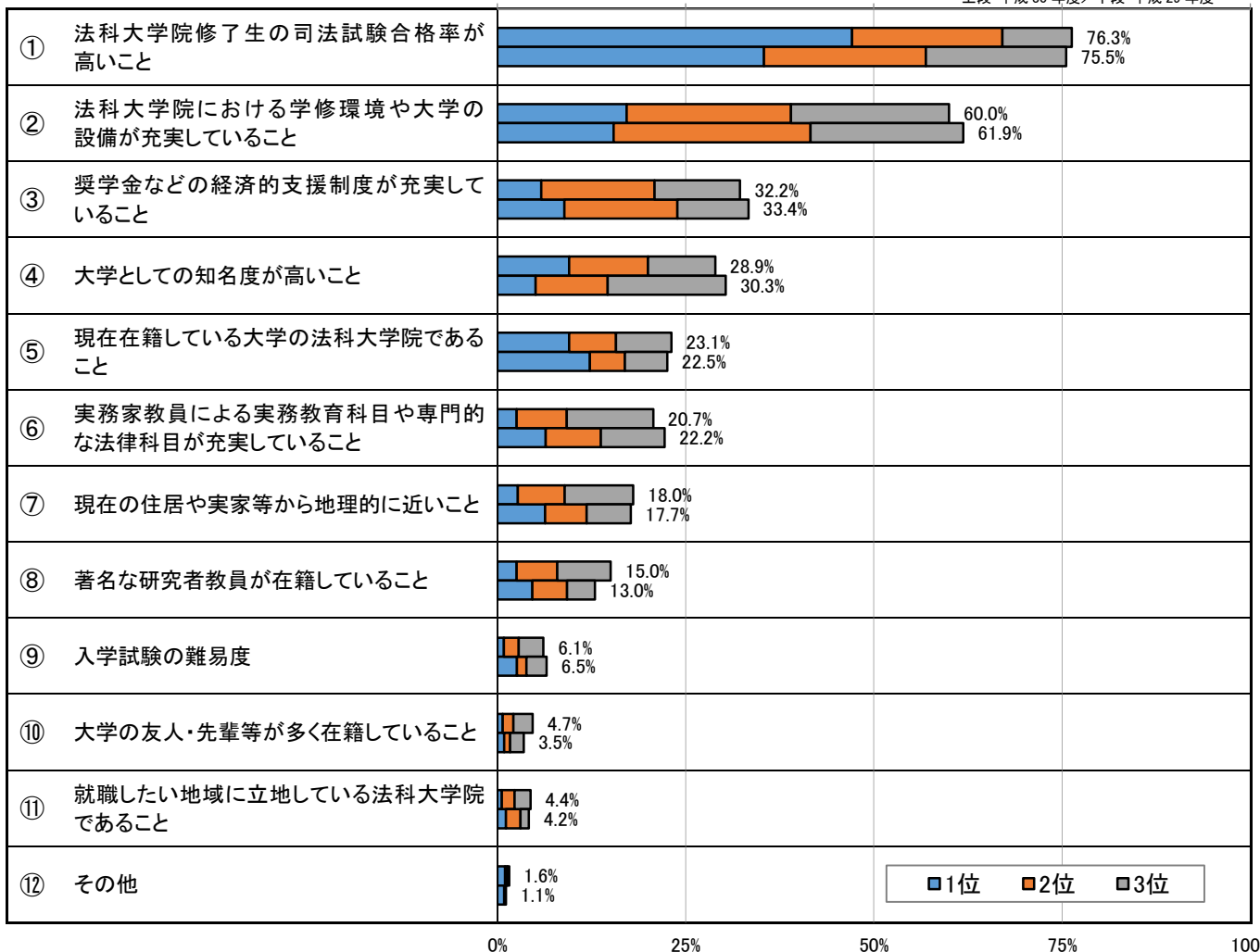
(2)法科大学院の選択において重視する点(上位3つまで選択/法科大学院に進学予定がある学生)

法科大学院の選択で重視する点は、上位3位までの合計で「法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと」が76.3%で最も高く、次いで「法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること」が60.0%で高くなっている。その余の項目は3割台以下となっている。

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	-	回答者数
		法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと	法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること	奨学金などの経済的支援制度が充実していること	大学としての知名度が高いこと	現在在籍している大学の法科大学院であること	実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること	現在の住居や実家等から地理的に近いこと	著名な研究者教員が在籍していること	入学試験の難易度	大学の友人・先輩等が多く在籍していること	就職したい地域に立地している法科大学院であること	その他	選択なし	
1位	平成30年度	332	121	41	67	67	18	19	18	6	5	4	7	0	705
	平成29年度	47.1	17.2	5.8	9.5	9.5	2.6	2.7	2.6	0.9	0.7	0.6	1.0	-	100.0
2位	平成30年度	314	137	79	45	109	57	56	41	23	8	10	8	0	887
	平成29年度	35.4	15.4	8.9	5.1	12.3	6.4	6.3	4.6	2.6	0.9	1.1	0.9	-	100.0
3位	平成30年度	141	154	106	74	44	47	44	38	14	10	12	2	19	705
	平成29年度	20.0	21.8	15.0	10.5	6.2	6.7	6.2	5.4	2.0	1.4	1.7	0.3	2.7	100.0
合計	平成30年度	191	232	133	85	41	65	49	41	11	7	17	0	15	887
	平成29年度	21.5	26.2	15.0	9.6	4.6	7.3	5.5	4.6	1.2	0.8	1.9	0.0	1.7	100.0
合計	平成30年度	65	148	80	63	52	81	64	50	23	18	15	2	44	705
	平成29年度	9.2	21.0	11.3	8.9	7.4	11.5	9.1	7.1	3.3	2.6	2.1	0.3	6.2	100.0
合計	平成30年度	165	180	84	139	50	75	52	33	24	16	10	2	57	887
	平成29年度	18.6	20.3	9.5	15.7	5.6	8.5	5.9	3.7	2.7	1.8	1.1	0.2	6.4	100.0
合計	平成30年度	538	423	227	204	163	146	127	106	43	33	31	11	63	705
	平成29年度	76.3	60.0	32.2	28.9	23.1	20.7	18.0	15.0	6.1	4.7	4.4	1.6	-	100.0
合計	平成30年度	670	549	296	269	200	197	157	115	58	31	37	10	72	887
	平成29年度	75.5	61.9	33.4	30.3	22.5	22.2	17.7	13.0	6.5	3.5	4.2	1.1	-	100.0

上段・平成30年度/下段・平成29年度

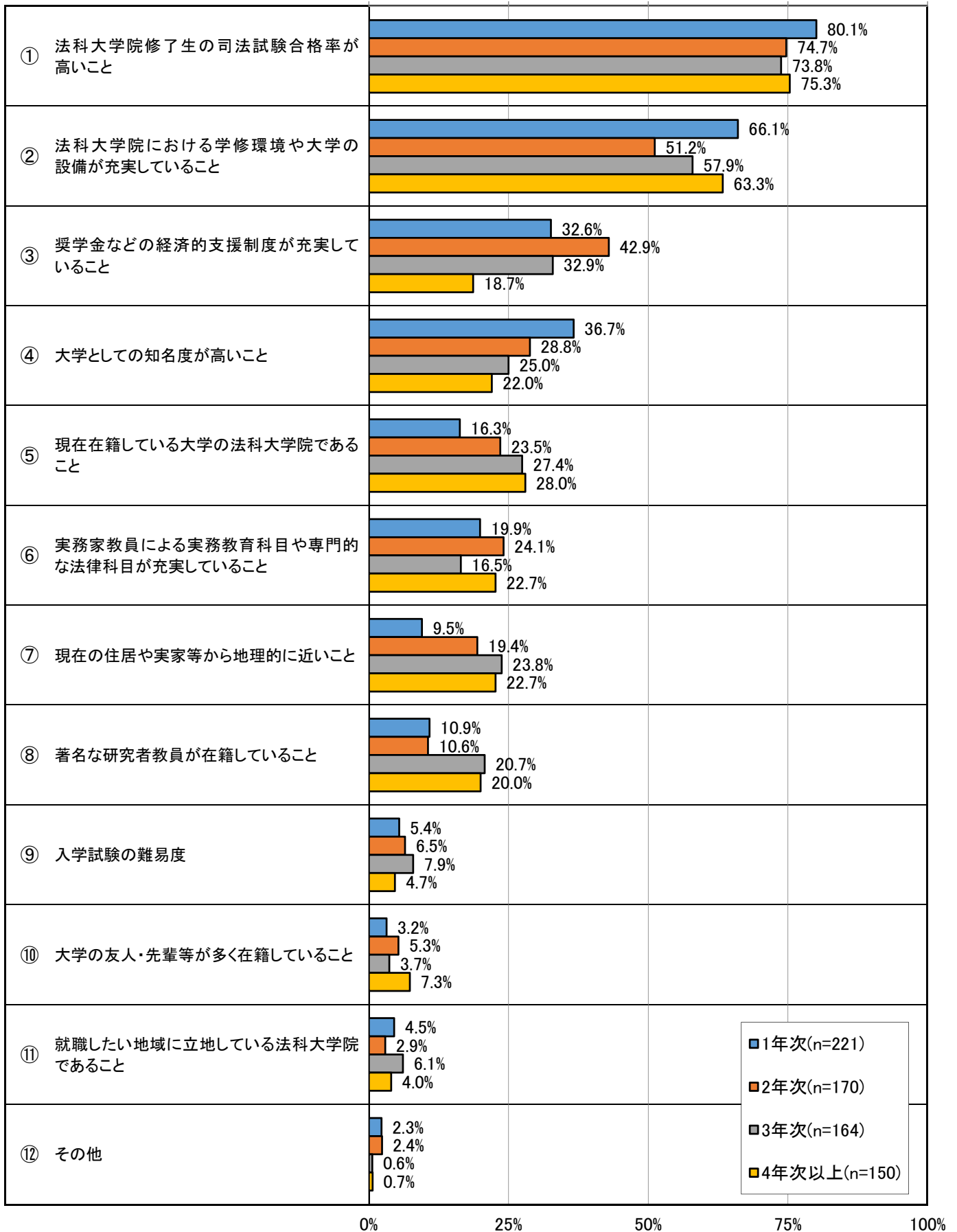


(参考)学年別内訳【表】

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	-	回答者数
		法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと	法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること	奨学金などの経済的支援制度が充実していること	大学としての知名度が高いこと	現在在籍している大学の法科大学院であること	実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること	現在の住居や実家等から地理的に近いこと	著名な研究者教員が在籍していること	入学試験の難易度	大学の友人・先輩等が多く在籍していること	就職したい地域に立地している法科大学院であること	その他	選択なし	
1位	全体	332 47.1	121 17.2	41 5.8	67 9.5	67 9.5	18 2.6	19 2.7	18 2.6	6 0.9	5 0.7	4 0.6	7 1.0	0 -	705 100.0
	1年次	107 48.4	43 19.5	10 4.5	31 14.0	10 4.5	7 3.2	3 1.4	4 1.8	1 0.5	0 0.0	2 0.9	3 1.4	0 -	221 100.0
	2年次	88 51.8	26 15.3	14 8.2	15 8.8	12 7.1	4 2.4	3 1.8	2 1.2	1 0.6	1 0.6	1 0.6	3 1.8	0 -	170 100.0
	3年次	71 43.3	22 13.4	12 7.3	10 6.1	23 14.0	4 2.4	10 6.1	9 5.5	1 0.6	1 0.6	0 0.0	1 0.6	0 -	164 100.0
	4年次以上	66 44.0	30 20.0	5 3.3	11 7.3	22 14.7	3 2.0	3 2.0	3 2.0	3 2.0	3 2.0	3 2.0	1 0.7	0 0.0	150 100.0
2位	全体	141 20.0	154 21.8	106 15.0	74 10.5	44 6.2	47 6.7	44 6.2	38 5.4	14 2.0	10 1.4	12 1.7	2 0.3	19 2.7	705 100.0
	1年次	46 20.8	54 24.4	33 14.9	29 13.1	13 5.9	11 5.0	6 2.7	11 5.0	3 1.4	1 0.5	4 1.8	2 0.9	8 3.6	221 100.0
	2年次	32 18.8	32 18.8	30 17.6	21 12.4	10 5.9	12 7.1	10 5.9	10 5.9	4 2.4	4 2.4	1 0.6	0 0.0	4 2.4	170 100.0
	3年次	37 22.6	34 20.7	26 15.9	11 6.7	9 5.5	9 5.5	14 8.5	11 6.7	5 3.0	2 1.2	6 3.7	0 0.0	0 0.0	164 100.0
	4年次以上	26 17.3	34 22.7	17 11.3	13 8.7	12 8.0	15 10.0	14 9.3	6 4.0	2 1.3	3 2.0	1 0.7	0 0.0	7 4.7	150 100.0
3位	全体	65 9.2	148 21.0	80 11.3	63 8.9	52 7.4	81 11.5	64 9.1	50 7.1	23 3.3	18 2.6	15 2.1	2 0.3	44 6.2	705 100.0
	1年次	24 10.9	49 22.2	29 13.1	21 9.5	13 5.9	26 11.8	12 5.4	9 4.1	8 3.6	6 2.7	4 1.8	0 0.0	20 9.0	221 100.0
	2年次	7 4.1	29 17.1	29 17.1	13 7.6	18 10.6	25 14.7	20 11.8	6 3.5	6 3.5	4 2.4	3 1.8	1 0.6	9 5.3	170 100.0
	3年次	13 7.9	39 23.8	16 9.8	20 12.2	13 7.9	14 8.5	15 9.1	14 8.5	7 4.3	3 1.8	4 2.4	0 0.0	6 3.7	164 100.0
	4年次以上	21 14.0	31 20.7	6 4.0	9 6.0	8 5.3	16 10.7	17 11.3	21 14.0	2 1.3	5 3.3	4 2.7	1 0.7	9 6.0	150 100.0
合計	全体	538 76.3	423 60.0	227 32.2	204 28.9	163 23.1	146 20.7	127 18.0	106 15.0	43 6.1	33 4.7	31 4.4	11 1.6	63 -	705 100.0
	1年次	177 80.1	146 66.1	72 32.6	81 36.7	36 16.3	44 19.9	21 9.5	24 10.9	12 5.4	7 3.2	10 4.5	5 2.3	28 -	221 100.0
	2年次	127 74.7	87 51.2	73 42.9	49 28.8	40 23.5	41 24.1	33 19.4	18 10.6	11 6.5	9 5.3	5 2.9	4 2.4	13 -	170 100.0
	3年次	121 73.8	95 57.9	54 32.9	41 25.0	45 27.4	27 16.5	39 23.8	34 20.7	13 7.9	6 3.7	10 6.1	1 0.6	6 -	164 100.0
	4年次以上	113 75.3	95 63.3	28 18.7	33 22.0	42 28.0	34 22.7	34 22.7	30 20.0	7 4.7	11 7.3	6 4.0	1 0.7	16 -	150 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】



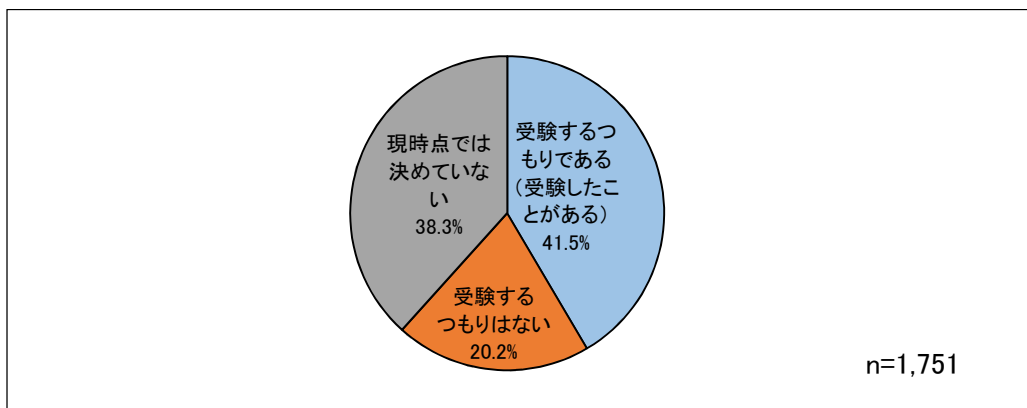
(3)大学在学中の予備試験の受験予定

大学在学中の予備試験の受験予定は、「受験するつもりである(受験したことがある)」が 41.5%、「現時点では決めていない」が 38.3%でいずれも 4 割前後となっている。「受験するつもりはない」は 20.2%となっている。

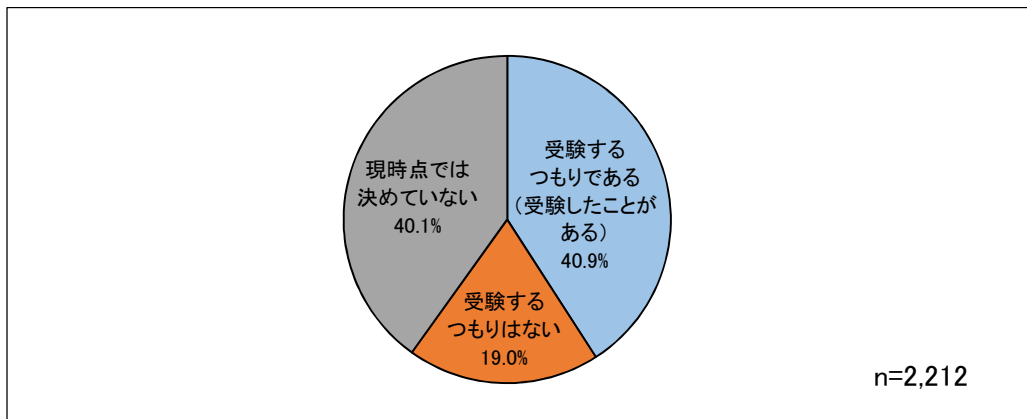
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	受験するつもりである (受験したことがある)	受験するつもりはない	現時点では 決めていない	回答者数
平成 30 年度	727 41.5	353 20.2	671 38.3	1,751 100.0
平成 29 年度	904 40.9	420 19.0	888 40.1	2,212 100.0

【平成 30 年度】



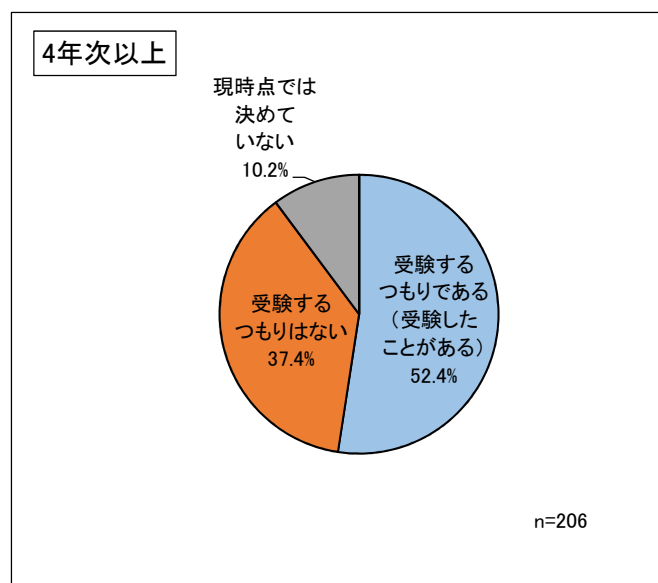
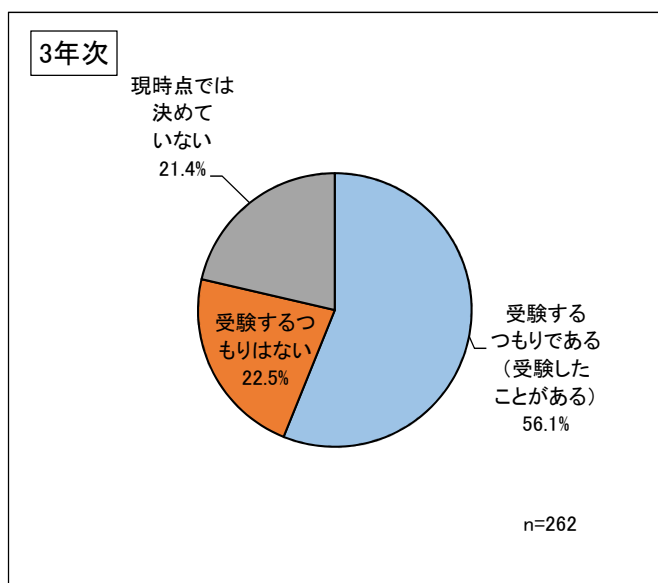
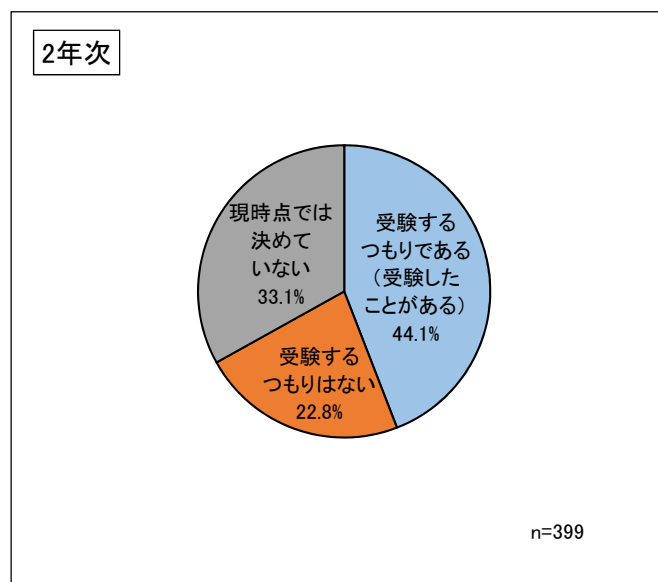
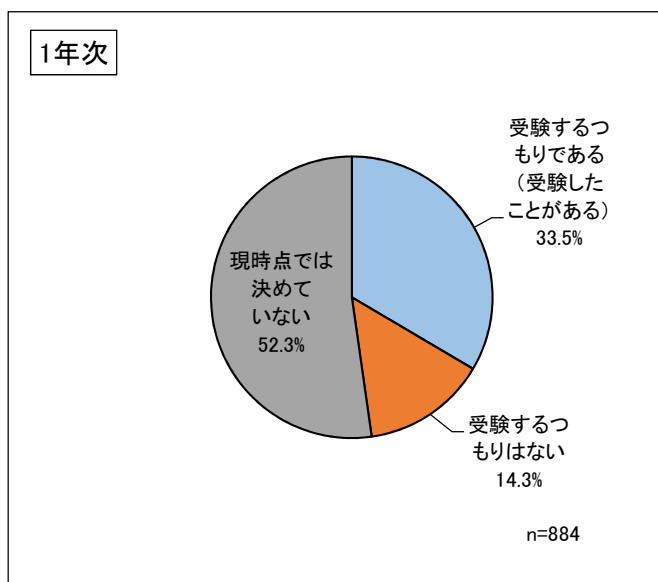
【平成 29 年度】



(参考)学年別内訳【表・円グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	受験するつもりである (受験したことがある)	受験するつもりはない	現時点では 決めていない	回答者数
1年次	296 33.5	126 14.3	462 52.3	884 100.0
2年次	176 44.1	91 22.8	132 33.1	399 100.0
3年次	147 56.1	59 22.5	56 21.4	262 100.0
4年次以上	108 52.4	77 37.4	21 10.2	206 100.0
全体	727 41.5	353 20.2	671 38.3	1,751 100.0



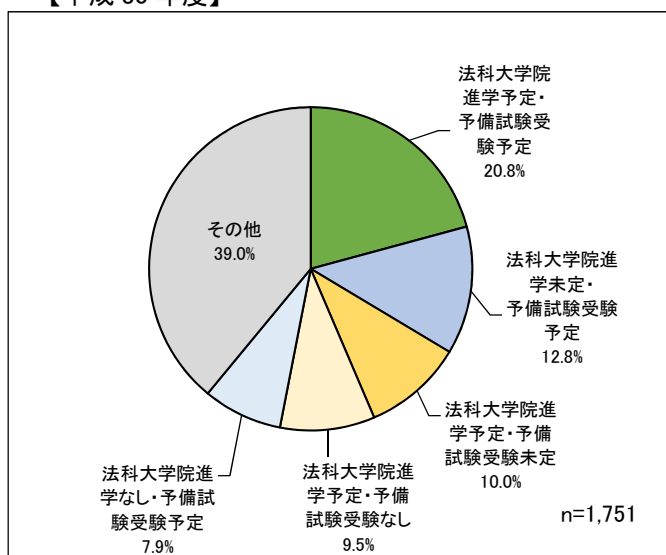
(4)法科大学院への進学予定・大学在学中の予備試験の受験予定

法科大学院への進学と、大学在学中の予備試験の受験予定との関係については、「法科大学院進学予定・予備試験受験予定」が 20.8%となっている。法科大学院への進学、予備試験の受験とも未定であるのが 24.7%となっている。

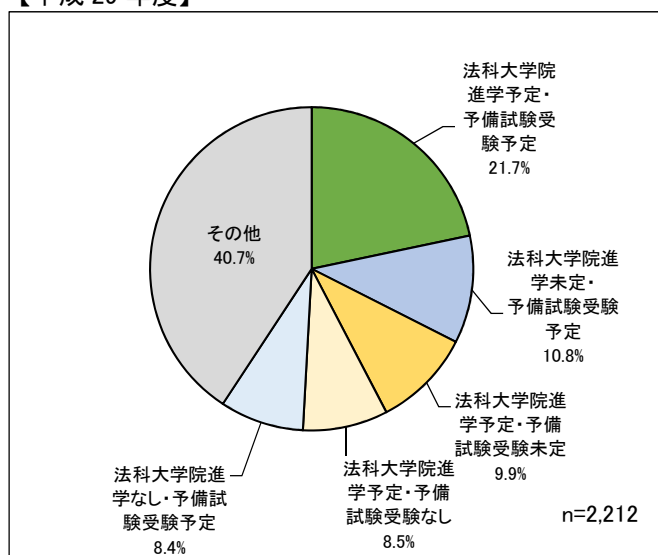
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

		回答数	法科大学院への進学予定			
			進学する つもりである	進学する つもりはない	現時点では 決めていない	
在 学 中 の 予 備 試 験 受 験 予 定	平成 30 年 度	受験するつもりである (受験したことがある)	727 41.5	364 20.8	139 7.9	224 12.8
		受験するつもりはない	353 20.2	166 9.5	82 4.7	105 6.0
		現時点では決めていない	671 38.3	175 10.0	64 3.7	432 24.7
		全体	1,751 100.0	705 40.3	285 16.3	761 43.5
	平成 29 年 度	受験するつもりである (受験したことがある)	904 40.9	480 21.7	186 8.4	238 10.8
		受験するつもりはない	420 19.0	188 8.5	119 5.4	113 5.1
		現時点では決めていない	888 40.1	219 9.9	93 4.2	576 26.0
		全体	2,212 100.0	887 40.1	398 18.0	927 41.9

【平成 30 年度】



【平成 29 年度】



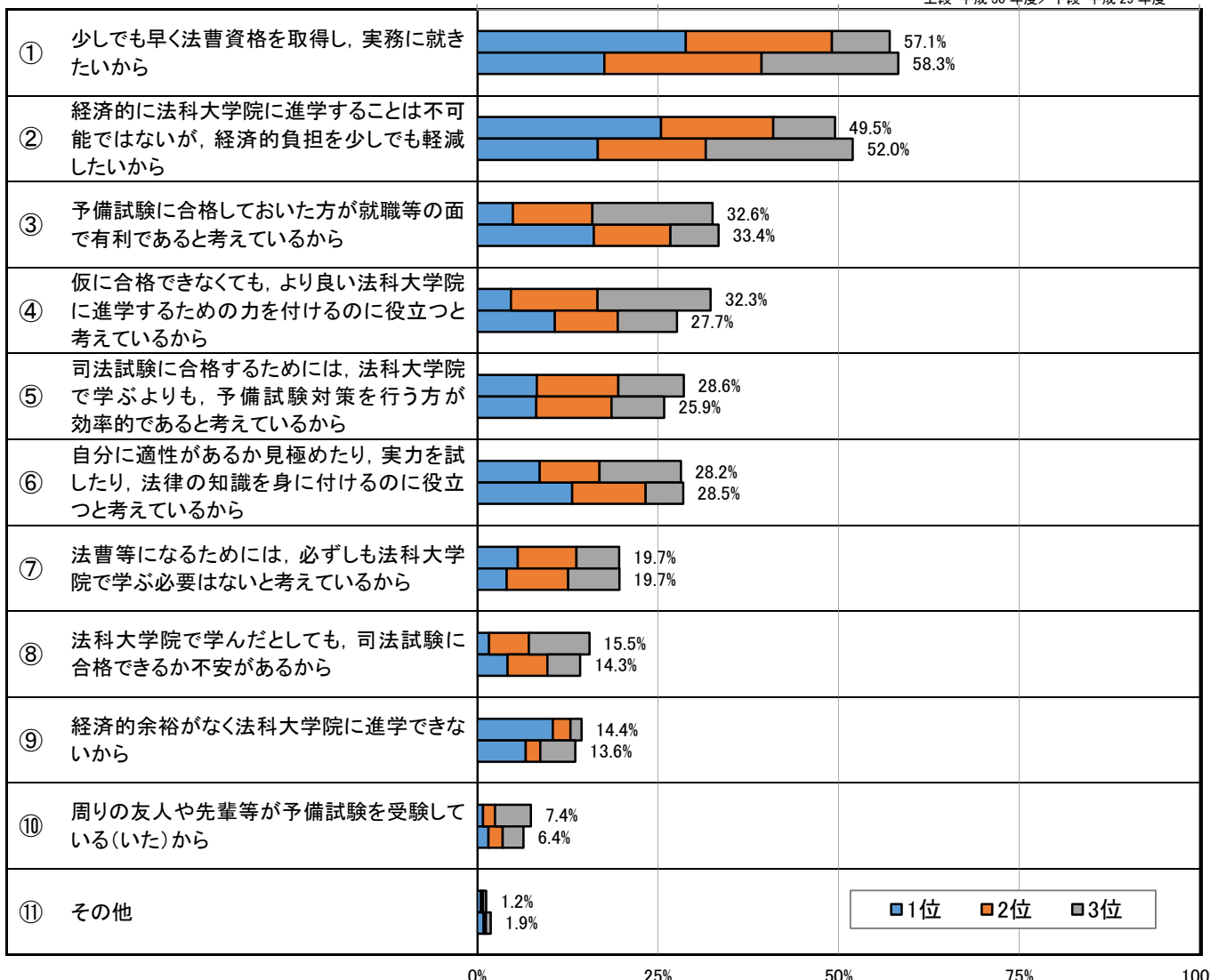
(5)在学中の予備試験の受験理由(上位3つまで選択/在学中に予備試験を受ける予定がある学生)

在学中の予備試験の受験理由については、「少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから」が 57.1%で最も多く、「経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから」が 49.5%で続く。

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-	回答者数
		少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから	予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから	仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから	司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから	自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから	法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから	法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから	経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから	周りの友人や先輩等が予備試験を受験している(いた)から	その他	選択なし	
1位	平成30年度	210	185	36	34	60	63	41	12	76	6	4	0	727
	平成29年度	28.9	25.4	5.0	4.7	8.3	8.7	5.6	1.7	10.5	0.8	0.6	-	100.0
2位	平成30年度	147	113	80	87	82	60	59	40	18	12	2	27	727
	平成29年度	20.2	15.5	11.0	12.0	11.3	8.3	8.1	5.5	2.5	1.7	0.3	3.7	100.0
3位	平成30年度	58	62	121	114	66	82	43	61	11	36	3	70	727
	平成29年度	8.0	8.5	16.6	15.7	9.1	11.3	5.9	8.4	1.5	5.0	0.4	9.6	100.0
合計	平成30年度	415	360	237	235	208	205	143	113	105	54	9	97	727
	平成29年度	57.1	49.5	32.6	32.3	28.6	28.2	19.7	15.5	14.4	7.4	1.2	-	100.0
	平成30年度	527	470	302	250	234	258	178	129	123	58	17	166	904
	平成29年度	58.3	52.0	33.4	27.7	25.9	28.5	19.7	14.3	13.6	6.4	1.9	-	100.0

上段・平成30年度/下段・平成29年度

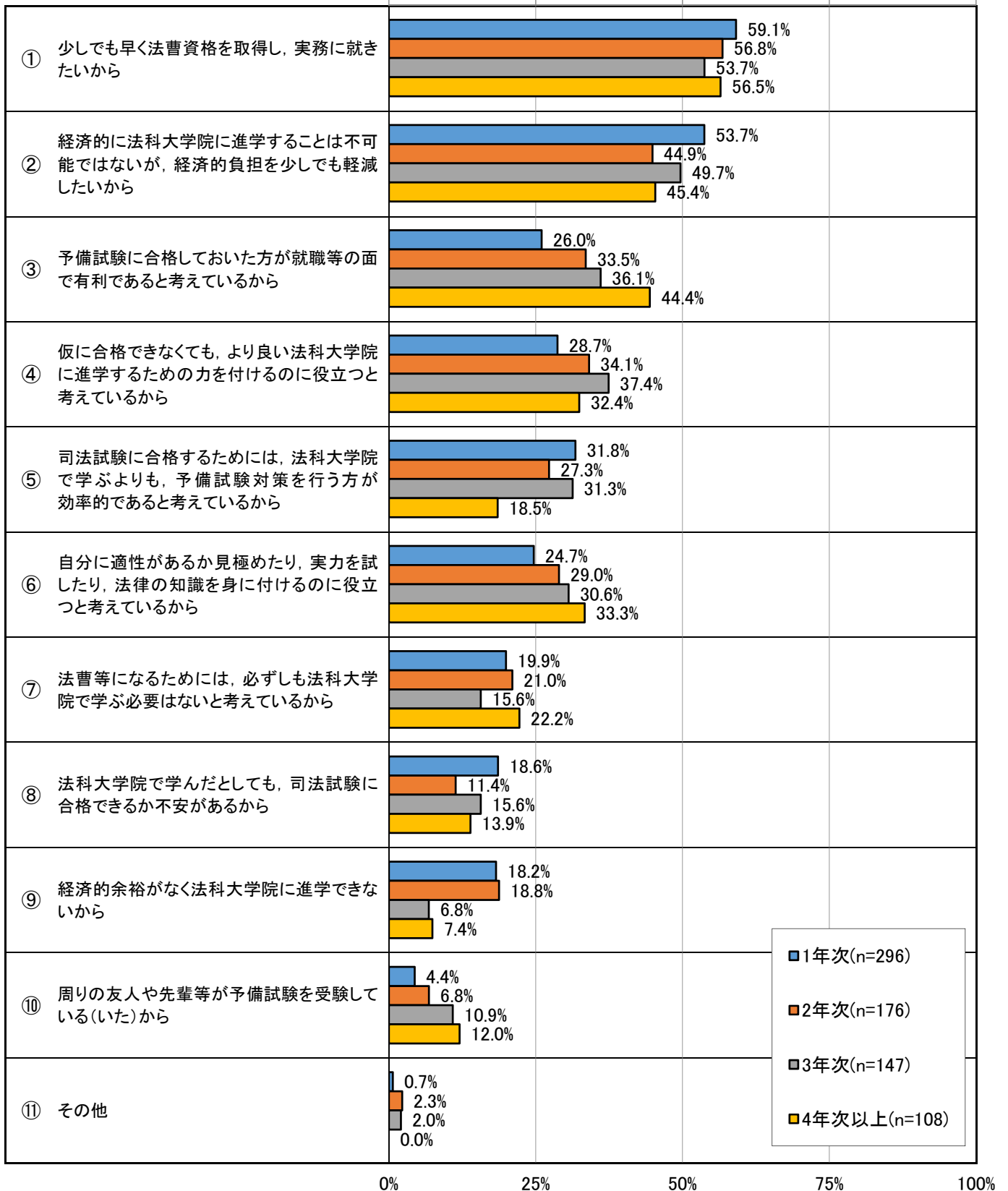


(参考)学年別内訳【表】

上段・実数/下段・割合(%)

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	-	
		少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから	予備試験に合格した方が就職の面で有利であると考えられているから	仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するの力を付けておくことに役立っているから	司法試験に合格するためには、法科大学院よりも、予備試験を行う方が効率的であると考えられているから	自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えられているから	法曹等になるためには、必ずしも法科大学院でなければならないと考えるから	法科大学院としても、司法試験に合格できない不安があるから	経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから	周りの友人や先輩等が予備試験を受けている(いた)から	その他	選択なし	回答者数
1位	全体	210 28.9	185 25.4	36 5.0	34 4.7	60 8.3	63 8.7	41 5.6	12 1.7	76 10.5	6 0.8	4 0.6	0 -	727 100.0
	1年次	74 25.0	86 29.1	11 3.7	12 4.1	31 10.5	21 7.1	16 5.4	4 1.4	39 13.2	2 0.7	0 0.0	0 -	296 100.0
	2年次	51 29.0	43 24.4	7 4.0	8 4.5	10 5.7	14 8.0	9 5.1	3 1.7	27 15.3	1 0.6	3 1.7	0 -	176 100.0
	3年次	46 31.3	33 22.4	16 10.9	7 4.8	14 9.5	12 8.2	7 4.8	3 2.0	6 4.1	2 1.4	1 0.7	0 -	147 100.0
	4年次以上	39 36.1	23 21.3	2 1.9	7 6.5	5 4.6	16 14.8	9 8.3	2 1.9	4 3.7	1 0.9	0 0.0	0 -	108 100.0
	2位	全体	147 20.2	113 15.5	80 11.0	87 12.0	82 11.3	60 8.3	59 8.1	40 5.5	18 2.5	12 1.7	2 0.3	27 3.7
1年次	70 23.6	52 17.6	21 7.1	30 10.1	36 12.2	19 6.4	24 8.1	20 6.8	10 3.4	4 1.4	0 0.0	10 3.4	296 100.0	
2年次	36 20.5	20 11.4	16 9.1	21 11.9	28 15.9	17 9.7	17 9.7	6 3.4	3 1.7	2 1.1	1 0.6	1 0.6	9 5.1	176 100.0
3年次	26 17.7	24 16.3	19 12.9	24 16.3	13 8.8	16 10.9	7 4.8	8 5.4	2 1.4	4 2.7	1 0.7	1 0.7	3 2.0	147 100.0
4年次以上	15 13.9	17 15.7	24 22.2	12 11.1	5 4.6	8 7.4	11 10.2	6 5.6	3 2.8	2 1.9	0 0.0	5 4.6	108 100.0	
3位	全体	58 8.0	62 8.5	121 16.6	114 15.7	66 9.1	82 11.3	43 5.9	61 8.4	11 1.5	36 5.0	3 0.4	70 9.6	727 100.0
	1年次	31 10.5	21 7.1	45 15.2	43 14.5	27 9.1	33 11.1	19 6.4	31 10.5	5 1.7	7 2.4	2 0.7	32 10.8	296 100.0
	2年次	13 7.4	16 9.1	36 20.5	31 17.6	10 5.7	20 11.4	11 6.3	11 6.3	3 1.7	9 5.1	0 0.0	16 9.1	176 100.0
	3年次	7 4.8	16 10.9	18 12.2	24 16.3	19 12.9	17 11.6	9 6.1	12 8.2	2 1.4	10 6.8	1 0.7	12 8.2	147 100.0
	4年次以上	7 6.5	9 8.3	22 20.4	16 14.8	10 9.3	12 11.1	4 3.7	7 6.5	1 0.9	10 9.3	0 0.0	10 9.3	108 100.0
合計	全体	415 57.1	360 49.5	237 32.6	235 32.3	208 28.6	205 28.2	143 19.7	113 15.5	105 14.4	54 7.4	9 1.2	97 -	727 100.0
	1年次	175 59.1	159 53.7	77 26.0	85 28.7	94 31.8	73 24.7	59 19.9	55 18.6	54 18.2	13 4.4	2 0.7	42 -	296 100.0
	2年次	100 56.8	79 44.9	59 33.5	60 34.1	48 27.3	51 29.0	37 21.0	20 11.4	33 18.8	12 6.8	4 2.3	25 -	176 100.0
	3年次	79 53.7	73 49.7	53 36.1	55 37.4	46 31.3	45 30.6	23 15.6	23 15.6	10 6.8	16 10.9	3 2.0	15 -	147 100.0
	4年次以上	61 56.5	49 45.4	48 44.4	35 32.4	20 18.5	36 33.3	24 22.2	15 13.9	8 7.4	13 12.0	0 0.0	15 -	108 100.0

(参考)学年別内訳【横棒グラフ/1位～3位の合計】



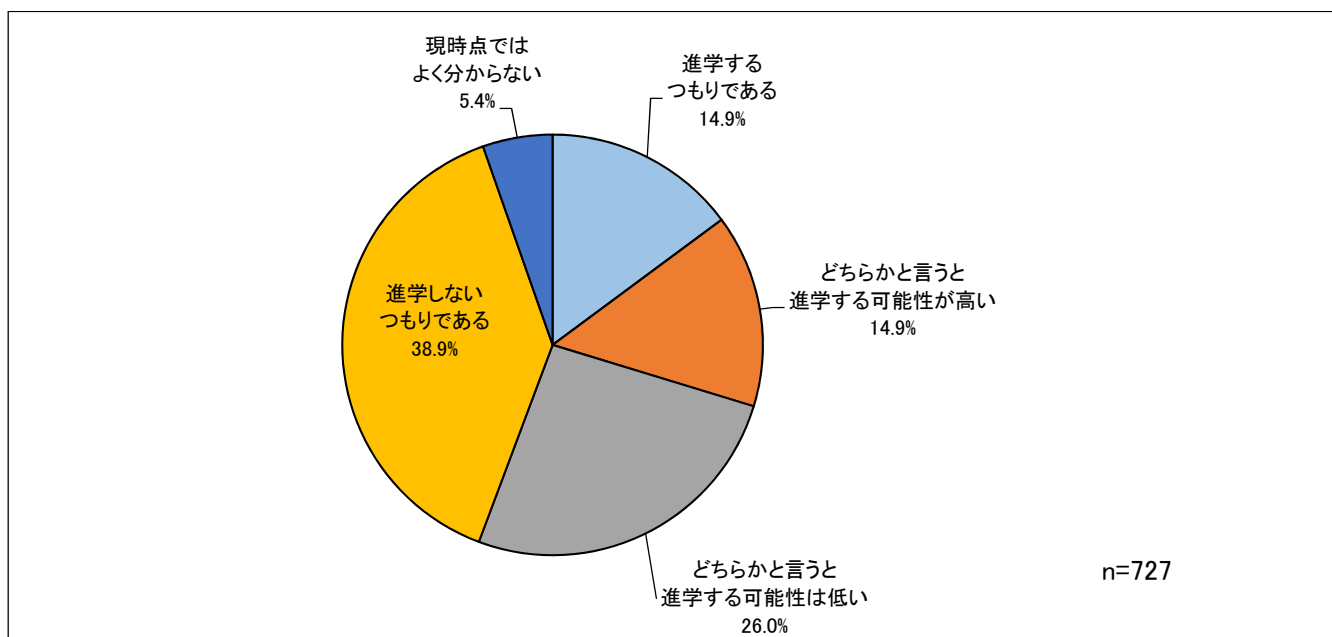
(6)在学中に予備試験に合格した場合の法科大学院への進学(在学中に予備試験を受験予定のある学生)

在学中に予備試験に合格した場合の法科大学院への進学については、「進学しないつもりである」が 38.9%で最も高くなっている。これに「どちらかと言うと進学する可能性は低い」の 26.0%を加えると、予備試験に合格した場合に法科大学院に進学しない可能性がある学生は 6 割以上となっている。

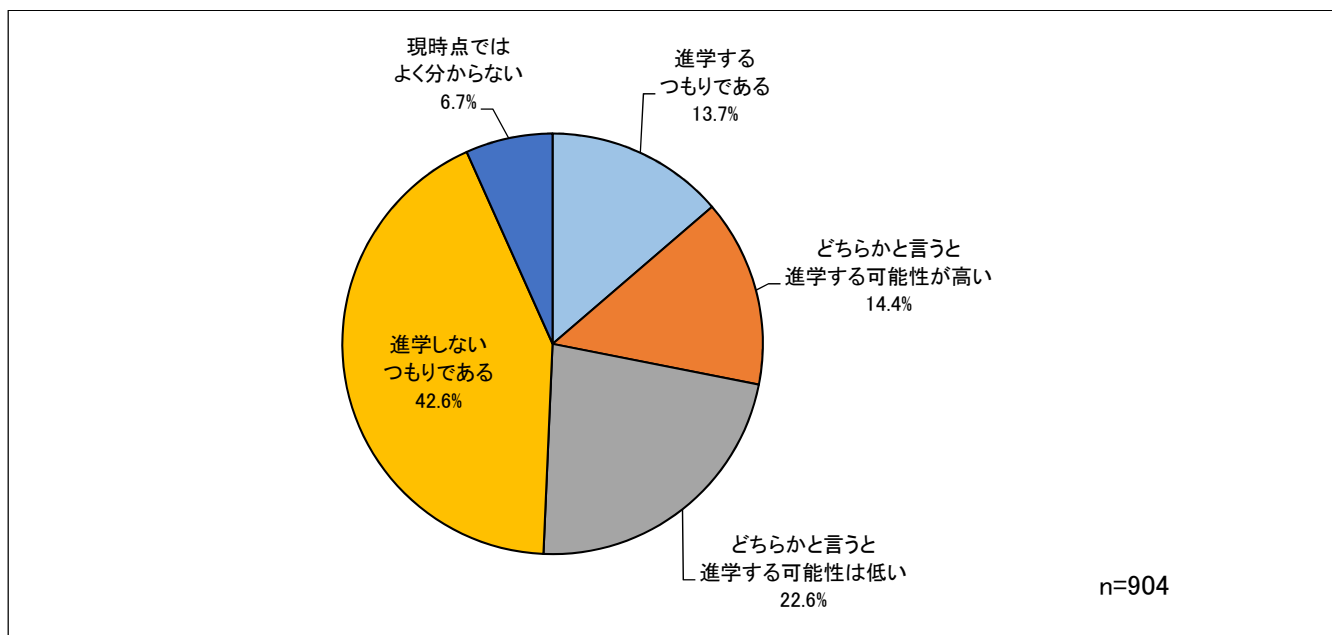
(上段: 回答数・人/下段: 割合・%)

	進学するつもりである	どちらかと言うと進学する可能性が高い	どちらかと言うと進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	回答者数
平成 30 年度	108 14.9	108 14.9	189 26.0	283 38.9	39 5.4	727 100.0
平成 29 年度	124 13.7	130 14.4	204 22.6	385 42.6	61 6.7	904 100.0

【平成 30 年度】



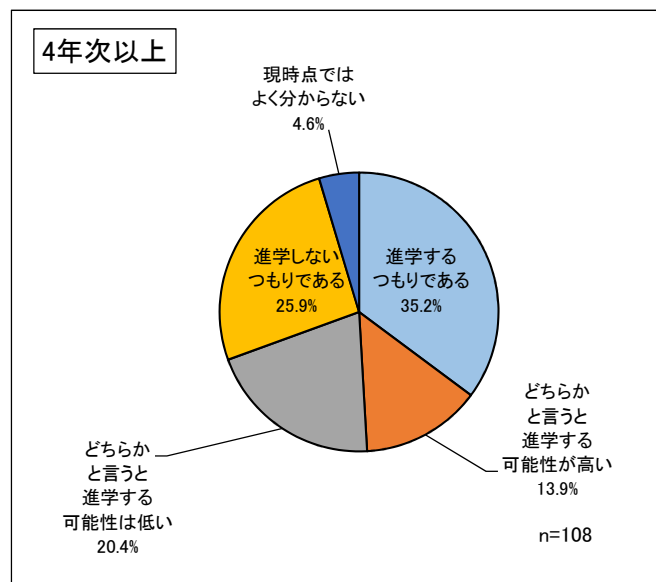
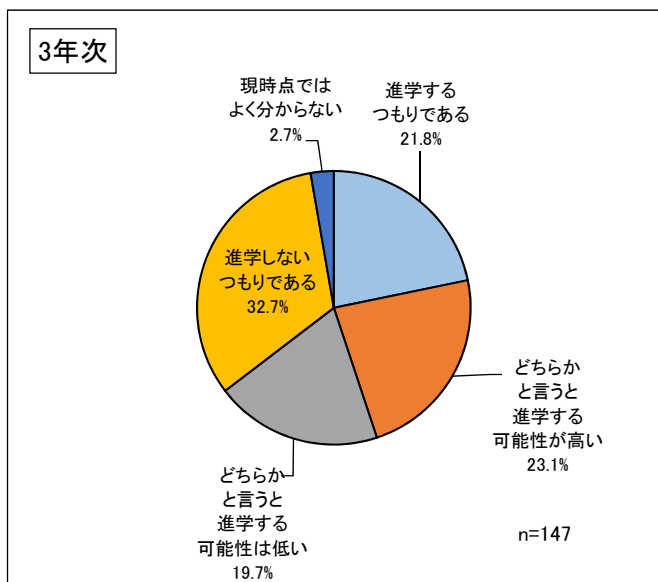
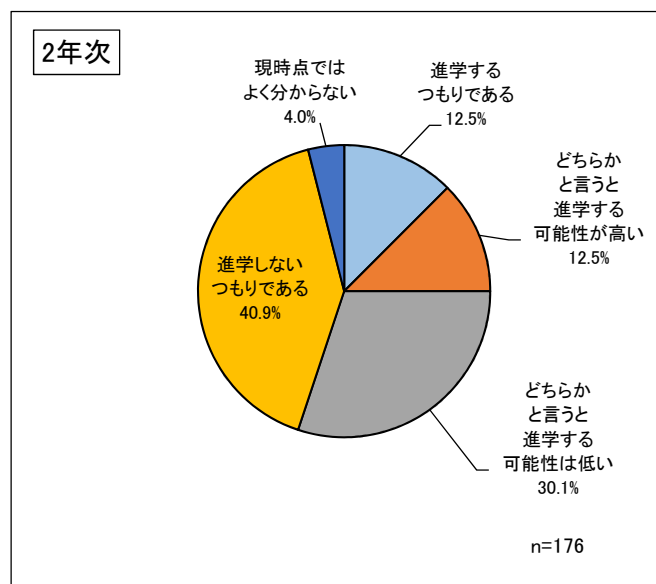
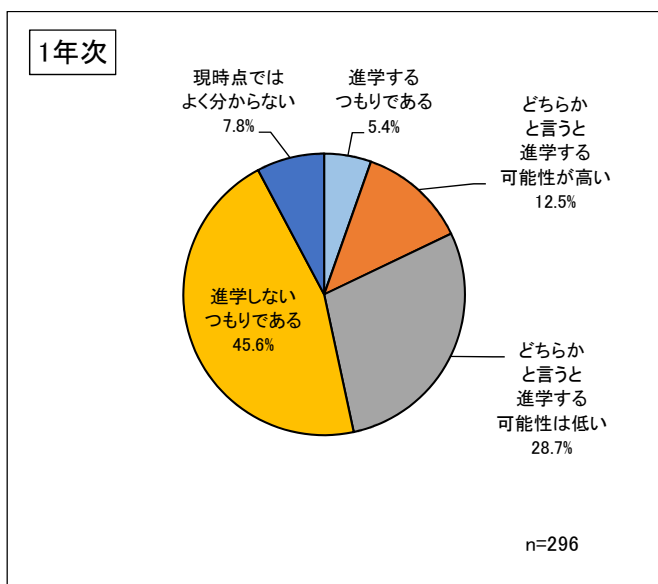
【平成 29 年度】



(参考)学年別内訳【表・円グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	進学するつもりである	どちらかと言うと進学する可能性が高い	どちらかと言うと進学する可能性は低い	進学しないつもりである	現時点ではよく分からない	回答者数
1年次	16 5.4	37 12.5	85 28.7	135 45.6	23 7.8	296 100.0
2年次	22 12.5	22 12.5	53 30.1	72 40.9	7 4.0	176 100.0
3年次	32 21.8	34 23.1	29 19.7	48 32.7	4 2.7	147 100.0
4年次以上	38 35.2	15 13.9	22 20.4	28 25.9	5 4.6	108 100.0
全体	108 14.9	108 14.9	189 26.0	283 38.9	39 5.4	727 100.0



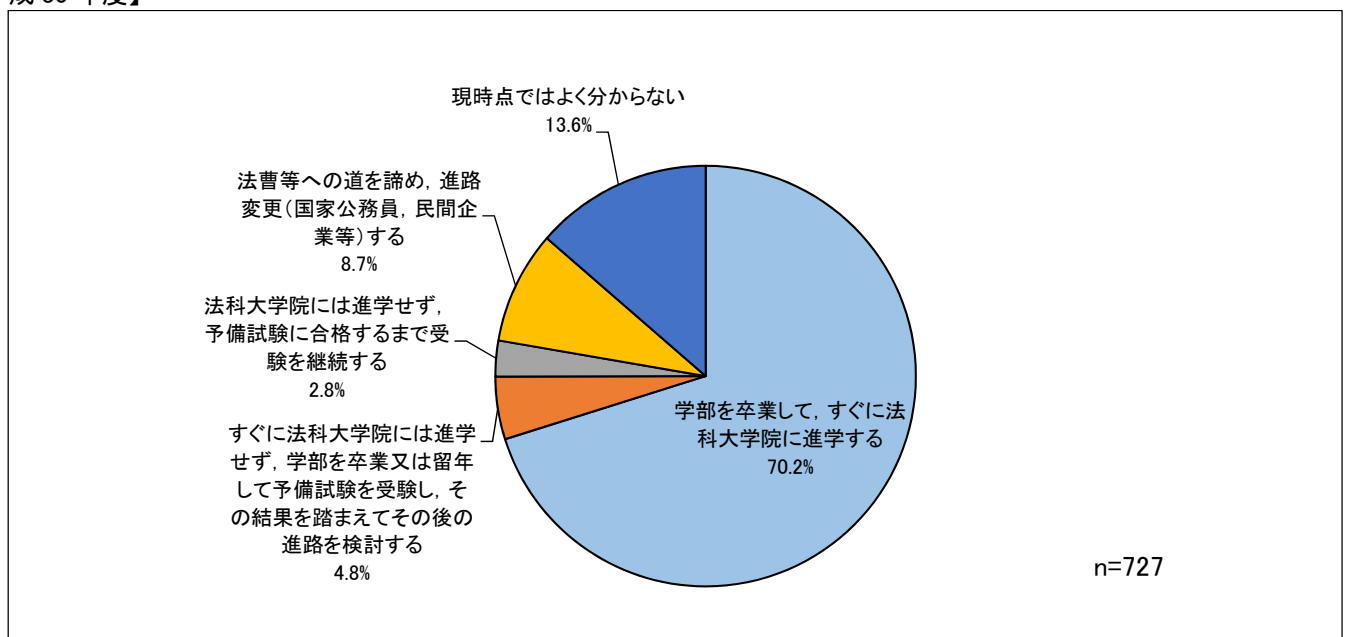
(7)大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合の進路（在学中に予備試験を受験予定のある学生）

大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合の進路については、「学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する」が70.2%となっている。また「現時点ではよく分からない」も13.6%で1割を超えている。なお、「法曹等への道を諦め、進路変更する」は8.7%となっている。

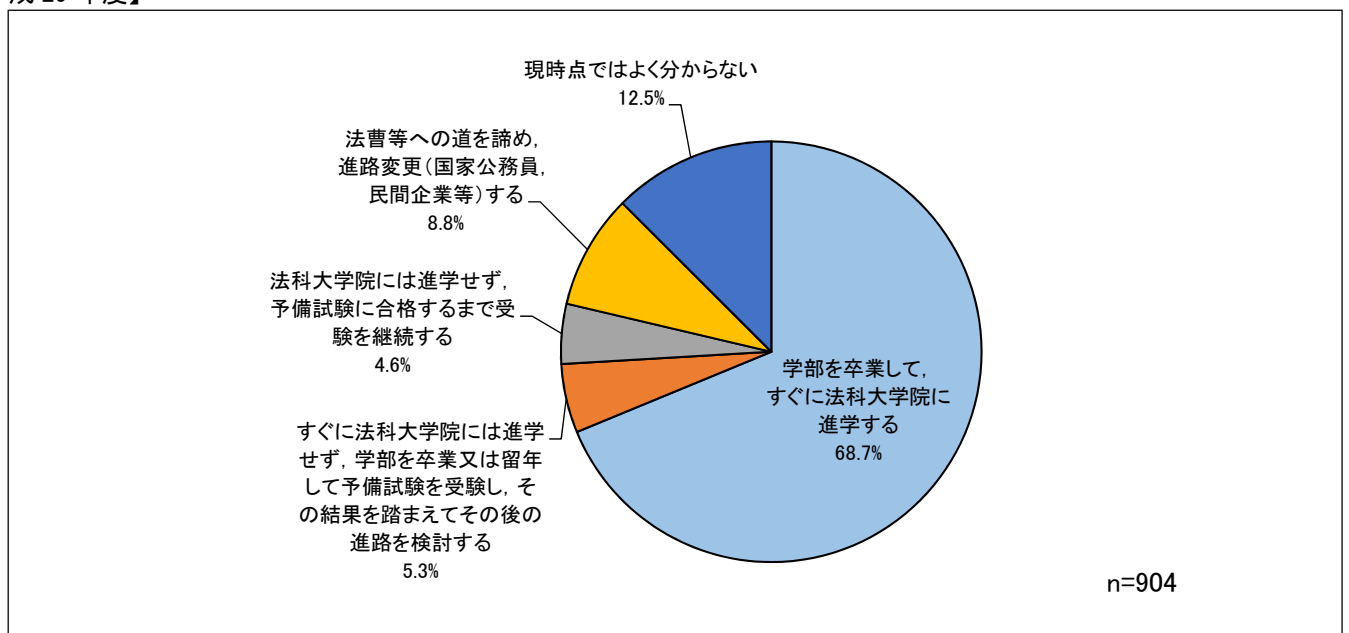
(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業又は留年して予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	現時点ではよく分からない	回答者数
平成30年度	510 70.2	35 4.8	20 2.8	63 8.7	99 13.6	727 100.0
平成29年度	621 68.7	48 5.3	42 4.6	80 8.8	113 12.5	904 100.0

【平成30年度】



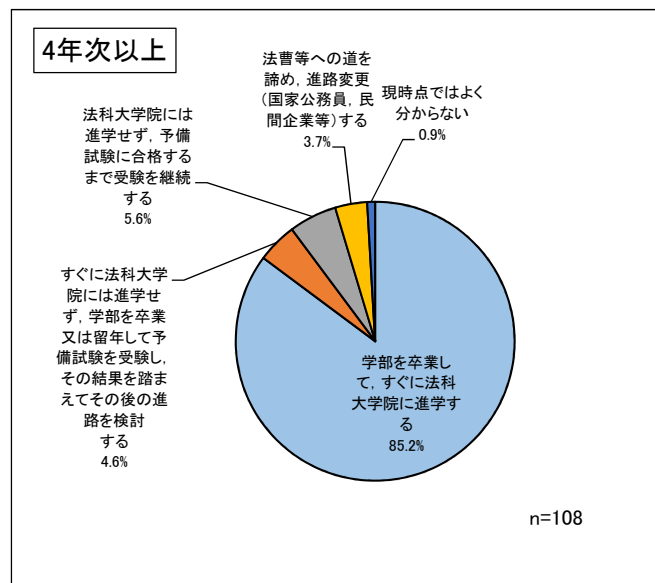
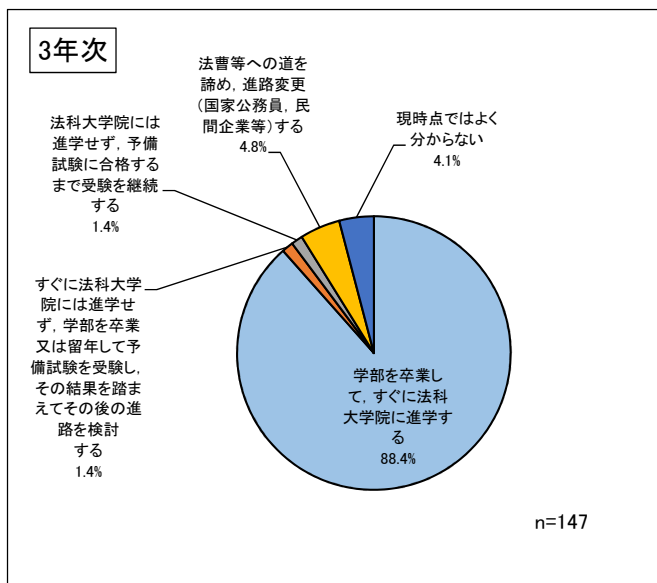
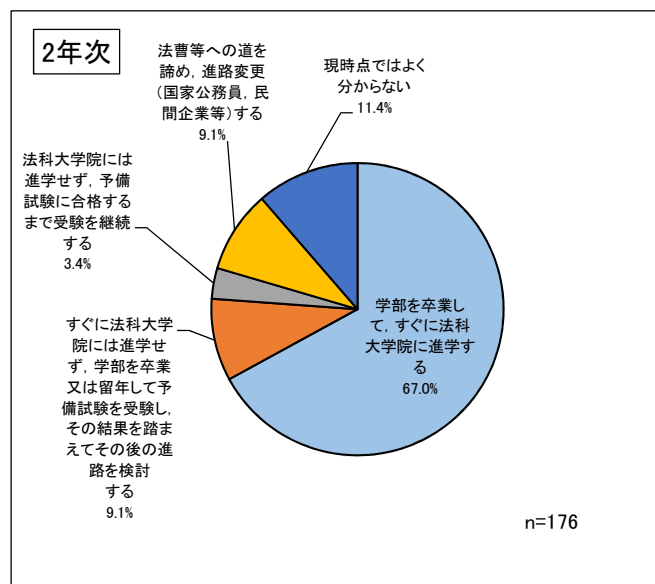
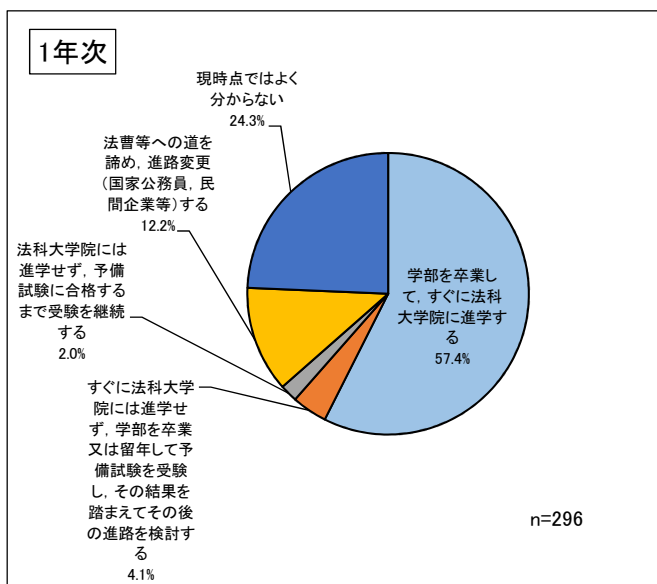
【平成29年度】



(参考)学年別内訳【表・円グラフ】

(上段:回答数・人/下段:割合・%)

	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業又は留年して予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	現時点ではよく分からない	回答者数
1年次	170 57.4	12 4.1	6 2.0	36 12.2	72 24.3	296 100.0
2年次	118 67.0	16 9.1	6 3.4	16 9.1	20 11.4	176 100.0
3年次	130 88.4	2 1.4	2 1.4	7 4.8	6 4.1	147 100.0
4年次以上	92 85.2	5 4.6	6 5.6	4 3.7	1 0.9	108 100.0
全体	510 70.2	35 4.8	20 2.8	63 8.7	99 13.6	727 100.0



参考資料（調査票）

平成30年度法学部に在籍されている皆様に対する志望アンケート

法務省
文部科学省

- ※ 法学部（法学系課程を含む。）に在籍されているあなたの法曹志望等についてお聞きします。所要10分程度で終了しますので、御協力をお願いします。
- ※ 結果については、個人が特定できないように集計した上で、法曹養成制度の充実のために活用させていただく予定です。

問1 年齢（平成30年9月末日現在）について、以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | | |
|---|-------|
| 1 | 18歳以下 |
| 2 | 19歳 |
| 3 | 20歳 |
| 4 | 21歳 |
| 5 | 22歳 |
| 6 | 23歳 |
| 7 | 24歳 |
| 8 | 25歳以上 |

問2 性別について、以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | | |
|---|----|
| 1 | 男性 |
| 2 | 女性 |

問3 通学中の大学名、学部、学科、コース・専攻と在籍学年を教えてください。
学科、コース・専攻については、設置されていない場合やまだ選択していない場合、記載不要です。

大学名 学部 学年 年次

学科 コース・専攻

問4 将来の職業として現時点で第一志望として考えているものについて、以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 国内企業
- 2 外資系企業
- 3 国家公務員
- 4 地方公務員
- 5 国際機関職員（NGOを含む）
- 6 公益法人・特定非営利活動法人（NPO法人）職員
- 7 法曹等（法曹（裁判官、検察官及び弁護士）のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む）
- 8 法曹以外の隣接法律専門職（司法書士、行政書士、弁理士など）
- 9 経営者、自営・自由業
- 10 研究者
- 11 その他（具体的に)
- 12 特になし

問5 将来の職業を選択するに当たって重視することについて、以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 仕事の内容に多くの選択肢があること
- 2 自分の興味・関心のある分野で活躍できること
- 3 身に付けた専門的知識をいかせること
- 4 社会への貢献度が高いこと
- 5 国際的な分野で活躍できること
- 6 社会的地位・信用が高いこと
- 7 高収入が期待できること
- 8 経済的に安定していること
- 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できること（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）
- 10 その他（具体的に)

問6 将来の職業として、法曹等（法曹（裁判官、検察官及び弁護士）のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む、以下同じ。）を志望したことがありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。
なお、法曹になるルートについては3頁の「参考」参照。

- 1 現在、志望している（→問7、8のみ回答）
- 2 現在、選択肢の1つとして考えている（→問7、8のみ回答）
- 3 過去に志望していた（→問9のみ回答）
- 4 過去に選択肢の1つとして考えていた（→問9のみ回答）
- 5 志望していない（選択肢の1つとして考えていたこともない）（→問10のみ回答）

参 考

法曹になるには、司法試験に合格する必要があります。

司法試験の受験資格を得るためには、法科大学院を修了するほか、経済的事情や実社会で十分な経験を経ているなどの理由により法科大学院を経由しない方のために設けられている司法試験予備試験（以下、「予備試験」という。）（※１）に合格する必要があります。

司法試験合格後、法曹資格を取得せずに社会で活躍されている方のほか、司法試験合格後１年間の司法修習（※２）を経て裁判官、検察官及び弁護士等として活躍されている方がいます。

（※１）

予備試験とは、法科大学院課程の修了者と同等の学識及びその応用能力並びに法律に関する実務の基礎的素養を有するかどうかを判定することを目的とした試験です。同試験の合格者については、法科大学院修了者と同様、司法試験の受験資格を得ることができます。

（※２）

司法修習生に対する経済的支援については、平成２９年１１月に修習を開始した第７１期司法修習生から、修習給付金を支給する制度が実施されています（希望者全員に対して修習専念資金（基本額月額１０万円、扶養親族を有する場合は月額１２．５万円）を無利息で貸与する制度も併存）。

〔修習給付金の額〕

- ・基本給付金（司法修習生に対して一律に支給）
月額１３．５万円
- ・住居給付金（住宅を借り受け、家賃を支払っている場合に支給）
月額３．５万円
- ・移転給付金（修習に伴い住所・居所を移転する必要がある場合に支給）
移動距離に応じた額

問7 問6で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」を選択した方にお聞きします。

(1) 法曹等を志望した(選択肢の1つとして考えるようになった)のはいつ頃ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | | |
|-------------|---|
| 1 中学生以前 | |
| 2 高校生になってから | |
| 3 大学生になってから | |
| 4 その他(具体的に |) |

(2) 法曹等を志望した(選択肢の1つとして考えるようになった)きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください(複数回答可)。

- | | |
|---|---|
| 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから | |
| 2 社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから | |
| 3 基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから | |
| 4 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから | |
| 5 テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから | |
| 6 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから | |
| 7 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から | |
| 8 その他(具体的に |) |
| 9 特になし | |

(3) あなたは、法曹等の仕事のどのようなところに魅力を感じていますか。以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください(複数回答可)。

- | | |
|---|---|
| 1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ | |
| 2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ | |
| 3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ | |
| 4 基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ | |
| 5 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ | |
| 6 社会的地位・信用が高いところ | |
| 7 高収入が期待できるところ | |
| 8 経済的に安定しているところ | |
| 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス(仕事と生活の調和)を実現できるところ(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む) | |
| 10 その他(具体的に |) |
| 11 特になし | |

- (4) 法曹等として、どのような進路を考えていますか。
以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- | | |
|------------|---|
| 1 裁判官 | |
| 2 検察官 | |
| 3 弁護士 | |
| 4 その他（具体的に |) |
| 5 まだ決めていない | |

- (5) 法曹等の活動領域の拡大に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 国内の裁判の分野だけにとどまらず、渉外弁護士や企業内弁護士、弁護士資格をもって国や地方自治体の公務員になる、司法試験合格後法曹資格を取得せずに企業等で活躍するなど、法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが、このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | |
|-----------|
| 1 よく知っている |
| 2 少し知っている |
| 3 知らない |

イ 将来の進路を考える上で、アのような活動領域（海外、企業、国・地方自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | |
|-------------------|
| 1 興味・関心がある（→ウへ） |
| 2 少し興味・関心がある（→ウへ） |
| 3 興味・関心はない（→(6)へ） |

ウ イで「1 興味・関心がある」又は「2 少し興味・関心がある」を選択した方にお聞きします。

将来、アのような活動領域のうち、具体的にどのような分野で働くことに興味・関心がありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- | | |
|-------------------|---|
| 1 中央省庁等の国の機関での勤務 | |
| 2 地方自治体での勤務 | |
| 3 企業内弁護士 | |
| 4 企業の海外展開支援等の海外分野 | |
| 5 国際機関での勤務 | |
| 6 その他（具体的に |) |

- (6) 法曹等を志望するに当たって法学部での教育に期待するものは何ですか。
以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、期待が大きい順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 一般的な法律知識や法律の考え方を身に付けること
- 2 法的思考に基づいた議論や交渉を行う能力を身に付けること
- 3 特定の法分野に関する深い学識や学術性を身に付けること
- 4 社会人として一般的に必要な教養を身に付けること
- 5 政治学、経営学、経済学その他の法学以外の社会科学に関する知識・能力を広く身に付けること
- 6 国際的に活躍するために必要な語学能力や国際感覚を身に付けること
- 7 法曹等として活躍するために必要な専門的な法律知識や法曹実務の素養を身に付けること
- 8 司法試験のために必要な能力を身に付けること
- 9 司法試験以外の資格試験や公務員試験その他の採用試験のために必要な能力を身に付けること
- 10 その他（具体的に)
- 11 特になし

1位

2位

3位

- (7) 学部在学中に司法試験予備校を利用したことがありますか。
以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある
- 2 司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある
- 3 利用したことはない

- (8) 法曹等を志望する（選択肢の一つとして考えている）に当たって、現在、不安や迷いを感じていますか。
以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 不安や迷いを感じている（→(9)へ）
- 2 少し不安や迷いを感じている（→(9)へ）
- 3 不安や迷いを感じていない（→問8へ）

(9) (8)で「1 不安や迷いを感じている」又は「2 少し不安や迷いを感じている」を選択した方にお聞きします。

あなたが法曹等を志望する（選択肢の一つとして考えている）に当たって感じている不安や迷いは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、不安や迷いの大きい順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）にも魅力を感じている2 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある3 自分に法曹等としての適性があるか分からない4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している5 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい10 司法修習期間中の生計面に不安がある11 司法試験に合格できても、就職できるか分からない12 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある13 その他（具体的に |) |
|--|---|

1位 2位 3位

問8 問6で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」を選択した方にお聞きします。

(1) 法科大学院への進学に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 現時点において、法科大学院に進学することを予定していますか。
以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | |
|---|
| 1 進学するつもりである (→イへ)
2 進学するつもりはない (→(2)へ)
3 現時点では決めていない (→(2)へ) |
|---|

イ (1)アで「1 進学するつもりである」を選択した方にお聞きします。
あなたが進学する法科大学院を選択する時に重視していることは何ですか。
以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、重視する要因が強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください(1位のみ、2位まででも可)。

- | |
|---|
| 1 大学としての知名度が高いこと
2 法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと
3 法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること
4 奨学金などの経済的支援制度が充実していること
5 著名な研究者教員が在籍していること
6 実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること
7 現在の住居や実家等から地理的に近いこと
8 現在在籍している大学の法科大学院であること
9 就職したい地域に立地している法科大学院であること
10 大学の友人・先輩等が多く在籍していること
11 入学試験の難易度
12 その他(具体的に) |
|---|

1位 2位 3位

(2) 大学在学中の予備試験の受験に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 現時点において、大学在学中に予備試験を受験することを予定していますか。
以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | |
|------------------------------|
| 1 受験するつもりである（受験したことがある）（→イへ） |
| 2 受験するつもりはない（→これで終わりです） |
| 3 現時点では決めていない（→これで終わりです） |

イ (2)アで「1 受験するつもりである（受験したことがある）」を選択した方にお聞きします。

(7) 大学在学中に予備試験を受験した又は受験しようとする理由は何ですか。
以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- | |
|---|
| 1 経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから |
| 2 経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから |
| 3 少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから |
| 4 法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから |
| 5 司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから |
| 6 法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから |
| 7 自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから |
| 8 予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから |
| 9 仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから |
| 10 周りの友人や先輩等が予備試験を受験している（いた）から |
| 11 その他（具体的に) |

1位 2位 3位

(イ) 大学在学中に予備試験に合格した場合、法科大学院に進学する予定がありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 進学するつもりである
- 2 どちらかと言うと進学する可能性が高い
- 3 どちらかと言うと進学する可能性は低い
- 4 進学しないつもりである
- 5 現時点ではよく分からない

(ウ) 大学4年次までに予備試験に合格しなかった場合、どのような進路を考えていますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- 1 学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する
- 2 すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業又は留年して予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する
- 3 法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する
- 4 法曹等への道を諦め、進路変更（国家公務員、民間企業等）する
- 5 現時点ではよく分からない

問9 問6で「3 過去に志望していた」又は「4 過去に選択肢の1つとして考えていた」を選択した方にお聞きします。

- (1) 法曹等を志望した（選択肢の1つとして考えるようになった）のはいつ頃ですか。以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | | |
|-------------|---|
| 1 中学生以前 | |
| 2 高校生になってから | |
| 3 大学生になってから | |
| 4 その他（具体的に |) |

- (2) 法曹等を志望した（選択肢の1つとして考えるようになった）きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- | | |
|---|---|
| 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから | |
| 2 社会的弱者や困った人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから | |
| 3 基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから | |
| 4 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから | |
| 5 テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから | |
| 6 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから | |
| 7 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している（いた）から | |
| 8 その他（具体的に |) |
| 9 特になし | |

- (3) あなたは、法曹等の仕事のどのようなところに魅力を感じていましたか。以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- | | |
|--|---|
| 1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ | |
| 2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ | |
| 3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ | |
| 4 基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ | |
| 5 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できるところ | |
| 6 社会的地位・信用が高いところ | |
| 7 高収入が期待できるところ | |
| 8 経済的に安定しているところ | |
| 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）が実現できる（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む） | |
| 10 その他（具体的に |) |
| 11 特になし | |

- (4) 法曹等として、どのような進路を考えていましたか。以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- | | |
|--------------|---|
| 1 裁判官 | |
| 2 検察官 | |
| 3 弁護士 | |
| 4 その他（具体的に |) |
| 5 まだ決めていなかった | |

(5) 法曹等の活動領域の拡大に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 国内の裁判の分野だけにとどまらず、涉外弁護士や企業内弁護士、弁護士資格をもって国や地方自治体の公務員になる、司法試験合格後法曹資格を取得せずに企業等で活躍するなど、法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが、このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | |
|-----------|
| 1 よく知っている |
| 2 少し知っている |
| 3 知らない |

イ 将来の進路を考える上で、アのような活動領域（海外、企業、国・地方自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | |
|-------------------|
| 1 興味・関心がある（→ウへ） |
| 2 少し興味・関心がある（→ウへ） |
| 3 興味・関心はない（→(6)へ） |

ウ イで「1 興味・関心がある」又は「2 少し興味がある・関心がある」を選択した方にお聞きします。

将来、アのような活動領域のうち、具体的にどのような分野で働くことに興味・関心がありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- | |
|-------------------|
| 1 中央省庁等の国の機関での勤務 |
| 2 地方自治体での勤務 |
| 3 企業内弁護士 |
| 4 企業の海外展開支援等の海外分野 |
| 5 国際機関での勤務 |
| 6 その他（具体的に |

(6) あなたが法曹志望を断念した（選択肢の1つから外した）理由（過去に法曹等を志望していた際の不安や迷いを含む）は何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）に魅力を感じたから2 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあったから3 自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから5 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいため7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいため9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいため10 大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから11 司法修習期間中の生計面に不安があるから12 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから13 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから14 その他（具体的に |) |
|--|---|

1位 2位 3位

問10 問6で「5 志望していない（選択肢の1つとして考えていたこともない）」を選択した方にお聞きます。

(1) あなたが法曹等を志望しない（選択肢の1つとしても考えない）理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、要因の強い順に1位～3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）に魅力を感じているから
- 2 法曹等の仕事に魅力を感じないから
- 3 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから
- 4 自分に法曹等としての適性があるとは思えないから
- 5 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから
- 6 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから
- 7 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから
- 8 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから
- 9 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから
- 10 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから
- 11 司法修習期間中の生計面に不安があるから
- 12 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから
- 13 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから
- 14 その他（具体的に

1位

2位

3位

(2) (1)で「2 法曹等の仕事に魅力を感じないから」を選択した方にお聞きます。

あなたが法曹等の仕事に魅力を感じない理由について、以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- 1 訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから
- 2 社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから
- 3 国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから
- 4 社会的地位・信用が低下していると思うから
- 5 高収入が期待できないと思うから
- 6 経済的に安定していないと思うから
- 7 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）が困難であると思うから
- 8 体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから
- 9 その他（具体的に

(3) 法曹等の活動領域の拡大に関し、以下の各質問にお答えください。

ア 国内の裁判の分野だけにとどまらず、渉外弁護士や企業内弁護士、弁護士資格をもって国や地方自治体の公務員になる、司法試験合格後法曹資格を取得せずに企業等で活躍するなど、法曹等がその専門性をいかして多様な役割を果たすことができる領域が広がっていますが、このように法曹等の活動領域が拡大している現状をご存じですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | |
|-----------|
| 1 よく知っている |
| 2 少し知っている |
| 3 知らない |

イ 将来の進路を考える上で、アのような活動領域（海外、企業、国・地方自治体の分野等）で働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。

- | |
|-----------------------|
| 1 興味・関心がある（→ウへ） |
| 2 少し興味・関心がある（→ウへ） |
| 3 興味・関心はない（→これで終わりです） |

ウ イで「1 興味・関心がある」又は「2 少し興味・関心がある」を選択した方にお聞きします。

将来、アのような活動領域のうち、具体的にどのような分野で働くことに興味・関心がありますか。

以下の選択肢から当てはまる番号を○で囲んでください（複数回答可）。

- | |
|-------------------|
| 1 中央省庁等の国の機関での勤務 |
| 2 地方自治体での勤務 |
| 3 企業内弁護士 |
| 4 企業の海外展開支援等の海外分野 |
| 5 国際機関での勤務 |
| 6 その他（具体的に) |